

市内中小企業の景況について
(第 102 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに実施している「京都市中小企業経営動向実態調査」の調査結果がまとまりましたので、報告致します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都府域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 24 年 3 月
- ・ 調査対象期間 平成 24 年 1 月～3 月期 (3 箇月実績) / 平成 24 年 4～6 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 386 社, 非製造業 414 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。519 社が回答 (回収率 64.9%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	257 (49.5)	非製造業	262 (50.5)
西陣	24 (4.6)	卸売	57 (11.0)
染色	33 (6.4)	小売	57 (11.0)
印刷	29 (5.6)	情報通信	24 (4.6)
窯業	19 (3.7)	飲食・宿泊	36 (6.9)
化学	21 (4.0)	サービス	44 (8.5)
金属	25 (4.8)	建設	44 (8.5)
機械	27 (5.2)	不明	0 (0.0)
その他の製造	79 (15.2)	合 計	519 (100.0)

- DI=Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)
増加, 上昇などと回答した企業の企業割合から, 減少, 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として, それより上である場合は, 上向き傾向を表す回答が多いことを示し, 下である場合は, 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
- 中小企業の定義
中小企業基本法に基づき, 業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については, インターネットホームページでも御覧いただけます。

URL http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-11-0-0_1.html

調査結果概要

1. 景気動向調査について

- 全業種での企業景気DIは3期連続して改善したが、依然として震災前の水準には及ばず、また製造業では円高継続、市況低迷、震災の影響等から0.9ポイント低下し、僅かながら悪化。
- 来期の企業景気見通しDIは、製造業、非製造業ともに4ポイント以上上昇したが、東日本大震災の影響を大きく受けた時期との比較から上昇すると見る向きが多く、競争に伴う受注減やコスト高、海外経済情勢の不安等、先行きへの不安材料が払拭されず、引き続き景気回復への足取りは重い。

(1) 今期実績 平成24年1月～3月期

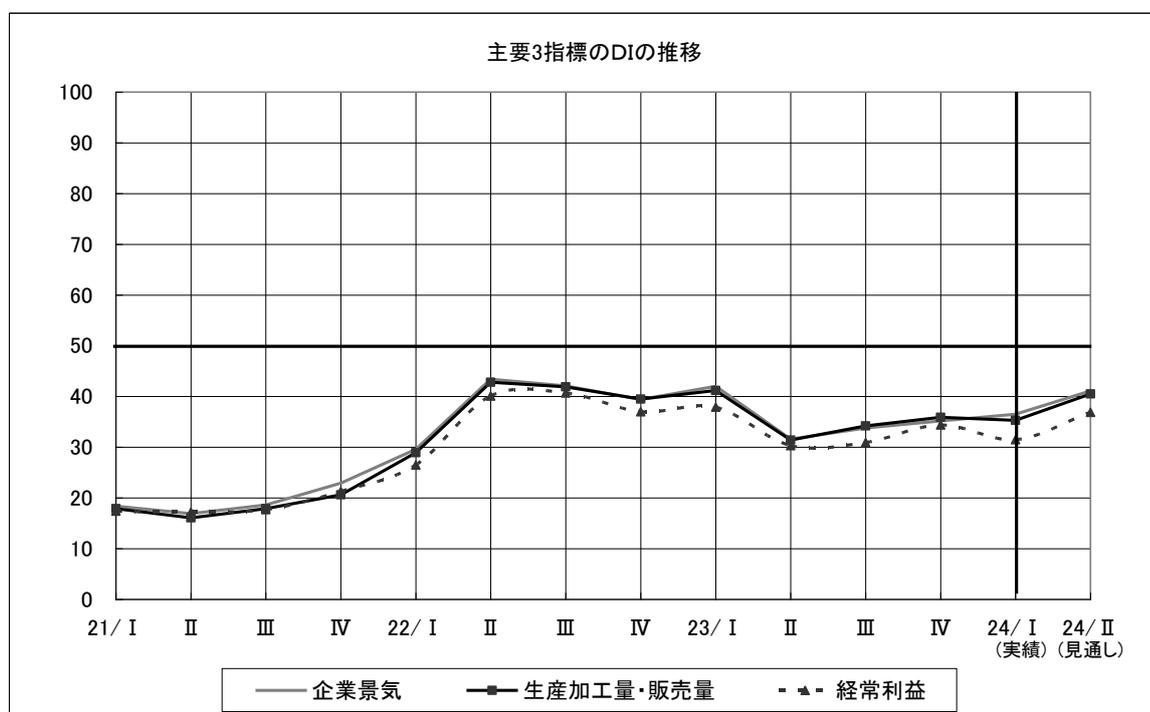
今期（平成24年1月～3月期）の全業種の主要3指標DIは、企業景気DIが36.5と前期と比較し、1.3ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは、35.3で同0.6ポイント低下、経常利益DIは、31.5で同2.9ポイントの低下となった。

・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	36.5 (△1.3)	35.3 (▼0.6)	31.5 (▼2.9)
(製造業)	37.3 (▼0.9)	37.3 (▼0.7)	32.3 (▼3.2)
(非製造業)	35.8 (△3.7)	33.0 (▼0.5)	30.5 (▼2.8)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標のDIの推移



平成23年4月～6月期に東日本大震災の影響もあって大幅に低下した企業景気DIは、その後緩やかながらも3期連続して上昇基調で推移した。震災の影響が和らぐにつれ改善の方向を辿ってきたが、依然として震災前の水準には戻っておらず、景気回復への足取りは重い。また全業種での企業景気DIは改善されたものの、製造業の企業景気DIは前期と比べ0.9ポイント低下した。業種別では窯業、金属、その他の製造が大きく落ち込む一方で、情報通信、卸売、機械が大幅に上昇した。

製造業においては、「油圧機器、圧着器等の工具の販売が順調」（伏見区／機械）、「産業用自動化機器の生産が順調」（伏見区／機械）、「原材料の仕入がうまく行き、また受注量も増加している」（右京区／印刷）、「新規分野への商品が好調で、電子材料の低調をカバー」（中京区／化学）といった、販売先の需要に沿った商品に注力して受注が増加したことや、新規分野への進出で落ち込みを補ったといったことから、機械、印刷、化学の企業景気DIは上昇した。また地場産業の西陣、染色についても「帯袋製造で70年余りの歴史があり、取引先を多く持っている」（上京区／西陣）、「取引先の安定から販売は順調」（北区／西陣）、「他の染工場ではなかなか出来ないものづくりが上昇に繋がっている」（中京区／染色）といった、長年の業歴から底堅い地盤を有している強みを活かした安定した取引先の確保や、技術力を活かした同業他社との差別化等で、景況感が改善された。

一方、「需要が伸びない、市況全般の悪化」（山科区／窯業）、「日に日に悪くなる、先行きの目処が全然立たない」（東山区／窯業）、「円高による受注減」（右京区／金属）、「取引先の輸出減少による弊社製品の受注減」（南区／金属）、「原発事故に伴う風評被害等による影響で売上ダウンが続く」（南区／その他の製造）、「東日本大震災の影響大で予算が不足している」（南区／その他の製造）といった、市況低迷、相手先業界の不調によるものや、引き続き震災関連や円高の影響を受けており、窯業、金属、その他の製造の企業景気DIは低下、中でも窯業が前回と比べ9.6ポイントと大幅に低下し、製造業全体の景況感を押し下げた。

非製造業においては、「円高による外国人客の減少。海外旅行へのシフト」（東山区／飲食・宿泊）、「震災の影響も多少残り、客単価が低くなった」（東山区／サービス）といった、円高、震災の影響や消費低迷を受けて業況が改善されず、飲食・宿泊、サービスの企業景気DIは低下した。一方で、「需要のある製品を開発、市場に投入できた」（下京区／情報通信）、「景気に関係なく強みを積極的に進めていったため」（山科区／卸売）、「LED照明分野が伸びている」（下京区／建設）、「新規店の売上上昇によるものが大きい」（北区／小売）といった、開発商品の投入が成功したことや自社の特徴を活かしての展開、新規出店による効果等により、情報通信、卸売、建設、小売の景況感は改善した。中でも情報通信の企業景気DIは前期と比べ11.6ポイントと二桁の上昇となった。

観光関連については、「地震等のマイナスニュースが多く、嗜好品の購買意欲の減退」（中京区／小売）、「景気が悪く、出費を抑えている」（中京区／小売）など、震災の影響等による利用客の減少や客単価の低下を反映して、景況感が悪化した。

今回の調査では、業種によって様々な結果が見られたが、京都市内の一部の中小企業において、「新規顧客獲得による売上増」、「品揃えの充実に努め、客足は安定」、「商歴長く、馴染客や固定客を多く持ち、リピーター客等に販売は堅調」といった、営業面の強化や自助努力による業況回復、長い事業歴を活かしての顧客確保等を反映して、全業種での企業景気DIは更に改善した。しかしながら、依然として東日本大震災及び原子力発電所の事故の影響を受けている企業が見られることや、円高や消費低迷といった不安材料が払拭されていないことから、景況感は足踏み状態にある。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中5業種であり、いずれも低下した業種は5業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	39.7 (△ 3.2)	43.1 (△ 8.5)	37.9 (△ 1.4)
化学	42.5 (△ 1.2)	42.1 (△ 1.2)	50.0 (△ 8.7)
機械	50.0 (△ 8.0)	53.7 (△ 7.7)	40.7 (△ 4.7)
卸売	34.2 (△ 9.6)	34.3 (△ 8.0)	31.8 (△ 3.0)
建設	36.4 (△ 5.1)	30.3 (△ 0.9)	31.3 (△ 3.1)

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
窯業	36.8 (▼ 9.6)	33.3 (▼ 16.7)	39.5 (▼ 3.8)
金属	42.0 (▼ 6.3)	41.7 (▼ 8.3)	38.0 (▼ 7.0)
その他の製造	31.0 (▼ 5.6)	32.5 (▼ 3.8)	23.1 (▼ 10.2)
飲食・宿泊	34.3 (▼ 3.6)	29.6 (▼ 14.8)	33.8 (▼ 0.6)
サービス	38.6 (▼ 4.4)	37.0 (▼ 9.9)	39.2 (▼ 4.3)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

(2) 来期見通し 平成24年4月～6月期

来期（平成24年4月～6月期）の全業種の主要3指標見通しDIは、企業景気DIが41.1となり、今期と比較し4.6ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは、40.5で同5.2ポイント上昇、経常利益DIは、36.9で同5.4ポイントの上昇となった。

・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	41.1 (△4.6)	40.5 (△5.2)	36.9 (△5.4)
(製造業)	42.0 (△4.7)	41.7 (△4.4)	37.4 (△5.1)
(非製造業)	40.2 (△4.4)	39.2 (△6.2)	36.4 (△5.9)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇を示す。）

企業景気DIの来期見通しは、製造業、非製造業ともに上昇した。

製造業では、「世界経済の中期的見通しが暗いと、生産に時間がかかる品種ほど受注が減少する」（山科区/機械）、「景気低迷から受注面は低調」（南区/機械）といった、海外経済の減速や市況低迷による受注減を懸念して機械の企業景気見通しDIが低下している。また地場産業の西陣、染色についても「着物離れの進行で市場需要が縮小し、販売が落ち込む」（上京区/西陣）、「あいかわらず商材のコスト高が厳しく、収益性悪化」（南区/染色）といった、需要低迷やコスト高、和装業界の不振等により好材料が見当たらないとする声が多く、企業景気DIの来期見通しは低下した。一方で、「在庫調整が進み、今後は受注増が見込める」（山科区/化学）、「新商品開発と営業部門の充実による売上、製造受注の増加」（伏見区/その他の製造）、「景気が悪く、市場開拓で打破」（西京区/印刷）、「平成23年前半は出荷量が低調であったが、平成23年後半から増加傾向で順調に推移」（左京区/窯業）、「自動車関連の回復。電力、重電、車両関係に期待」（伏見区/金属）といった、拡販に向けての自助努力や新商品の投入、開発等による新規開拓に加え、震災の影響で落ち込んでいた業界の回復への期待などから、化学、その他の製造、印刷、窯業、金属の5業種の企業景気DIの来期見通しが上昇し、製造業全体でも4.7ポイント上昇している。

非製造業においては、「受注不足が継続」（下京区/情報通信）、「不況、競争激化」（右京区/建設業）のように市況低迷や競争激化により先行きの見通しは厳しいとして、情報通信と建設の企業景気DIの来期見通しは低下している。一方、「店舗改装の効果が徐々に出てきている」（北区/飲食・宿泊）、「既存店舗の減少を新店舗の増加でカバー」（伏見区/サービス）、「新規出店した店舗の業績が好調」（下京区/小売）、「新市場開拓等で旧分野の落込みを新分野で補う。平成23年4～6月は震災の影響を受け売上が減少した為、その反動で伸長予想」（山科区/卸売）といった、震災の影響で下落していた過去の売上と比べての改善や、店舗の改装、新規出店による設備関係の投資効果での改善が見込まれること等により、飲食・宿泊、サービス、小売、卸売において企業景気DIの来期見通しは上昇している。この結果、非製造業全体で4.4ポイント上昇した。

なお、観光関連では、前年同期の震災、原子力発電所の事故による外国人旅行者の大幅な減少や消費低迷への反動に加え、震災の影響の緩和に伴い、4月以降外国人を含めた旅行者が増加すると予測する企業もあり、企業景気DIの来期見通しは16.3ポイントと大きく上昇している。

国内経済においては、海外経済の動向や円高の影響が懸念されるものの、震災復興関連の需要が徐々に強まっていくにつれて全体的に緩やかながらも景気は回復傾向を辿って行くものと予想されている。しかし、来期は電力供給制約や原油高騰が回復の妨げになり、景気回復が足踏み状態となる恐れがある。

市内中小企業においては、製造業、非製造業ともに企業景気の来期見通しDIは上昇した。積極的な設備投資や安定した顧客の確保、また自社開発製品の投入などによる自助努力に加え、震災の影響が和らいで回復に期待感を寄せる企業もあり、景況感の改善を予想する声が聞かれる。しかしながら、「購買力は激減している」（山科区/その他の製造）、「震災以降観光客が急激に減少し、宿泊単価や購買単価も減少、契約済や着工予定物件も全て見送りとなり仕事が無くなった」（中京区/建設）といった、厳しい意見も聞かれることから、本格的な景気回復への足取りは重く、下振れする可能性を含んでいる。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は8業種、いずれも低下と予測している業種は3業種となった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
印刷	50.0	(△ 10.3)	48.3	(△ 5.2)	48.3	(△ 10.4)
窯業	38.9	(△ 2.1)	38.9	(△ 5.6)	41.7	(△ 2.2)
化学	54.8	(△ 12.3)	62.5	(△ 20.4)	57.5	(△ 7.5)
その他の製造	43.6	(△ 12.6)	42.8	(△ 10.3)	35.7	(△ 12.6)
卸売	37.3	(△ 3.1)	37.0	(△ 2.7)	34.3	(△ 2.5)
小売	34.9	(△ 7.2)	35.7	(△ 10.2)	32.7	(△ 16.0)
飲食・宿泊	50.0	(△ 15.7)	51.9	(△ 22.3)	45.5	(△ 11.7)
サービス	47.7	(△ 9.1)	50.0	(△ 13.0)	48.6	(△ 9.4)
<3指標低下業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
機械	40.7	(▼ 9.3)	42.6	(▼ 11.1)	33.3	(▼ 7.4)
情報通信	43.5	(▼ 10.7)	45.2	(▼ 7.1)	38.1	(▼ 0.5)
建設	33.7	(▼ 2.7)	28.4	(▼ 1.9)	24.4	(▼ 6.9)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期、△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標DI業種別推移（前期／今期／来期見通し）

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	35.2	36.5	41.1	35.9	35.3	40.5	34.4	31.5	36.9
製造業	38.2	37.3	42.0	38.0	37.3	41.7	35.5	32.3	37.4
非製造業	32.1	35.8	40.2	33.5	33.0	39.2	33.3	30.5	36.4

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	38.2	37.3	42.0	38.0	37.3	41.7	35.5	32.3	37.4
西陣	28.6	35.4	32.6	23.2	28.3	26.1	28.6	27.3	27.3
染色	33.8	34.8	31.3	33.3	32.8	32.3	29.4	26.6	30.6
印刷	36.5	39.7	50.0	34.6	43.1	48.3	36.5	37.9	48.3
窯業	46.4	36.8	38.9	50.0	33.3	38.9	43.3	39.5	41.7
化学	41.3	42.5	54.8	40.9	42.1	62.5	41.3	50.0	57.5
金属	48.3	42.0	43.5	50.0	41.7	41.3	45.0	38.0	32.6
機械	42.0	50.0	40.7	46.0	53.7	42.6	36.0	40.7	33.3
その他の製造	36.6	31.0	43.6	36.3	32.5	42.8	33.3	23.1	35.7
非製造業	32.1	35.8	40.2	33.5	33.0	39.2	33.3	30.5	36.4
卸売	24.6	34.2	37.3	26.3	34.3	37.0	28.8	31.8	34.3
小売	22.8	27.7	34.9	21.7	25.5	35.7	28.9	16.7	32.7
情報通信	42.6	54.2	43.5	50.0	52.3	45.2	40.7	38.6	38.1
飲食・宿泊	37.9	34.3	50.0	44.4	29.6	51.9	34.4	33.8	45.5
サービス	43.0	38.6	47.7	46.9	37.0	50.0	43.5	39.2	48.6
建設	31.3	36.4	33.7	29.4	30.3	28.4	28.2	31.3	24.4
観光関連企業	38.4	33.7	50.0	36.8	30.0	46.7	35.7	27.6	44.9

・設備投資DI推移（前期／今期／来期見通し）

	設備投資DI		
	前期	今期	来期見通し
製造業	19.2	18.3	16.1

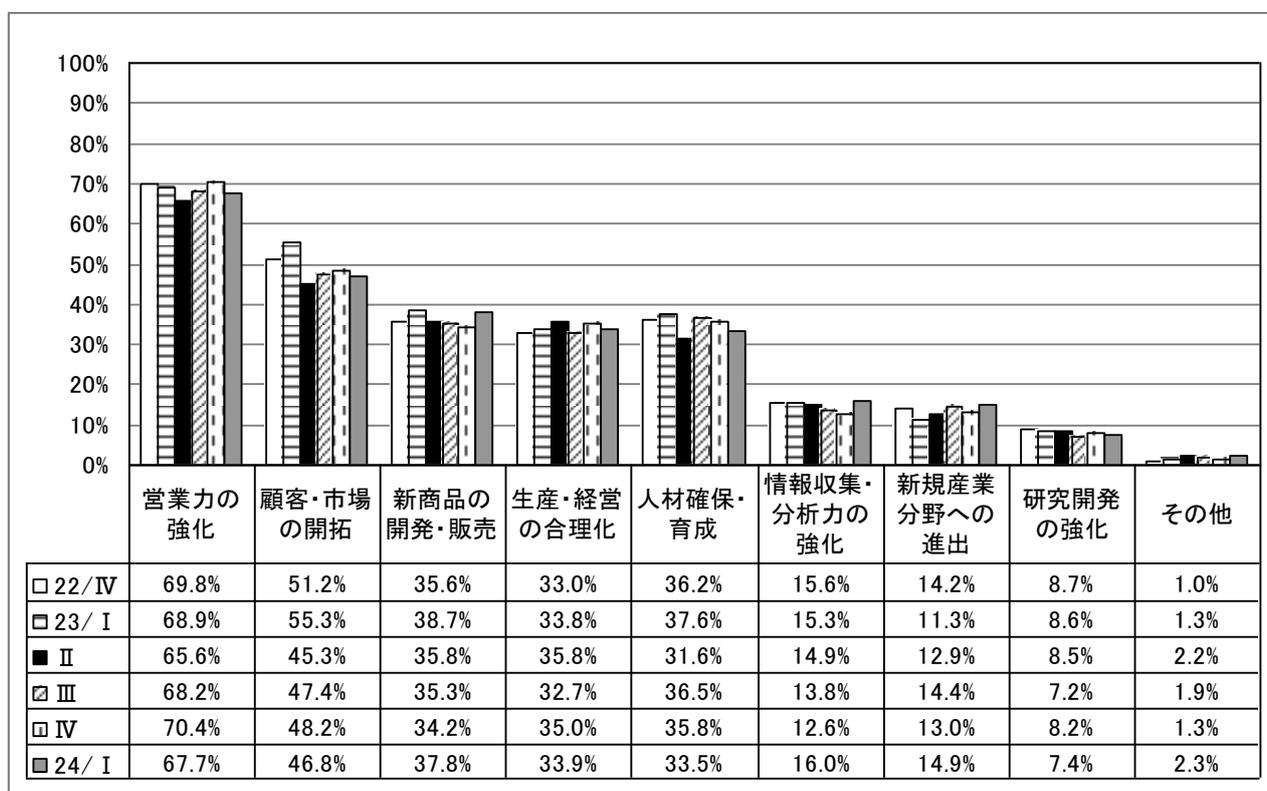
2. 当面の経営戦略について

● 「営業力の強化」を挙げる企業が67.7%で引き続きトップ。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の67.7%を占め、最も多くなっている。「顧客・市場の開拓」が46.8%で続き、以下「新商品の開発・販売」37.8%、「生産・経営の合理化」33.9%、「人材確保・育成」が33.5%の順となっている。

前期と比較すると、「人材確保・育成」が3位より5位へと下がったものの、回答数上位5項目の内容に変動はなかった。トップの「営業力の強化」及び「人材確保・育成」の減少幅が大きくなっている一方で、「新商品の開発・販売」が上昇している。

その他の意見としては、「業務の改善、合理化」（伏見区／サービス）のように抜本的な改革を目指す意見や、「現状維持」（中京区／染色）といった、業界の低迷に反映した保守的な経営戦略に加えて、「人員削減」（山科区／その他の製造）といった、コスト意識に比重を置いた意見も挙げられている。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

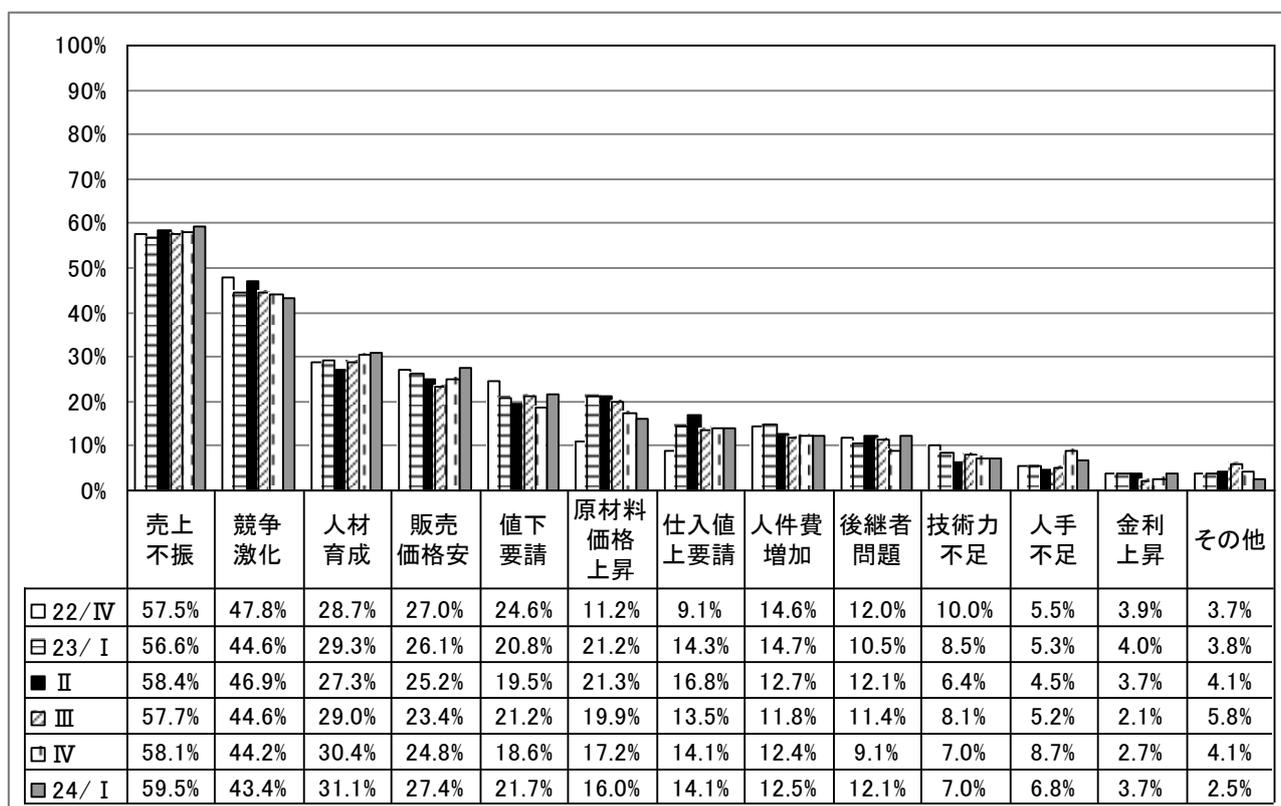
3. 経営上の不安要素について

- 「売上不振」を挙げる企業が59.5%で依然トップ。
- 前期との比較で最も増えたのは値下要請の3.1ポイント。

経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が59.5%を占めており、2位の「競争激化」43.4%を引き離して最も多くなっている。以下「人材育成」31.1%、「販売価格安」27.4%、「値下要請」21.7%の順となっている。

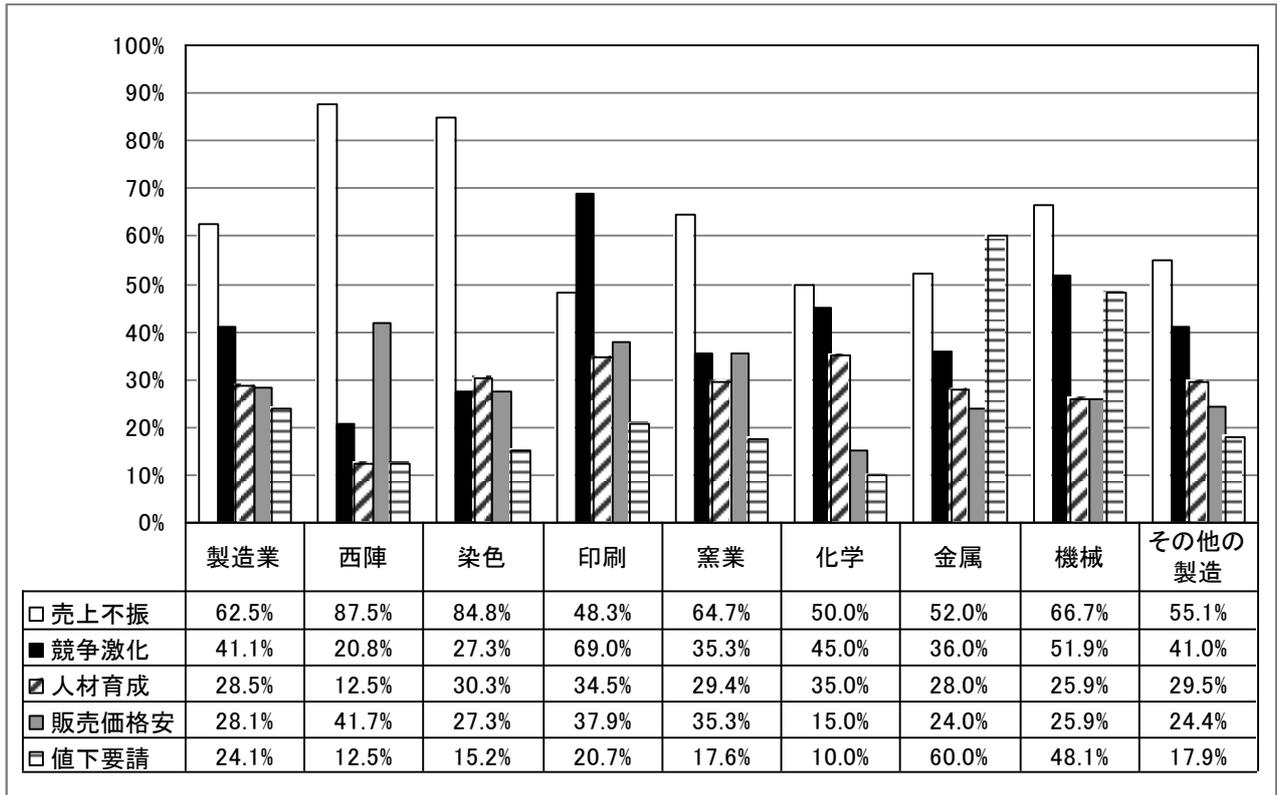
前期と比較すると、回答上位5項目の順位に変動はなかった。「値下要請」及び「後継者問題」、「販売価格安」の増加幅が大きくなっている。「競争激化で価格ダウンによる減収が続く」（右京区/印刷）、「他店との値引き競争が厳しい」（下京区/小売）といった、同業他社との競合や比較により、値下げの要請を受けるケースが増加しているため、「値下要請」は3.1ポイント増加と不安要素の中では前期比で最も増えている。

「その他」の意見の中では、「仕入先の減少」（山科区/卸売）、「原料確保」（中京区/化学）といった、原材料調達や販売商品の確保に不安を示すもの、また「円高による顧客の海外シフト」（山科区/機械）といった、円高を懸念する意見が3社あった。

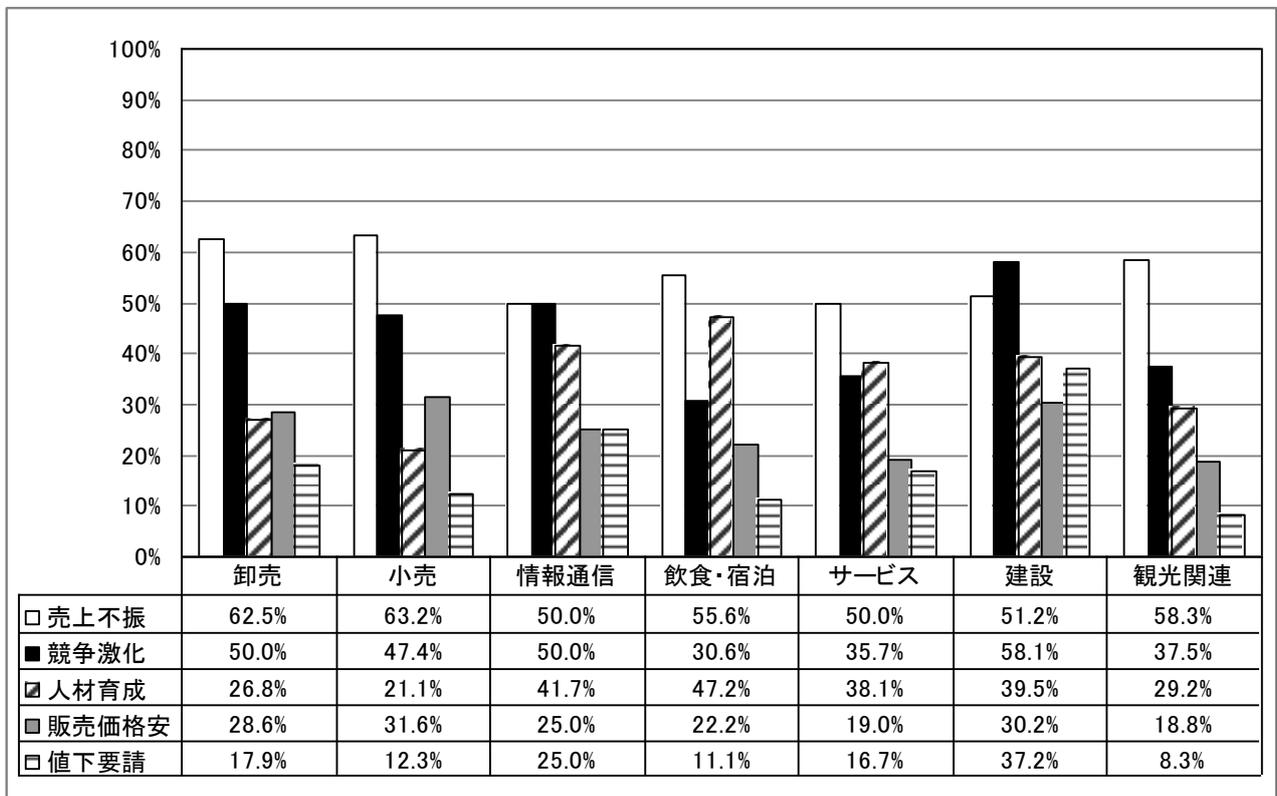


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

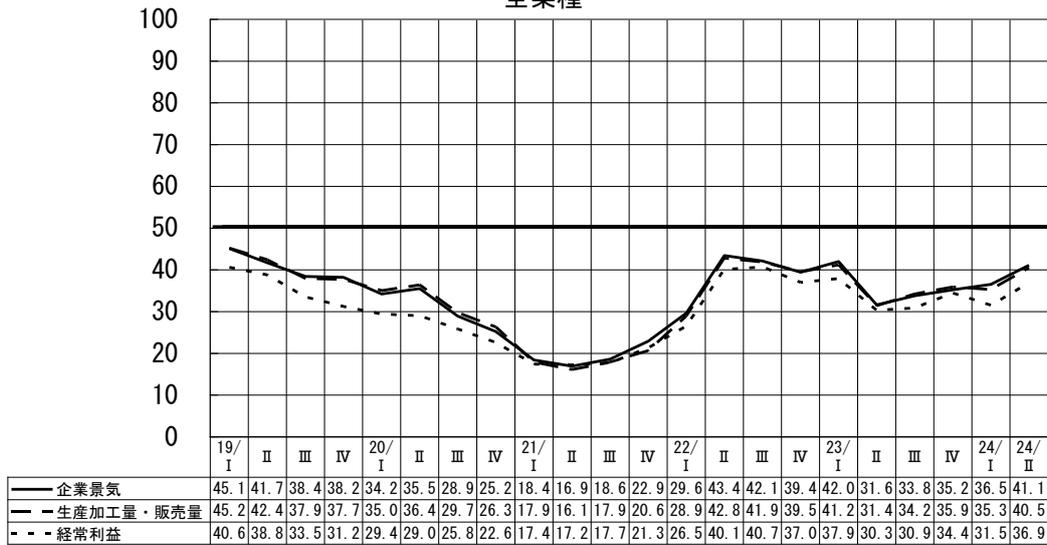


・経営上の不安要素・非製造業主要回答



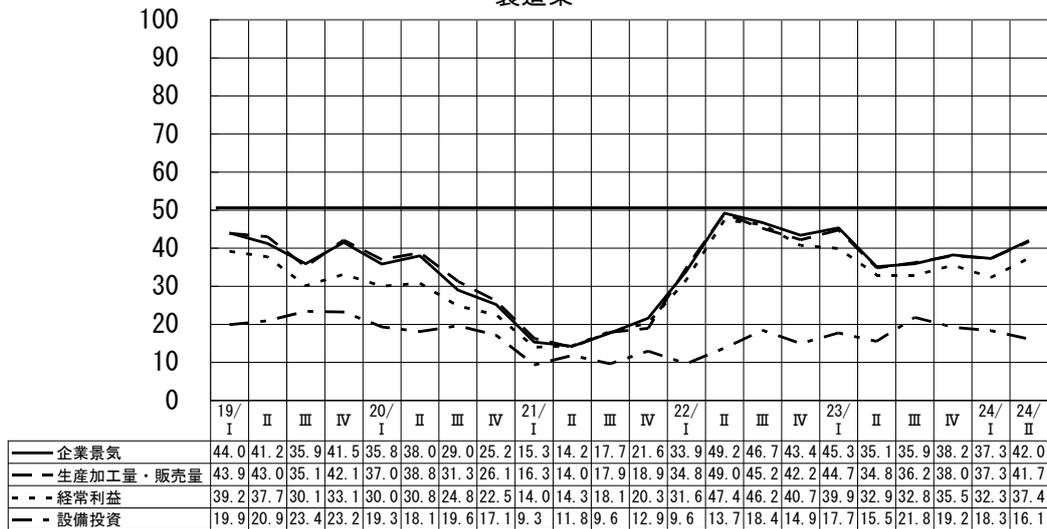
参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

全業種



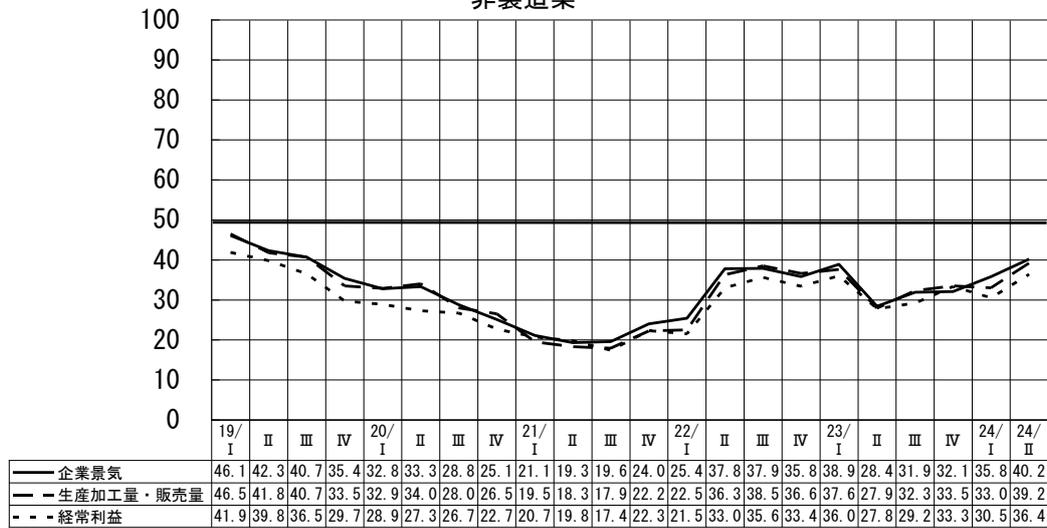
(見通し)

製造業



(見通し)

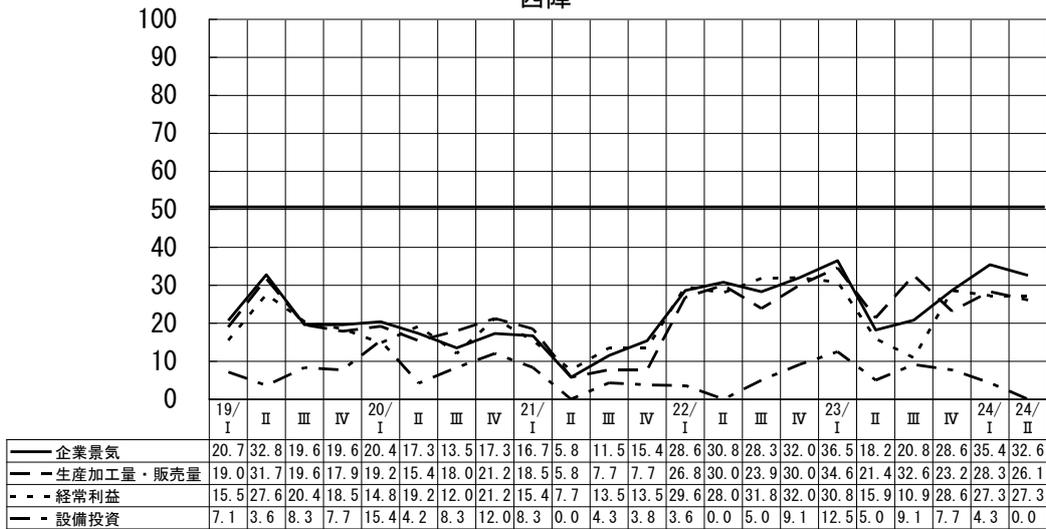
非製造業



(見通し)

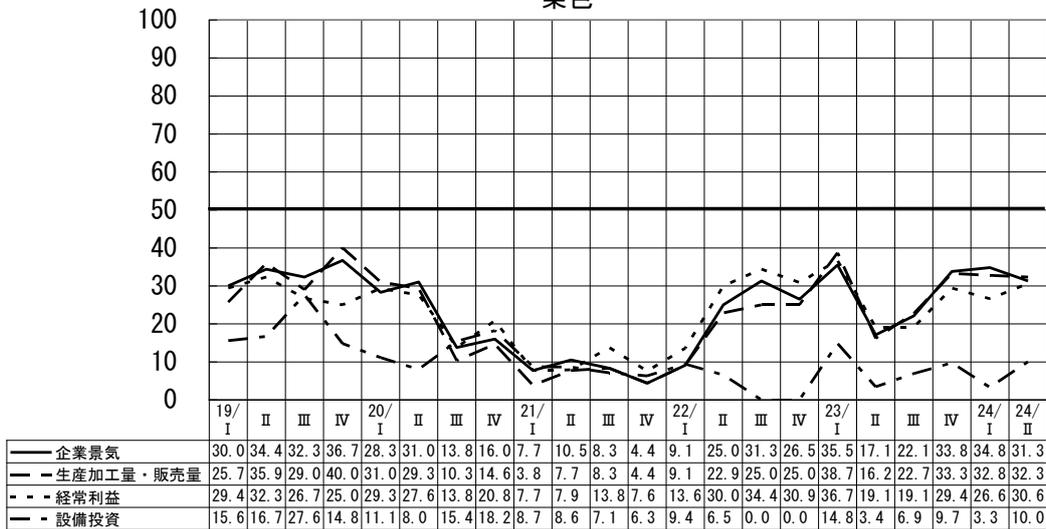
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



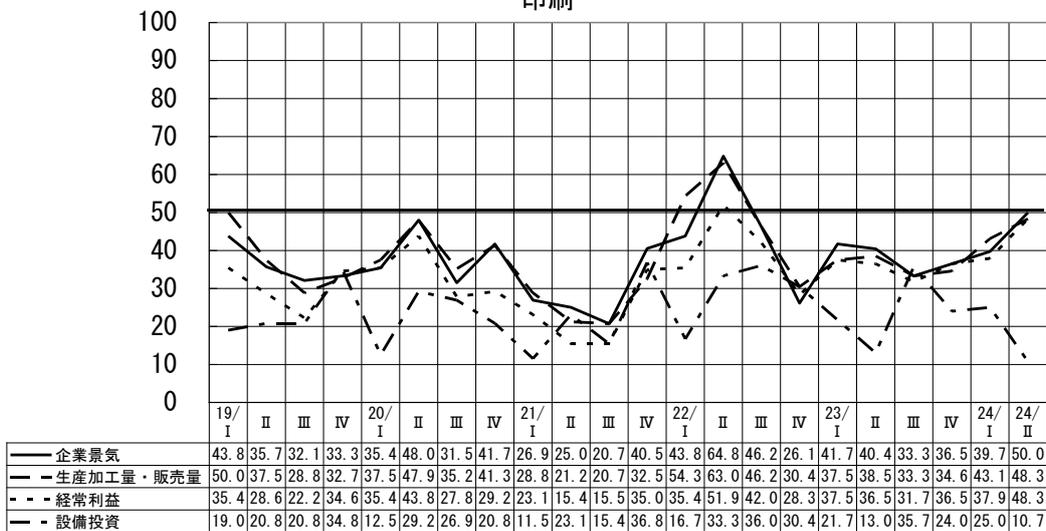
(見通し)

染色



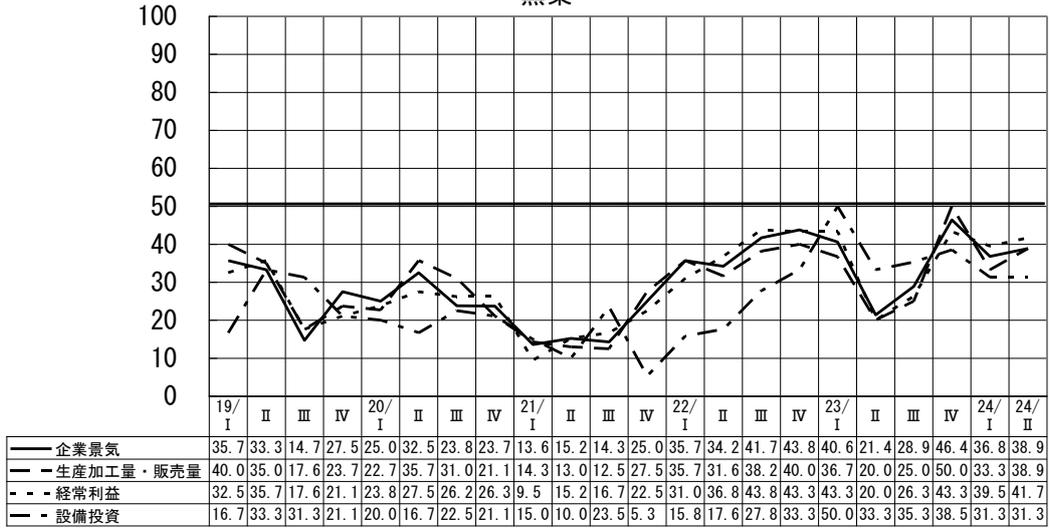
(見通し)

印刷



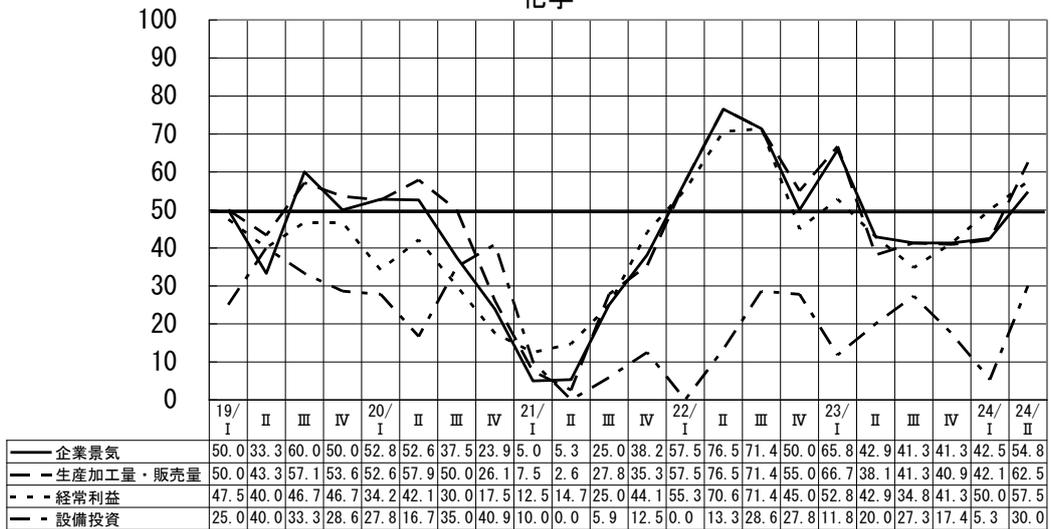
(見通し)

窯業



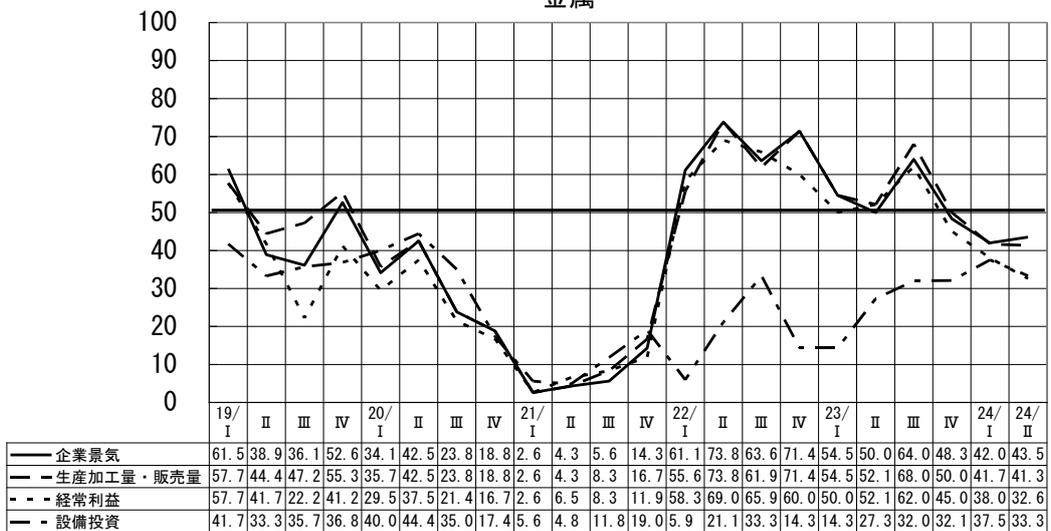
(見通し)

化学



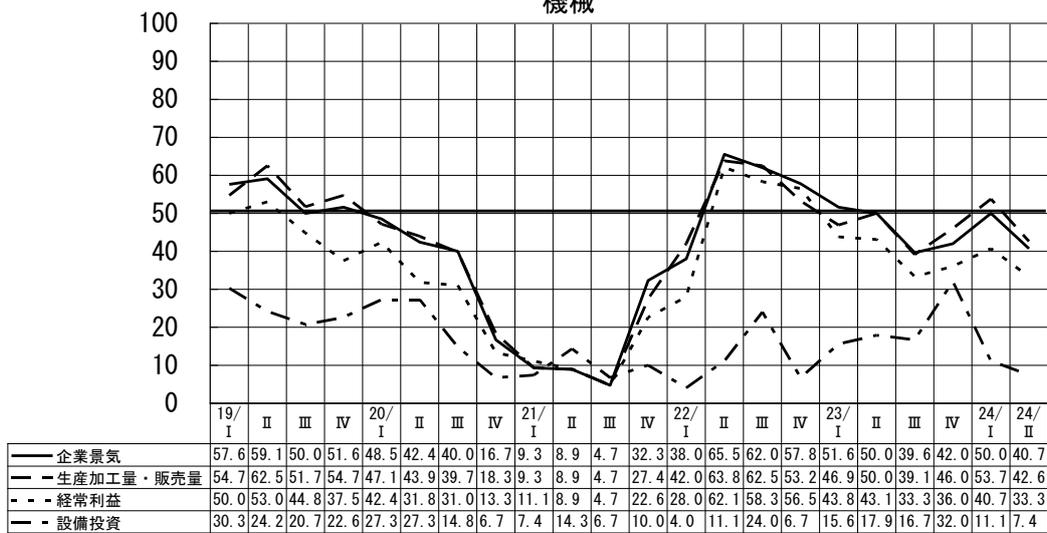
(見通し)

金属



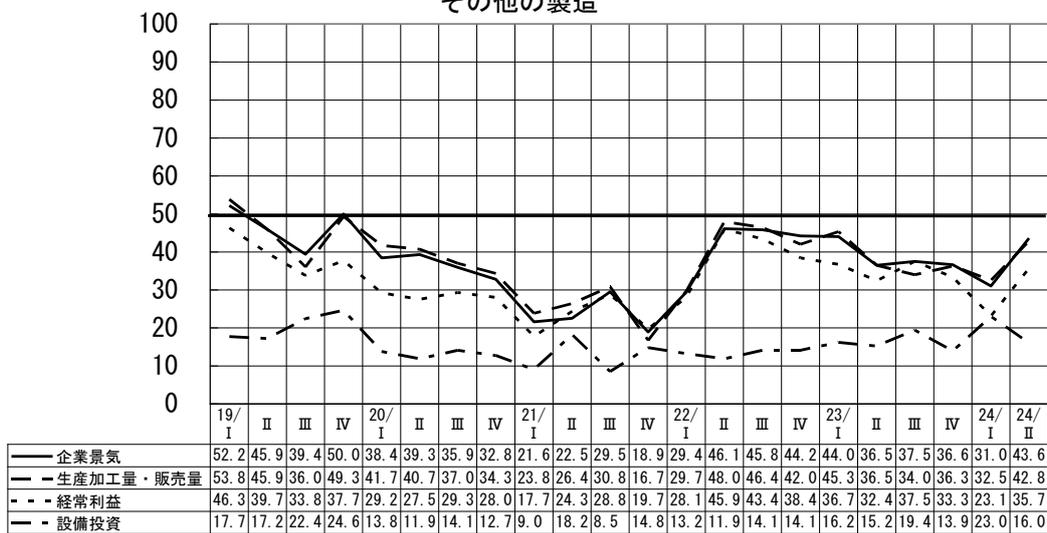
(見通し)

機械



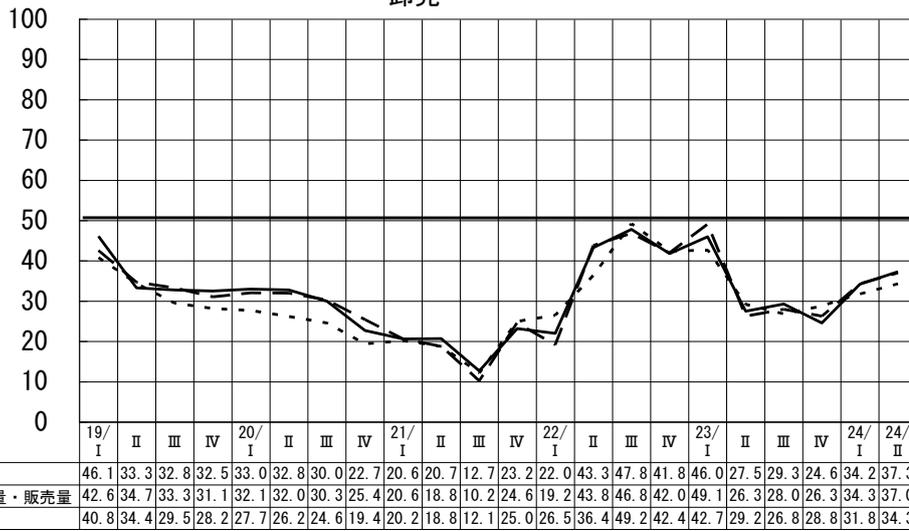
(見通し)

その他の製造



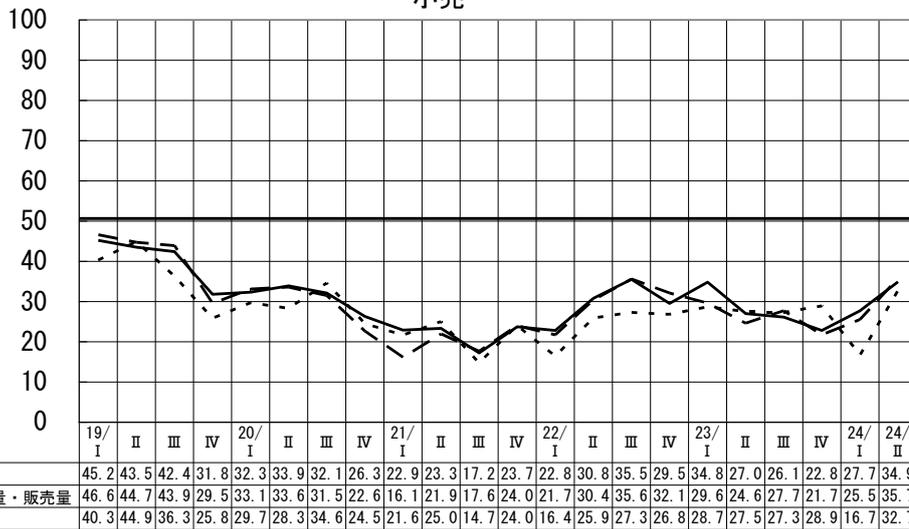
(見通し)

卸売



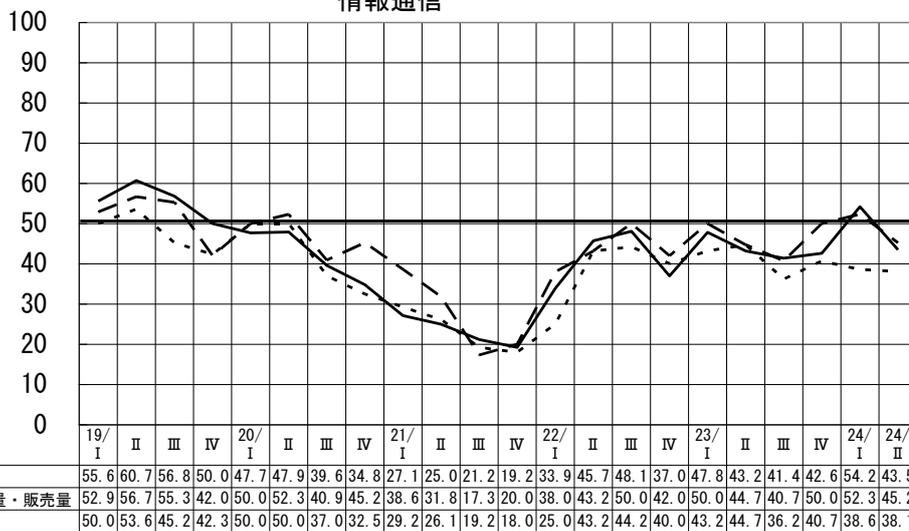
(見通し)

小売



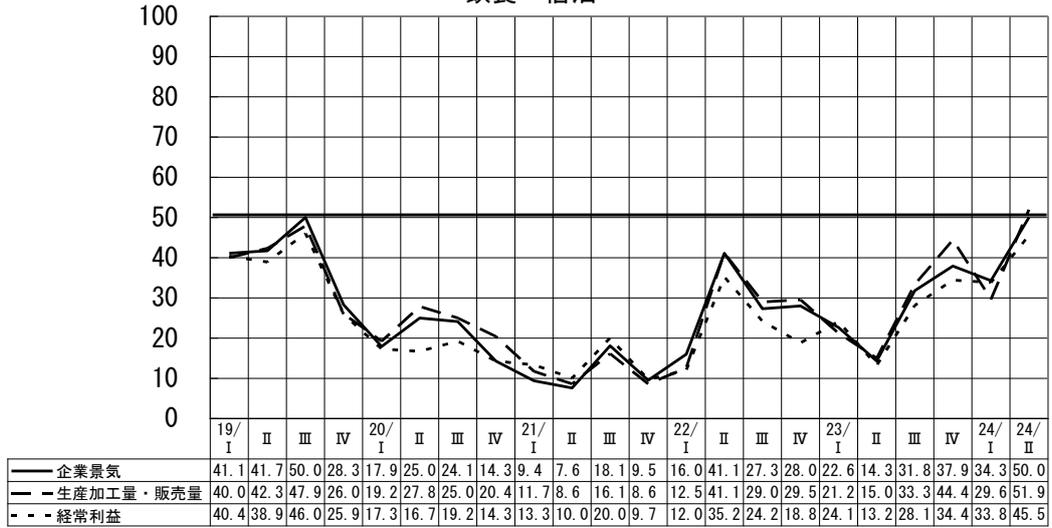
(見通し)

情報通信



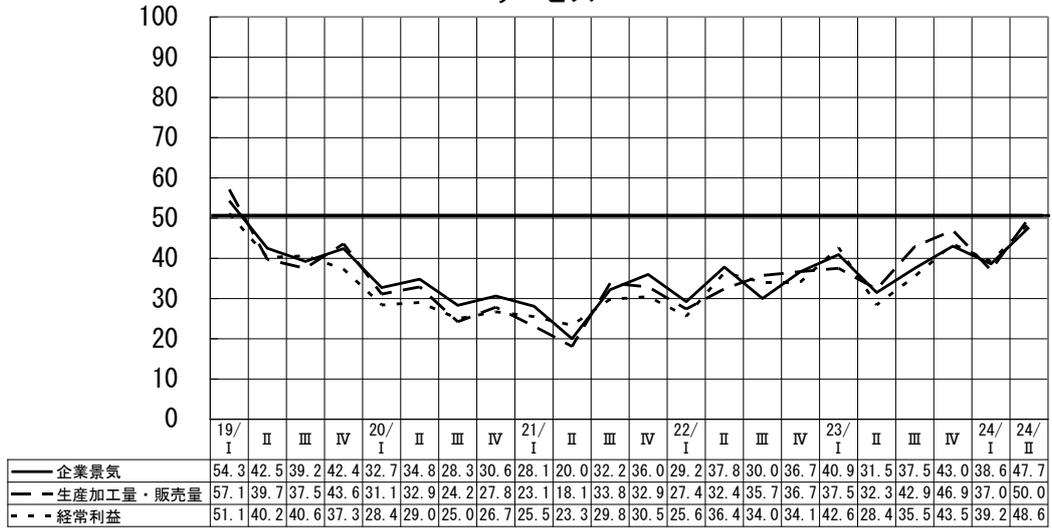
(見通し)

飲食・宿泊



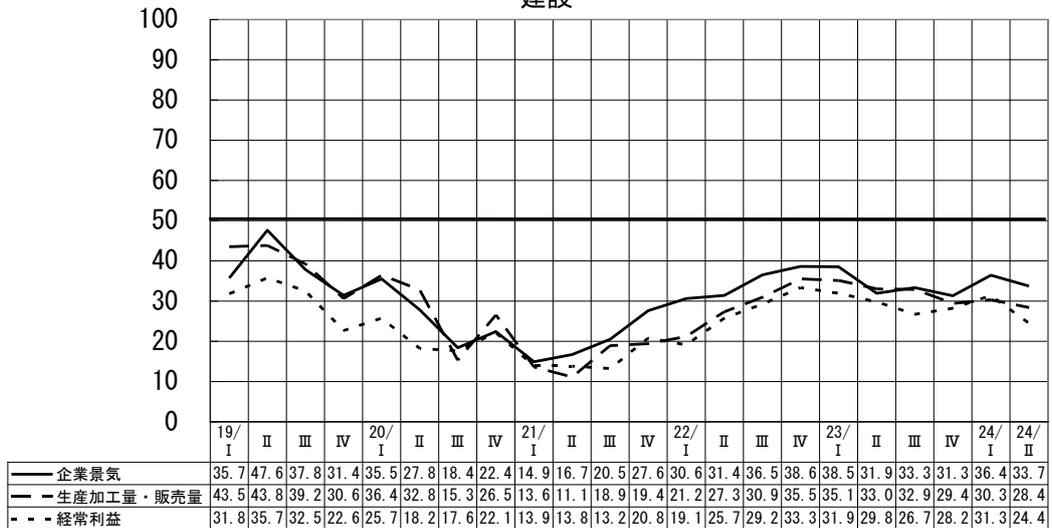
(見通し)

サービス



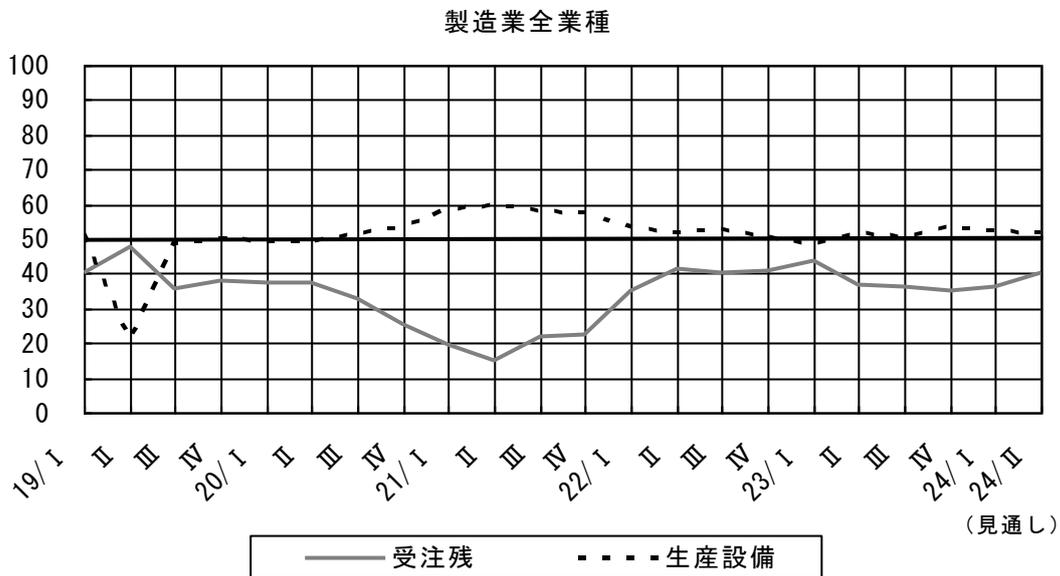
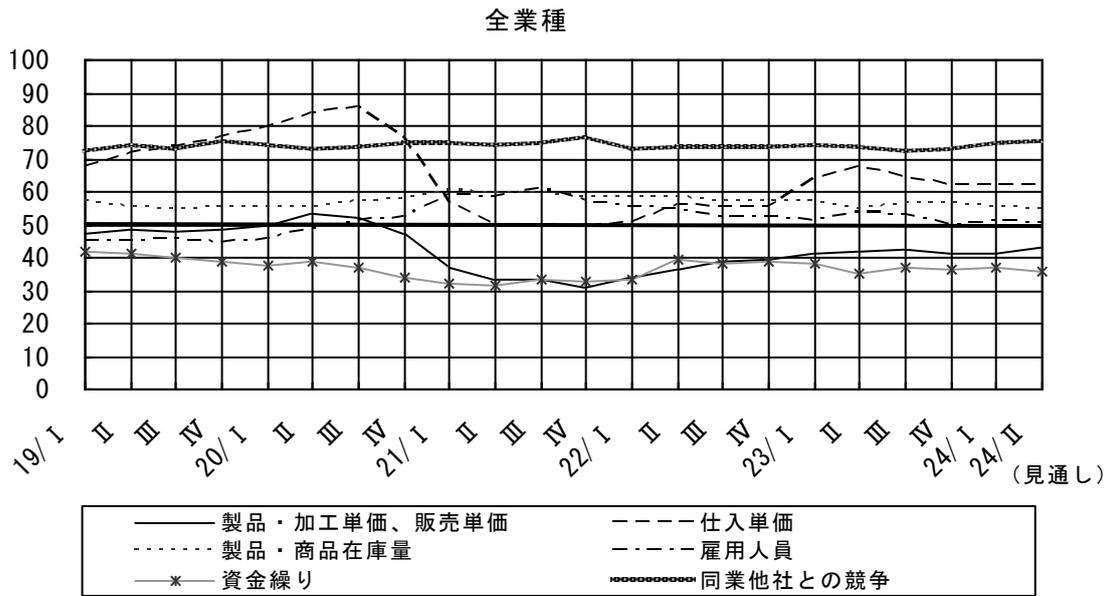
(見通し)

建設

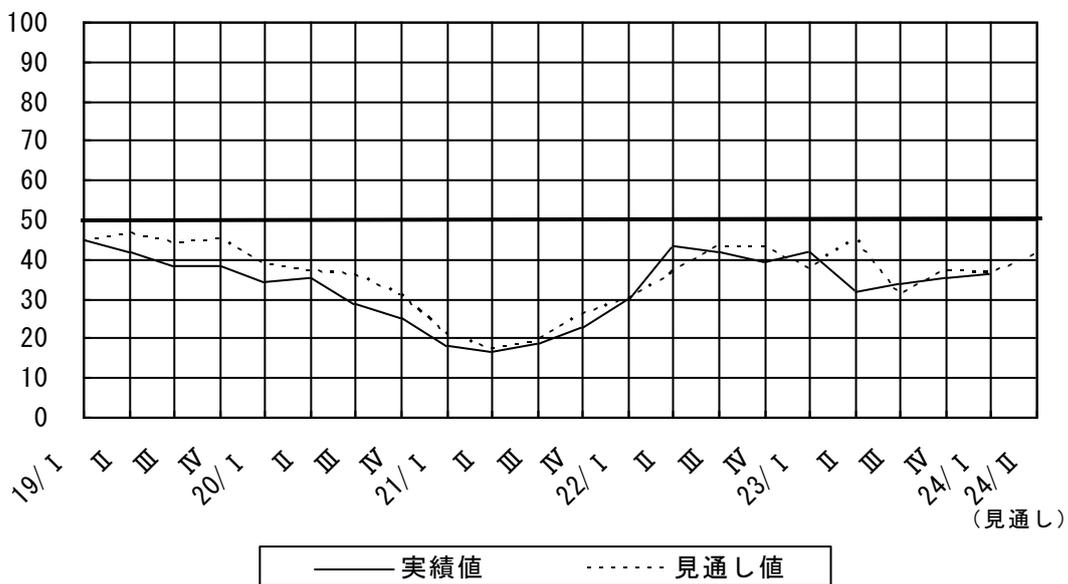


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	17
1. 企業景気.....	17
2. 生産加工量・販売量.....	19
3. 経常利益.....	21
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	23
5. 仕入単価.....	25
6. 製品・商品在庫量.....	27
7. 雇用人員.....	29
8. 資金繰り.....	31
9. 同業他社との競争.....	33
10. 受注残.....	35
11. 生産設備.....	36
12. 設備投資.....	37
(2) 当面の経営戦略について.....	38
(3) 経営上の不安要素について.....	47
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	57

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

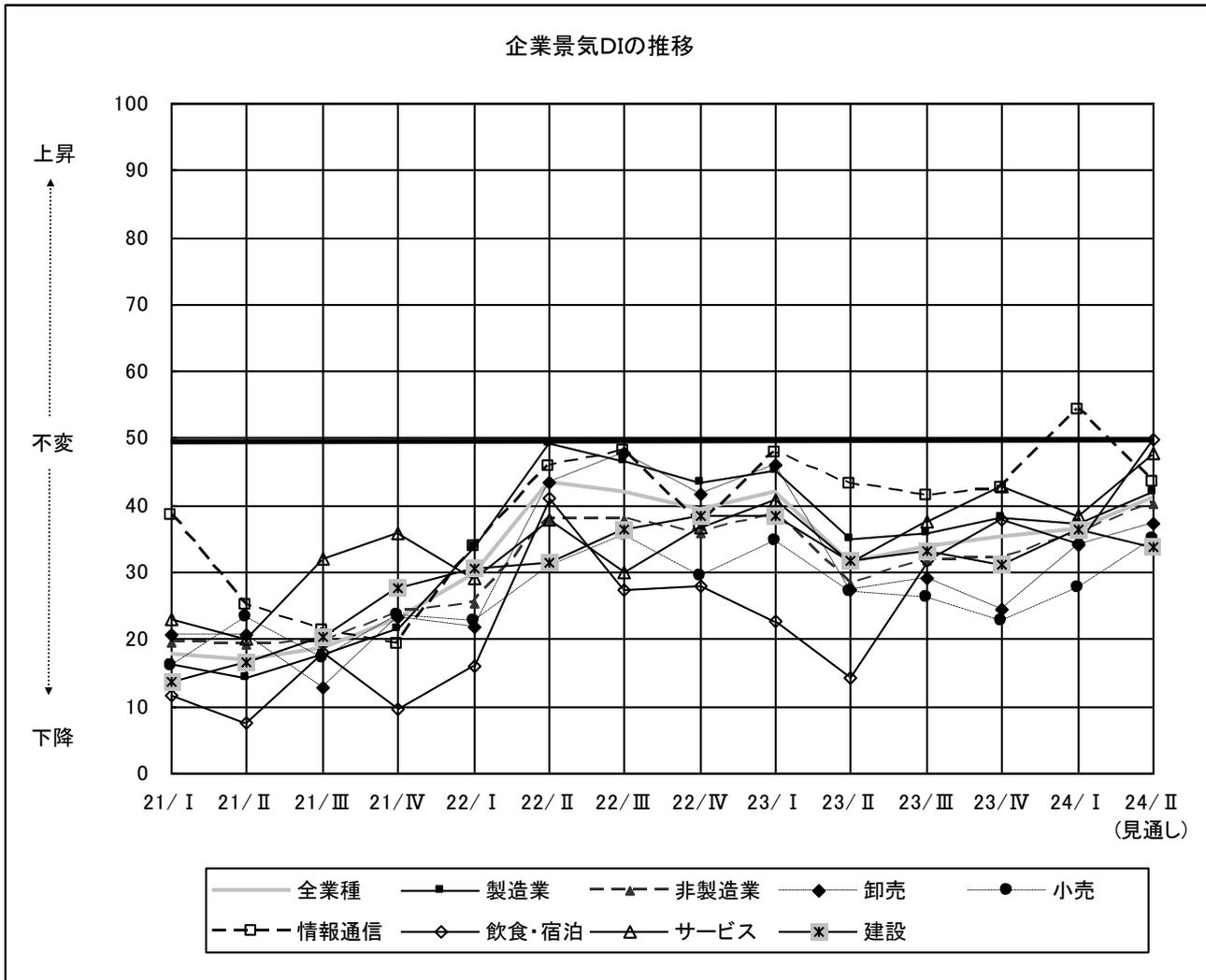


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

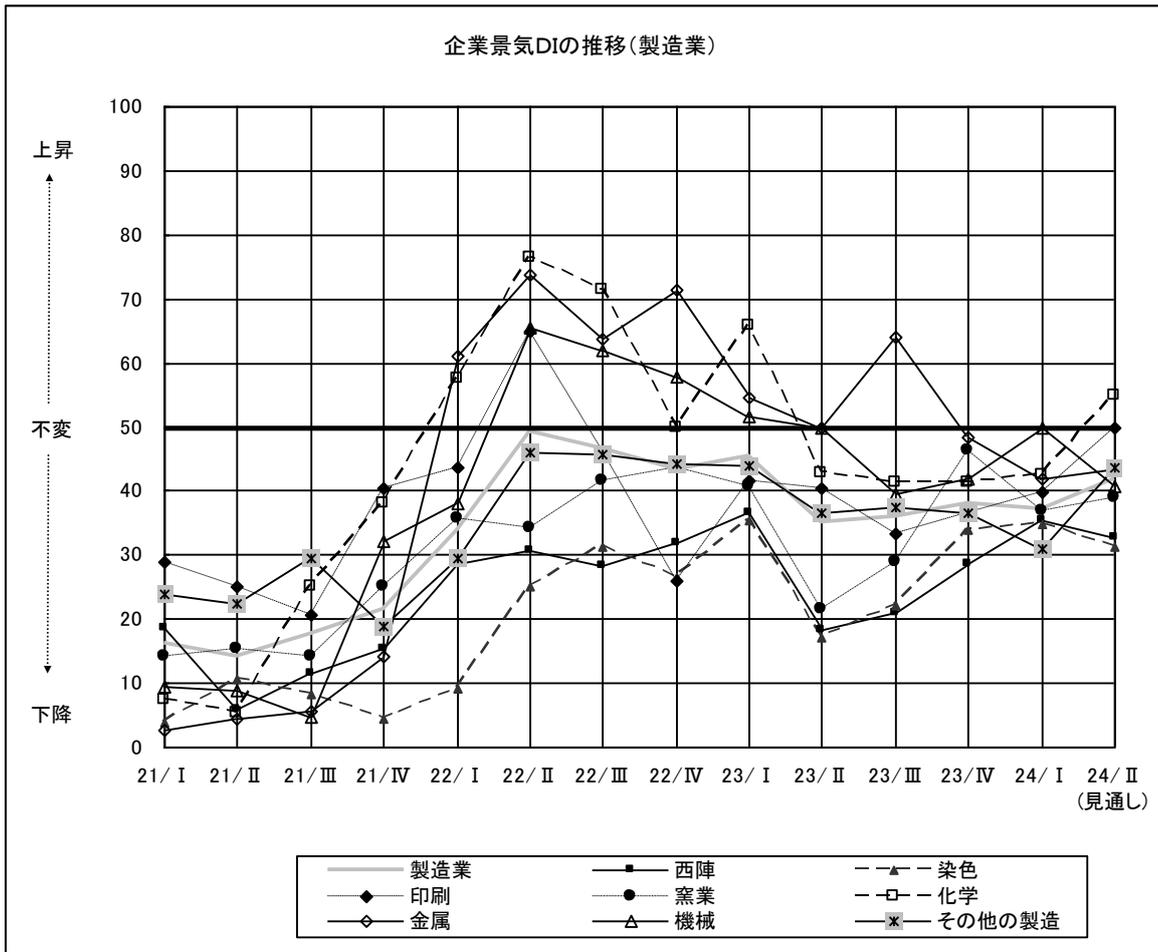


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	35.2	36.5	△ 1.3	41.1 △ 4.6
製造業	38.2	37.3	▼ 0.9	42.0 △ 4.7
西陣	28.6	35.4	△ 6.8	32.6 ▼ 2.8
染色	33.8	34.8	△ 1.0	31.3 ▼ 3.5
印刷	36.5	39.7	△ 3.2	50.0 △ 10.3
窯業	46.4	36.8	▼ 9.6	38.9 △ 2.1
化学	41.3	42.5	△ 1.2	54.8 △ 12.3
金属	48.3	42.0	▼ 6.3	43.5 △ 1.5
機械	42.0	50.0	△ 8.0	40.7 ▼ 9.3
その他の製造	36.6	31.0	▼ 5.6	43.6 △ 12.6
非製造業	32.1	35.8	△ 3.7	40.2 △ 4.4
卸売	24.6	34.2	△ 9.6	37.3 △ 3.1
小売	22.8	27.7	△ 4.9	34.9 △ 7.2
情報通信	42.6	54.2	△ 11.6	43.5 ▼ 10.7
飲食・宿泊	37.9	34.3	▼ 3.6	50.0 △ 15.7
サービス	43.0	38.6	▼ 4.4	47.7 △ 9.1
建設	31.3	36.4	△ 5.1	33.7 ▼ 2.7
観光関連	38.4	33.7	▼ 4.7	50.0 △ 16.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

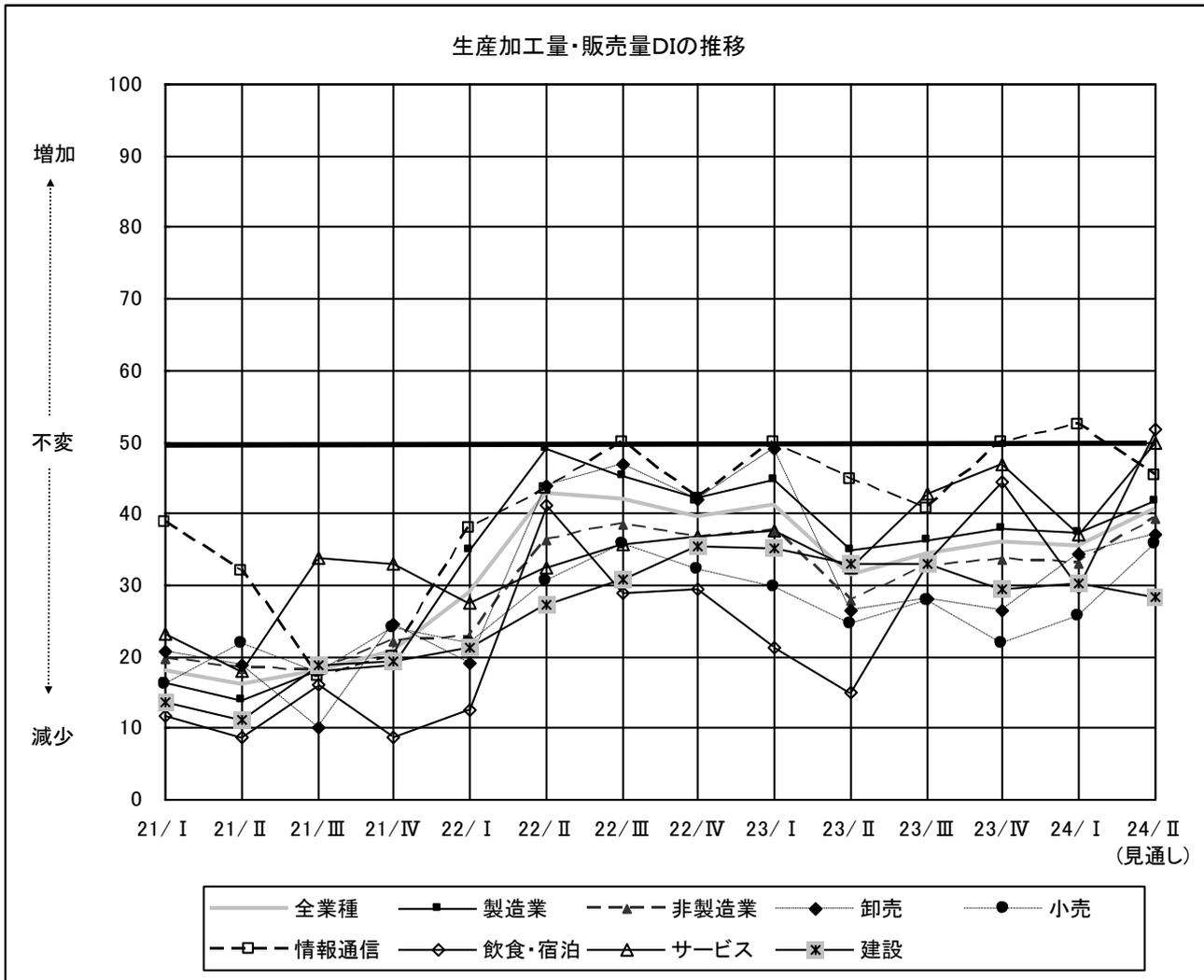


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

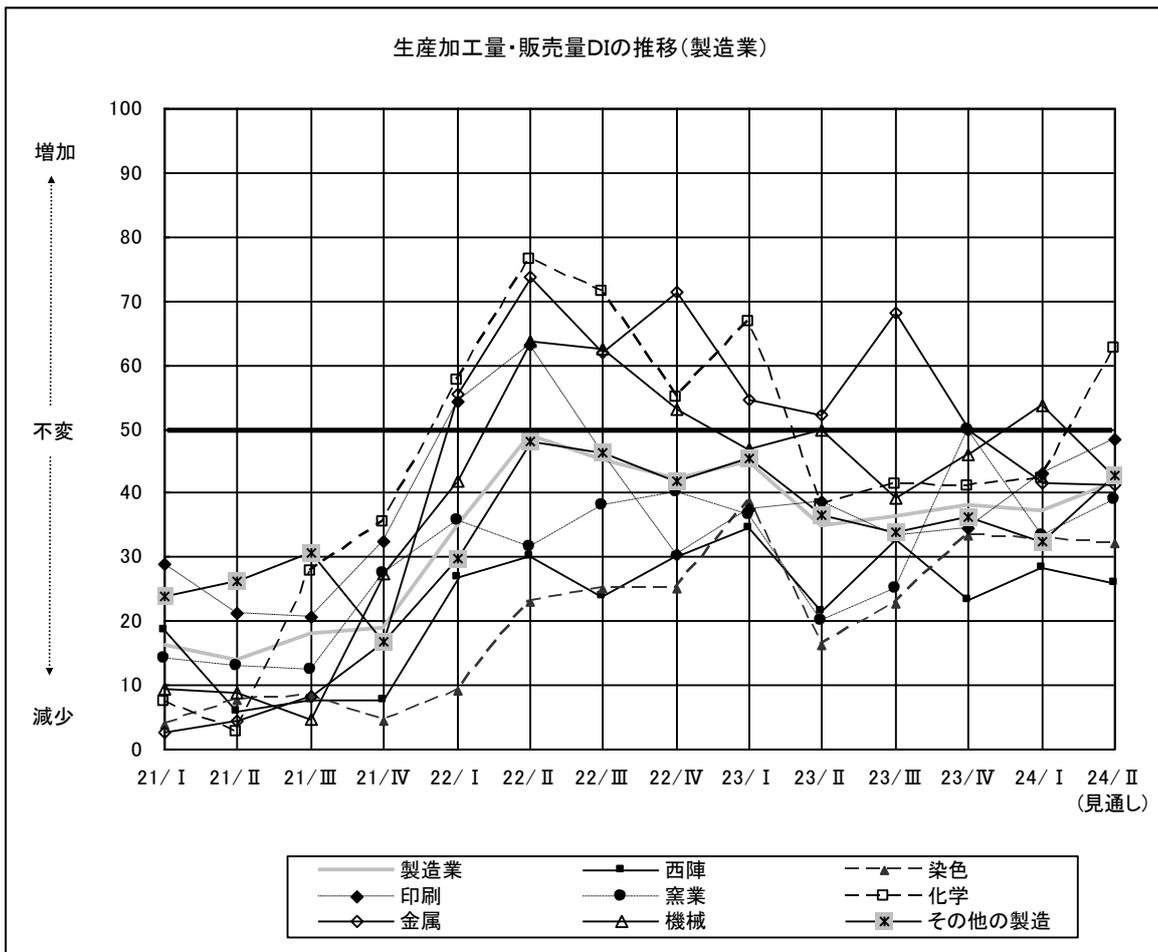


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	35.9	35.3	▼ 0.6	△ 5.2
製造業	38.0	37.3	▼ 0.7	△ 4.4
西陣	23.2	28.3	△ 5.1	▼ 2.2
染色	33.3	32.8	▼ 0.5	▼ 0.5
印刷	34.6	43.1	△ 8.5	△ 5.2
窯業	50.0	33.3	▼ 16.7	△ 5.6
化学	40.9	42.1	△ 1.2	△ 20.4
金属	50.0	41.7	▼ 8.3	▼ 0.4
機械	46.0	53.7	△ 7.7	▼ 11.1
その他の製造	36.3	32.5	▼ 3.8	△ 10.3
非製造業	33.5	33.0	▼ 0.5	△ 6.2
卸売	26.3	34.3	△ 8.0	△ 2.7
小売	21.7	25.5	△ 3.8	△ 10.2
情報通信	50.0	52.3	△ 2.3	▼ 7.1
飲食・宿泊	44.4	29.6	▼ 14.8	△ 22.3
サービス	46.9	37.0	▼ 9.9	△ 13.0
建設	29.4	30.3	△ 0.9	▼ 1.9
観光関連	36.8	30.0	▼ 6.8	△ 16.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移 (全体)

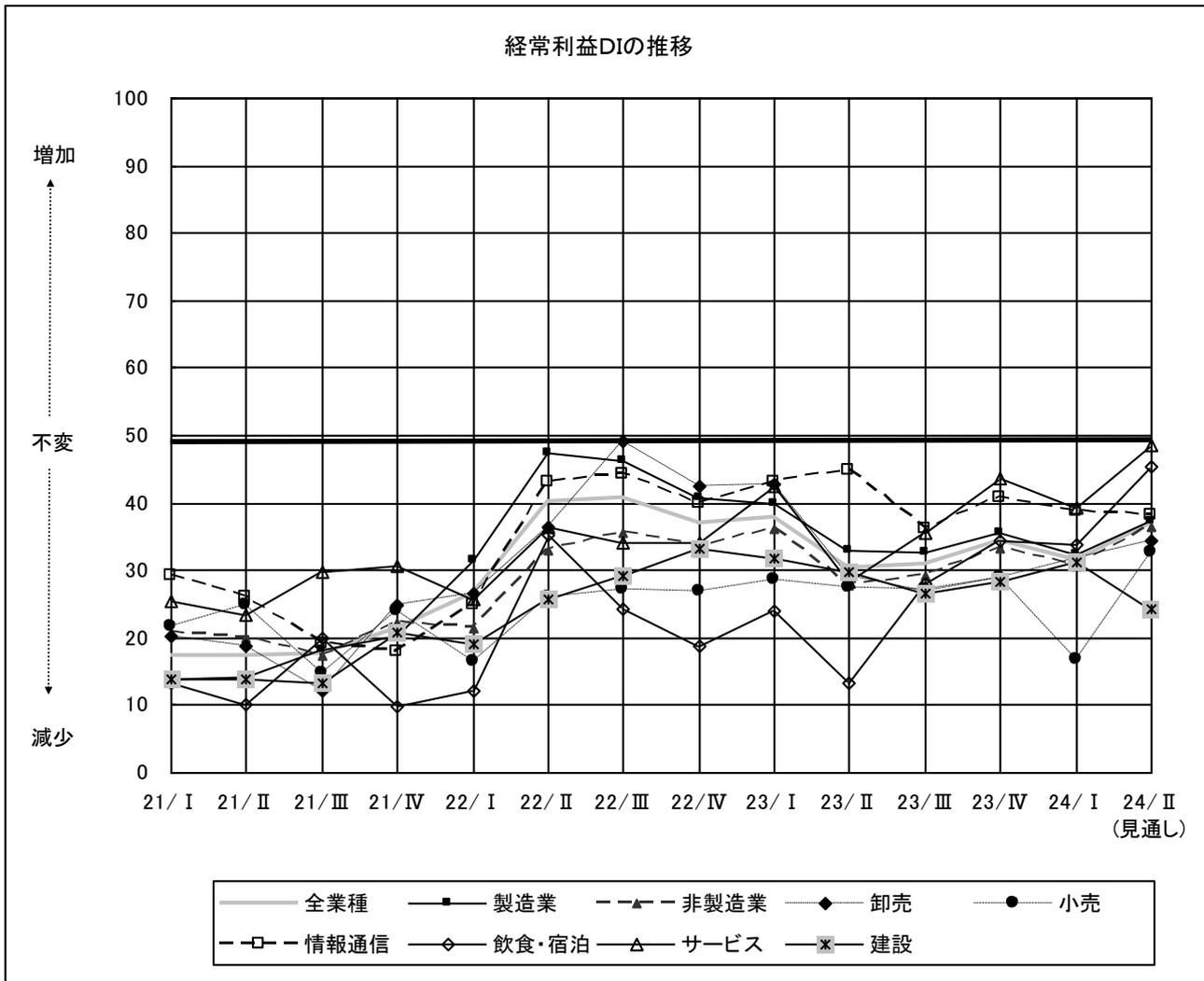


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

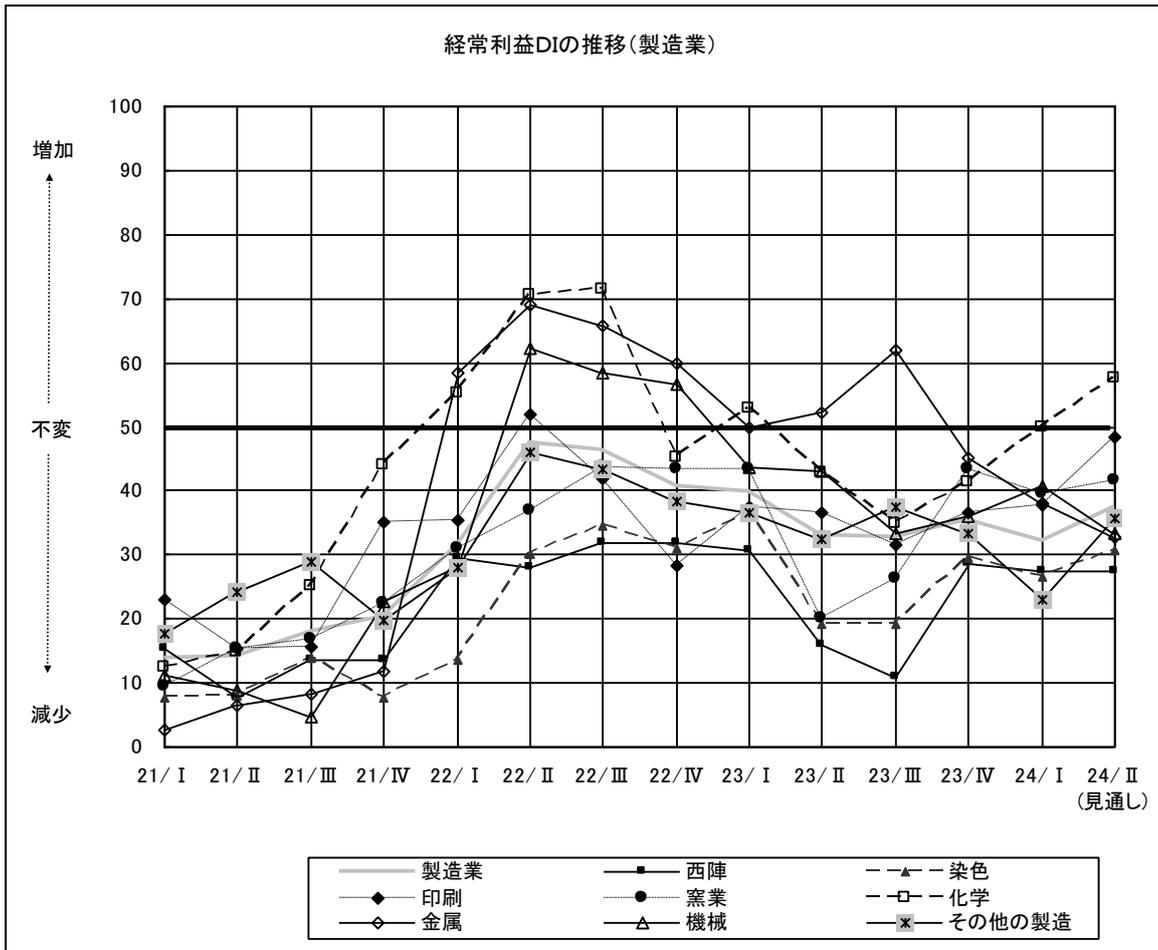


表3. 経常利益DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	34.4	31.5	▼ 2.9	36.9 △ 5.4
製造業	35.5	32.3	▼ 3.2	37.4 △ 5.1
西陣	28.6	27.3	▼ 1.3	27.3 △ 0.0
染色	29.4	26.6	▼ 2.8	30.6 △ 4.0
印刷	36.5	37.9	△ 1.4	48.3 △ 10.4
窯業	43.3	39.5	▼ 3.8	41.7 △ 2.2
化学	41.3	50.0	△ 8.7	57.5 △ 7.5
金属	45.0	38.0	▼ 7.0	32.6 ▼ 5.4
機械	36.0	40.7	△ 4.7	33.3 ▼ 7.4
その他の製造	33.3	23.1	▼ 10.2	35.7 △ 12.6
非製造業	33.3	30.5	▼ 2.8	36.4 △ 5.9
卸売	28.8	31.8	△ 3.0	34.3 △ 2.5
小売	28.9	16.7	▼ 12.2	32.7 △ 16.0
情報通信	40.7	38.6	▼ 2.1	38.1 ▼ 0.5
飲食・宿泊	34.4	33.8	▼ 0.6	45.5 △ 11.7
サービス	43.5	39.2	▼ 4.3	48.6 △ 9.4
建設	28.2	31.3	△ 3.1	24.4 ▼ 6.9
観光関連	35.7	27.6	▼ 8.1	44.9 △ 17.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

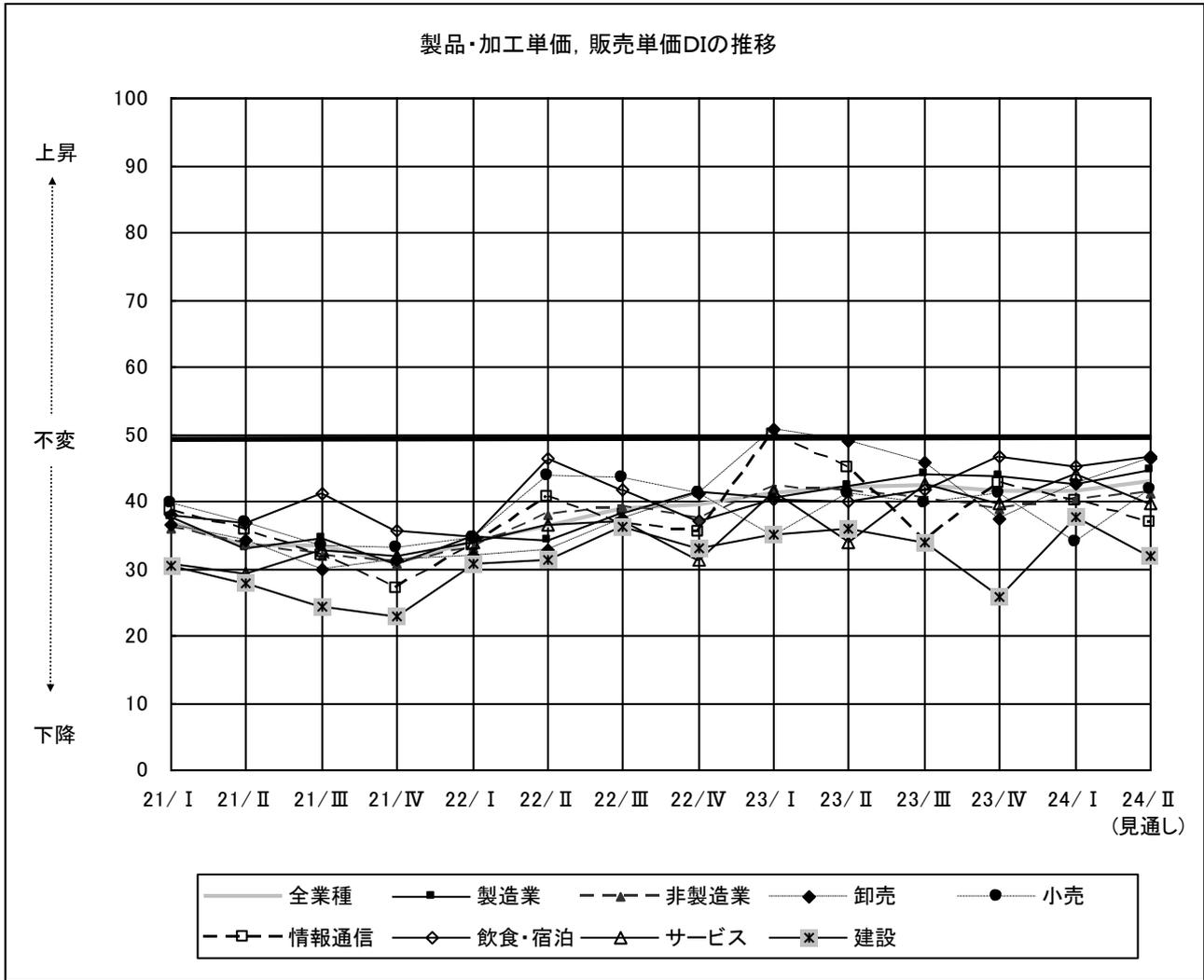


図 8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

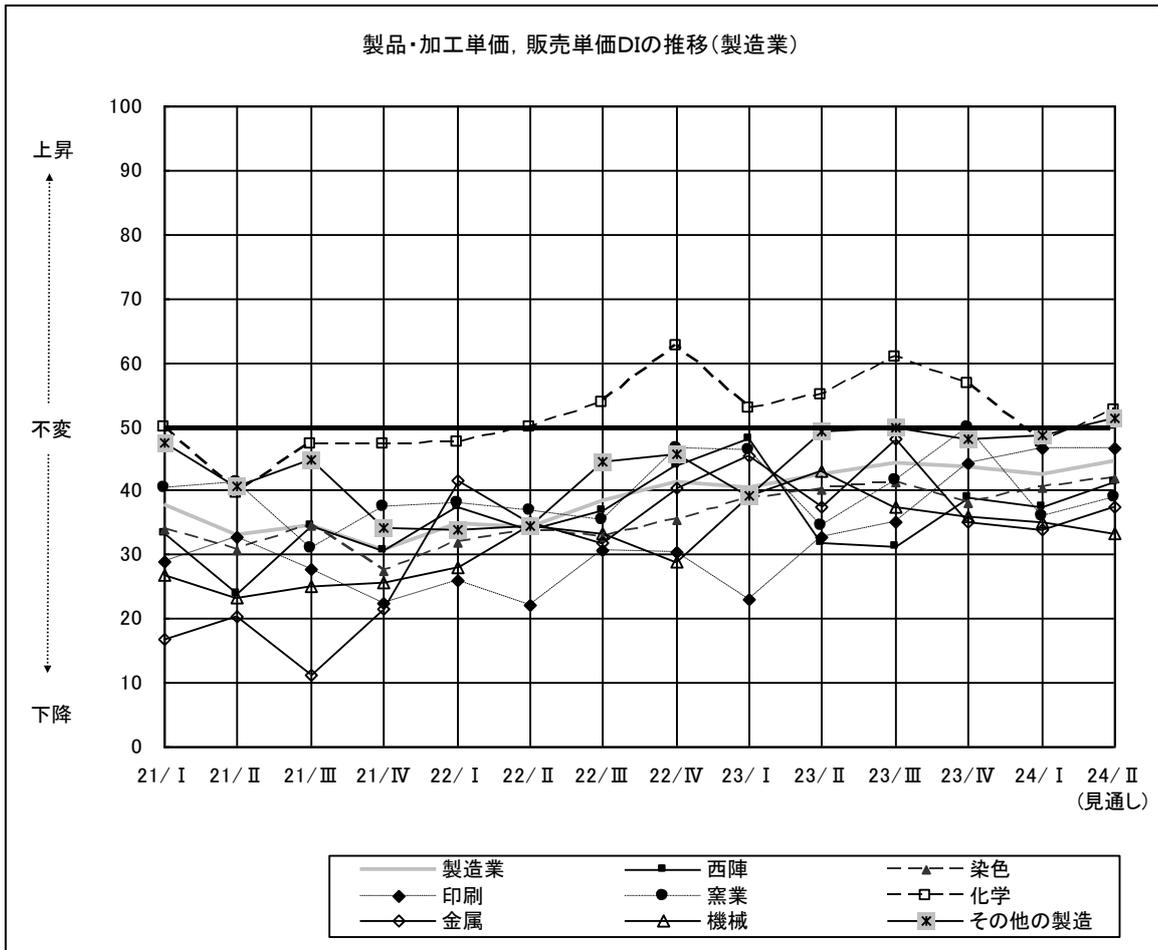


表 4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	41.4	41.4	△ 0.0	43.0 △ 1.6
製造業	43.8	42.5	▼ 1.3	44.6 △ 2.1
西陣	38.9	37.5	▼ 1.4	41.3 △ 3.8
染色	38.2	40.3	△ 2.1	41.9 △ 1.6
印刷	44.2	46.6	△ 2.4	46.6 △ 0.0
窯業	50.0	36.1	▼ 13.9	38.9 △ 2.8
化学	56.5	47.5	▼ 9.0	52.5 △ 5.0
金属	35.0	34.0	▼ 1.0	37.5 △ 3.5
機械	36.0	35.2	▼ 0.8	33.3 ▼ 1.9
その他の製造	48.2	48.7	△ 0.5	51.3 △ 2.6
非製造業	38.7	40.2	△ 1.5	41.2 △ 1.0
卸売	37.5	42.7	△ 5.2	46.3 △ 3.6
小売	41.2	34.0	▼ 7.2	41.7 △ 7.7
情報通信	42.6	40.0	▼ 2.6	36.8 ▼ 3.2
飲食・宿泊	46.7	45.2	▼ 1.5	46.6 △ 1.4
サービス	39.7	44.2	△ 4.5	39.6 ▼ 4.6
建設	25.7	37.8	△ 12.1	31.9 ▼ 5.9
観光関連	47.5	51.1	△ 3.6	55.6 △ 4.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

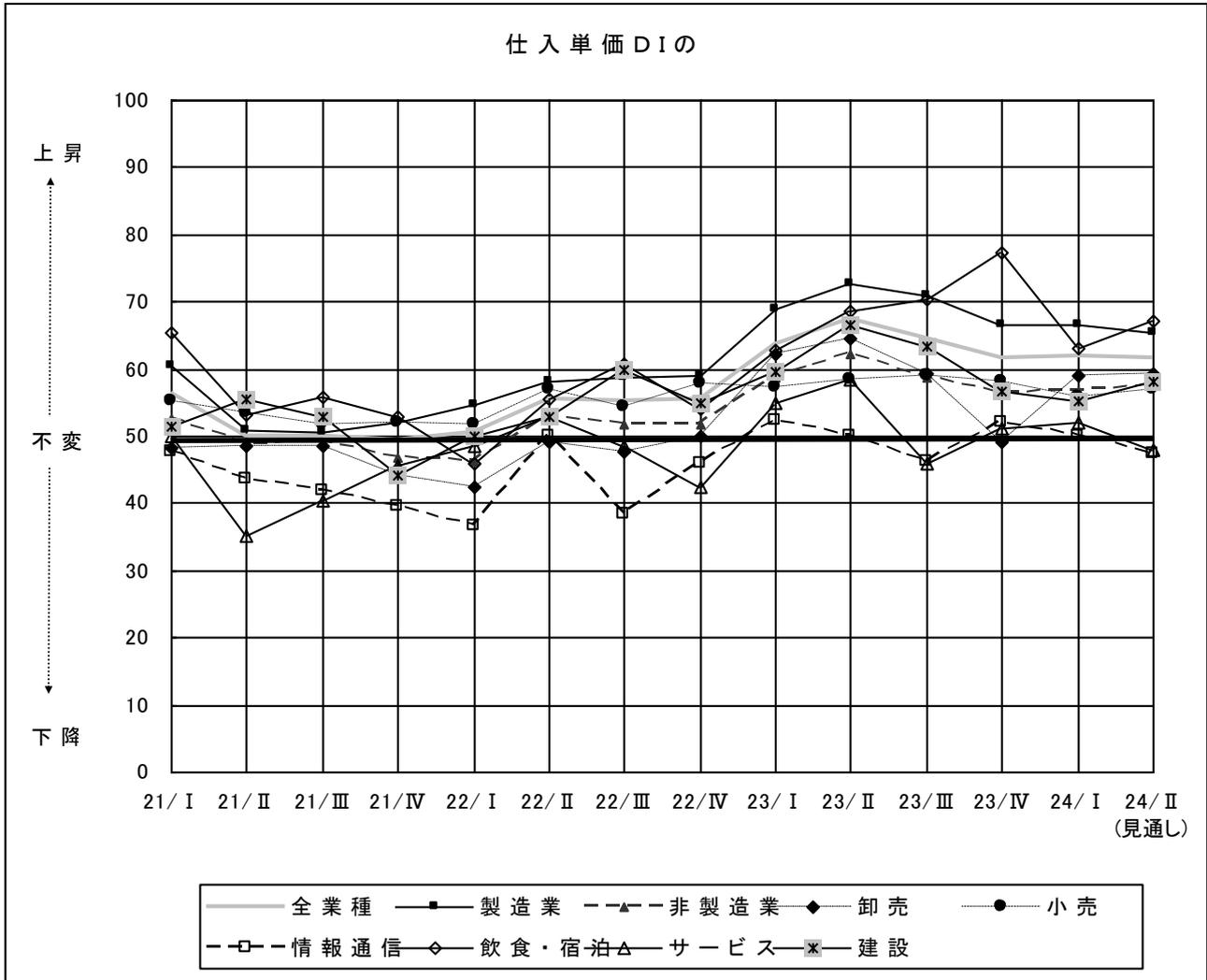


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

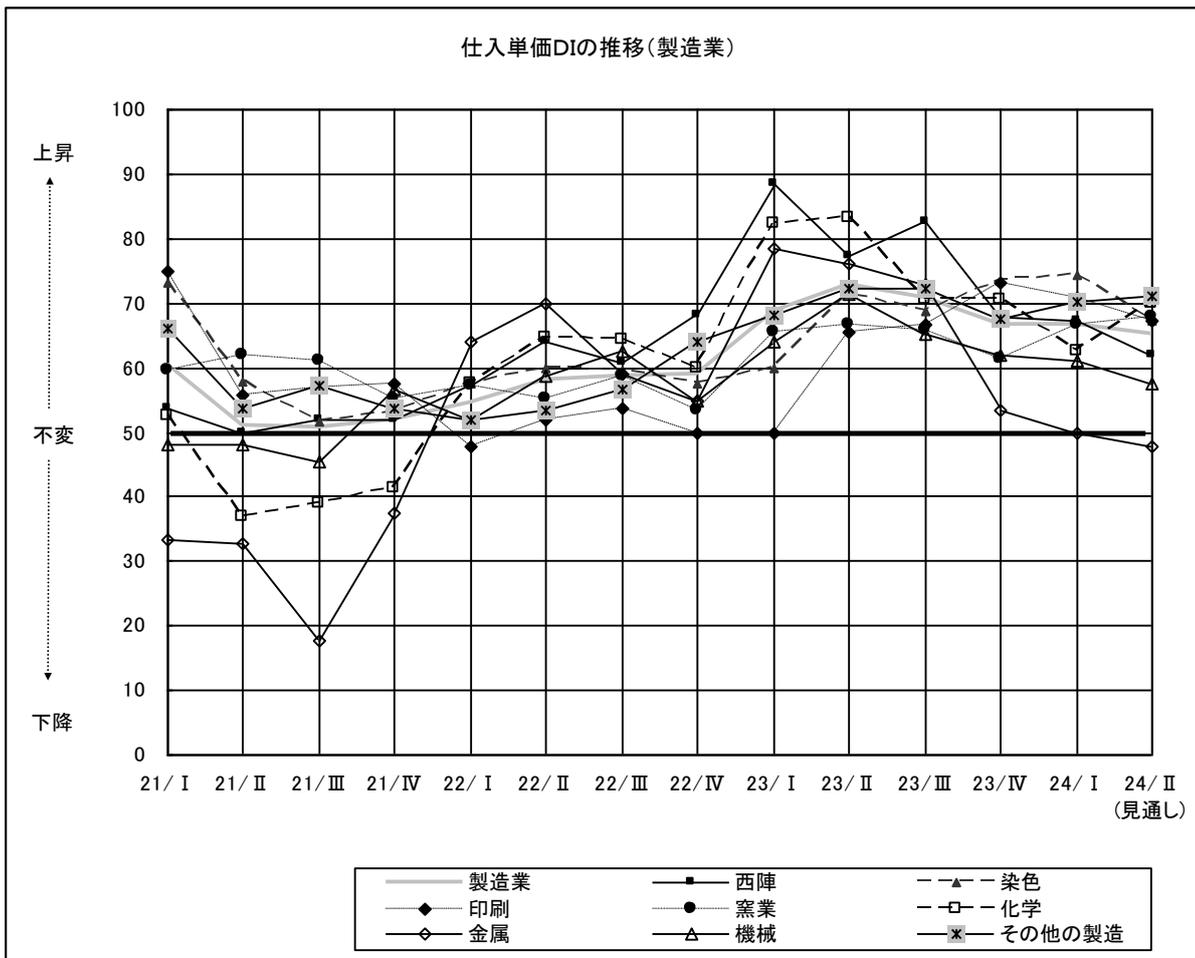


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	61.7	61.9	△ 0.2	61.6 ▼ 0.3
製造業	66.7	66.7	△ 0.0	65.3 ▼ 1.4
西陣	67.9	67.4	▼ 0.5	61.9 ▼ 5.5
染色	73.4	74.2	△ 0.8	67.2 ▼ 7.0
印刷	73.1	70.7	▼ 2.4	67.2 ▼ 3.5
窯業	61.5	66.7	△ 5.2	67.9 △ 1.2
化学	70.5	62.5	▼ 8.0	70.0 △ 7.5
金属	53.3	50.0	▼ 3.3	47.9 ▼ 2.1
機械	62.0	61.1	▼ 0.9	57.4 ▼ 3.7
その他の製造	67.6	70.3	△ 2.7	71.2 △ 0.9
非製造業	56.5	56.6	△ 0.1	57.5 △ 0.9
卸売	49.1	59.1	△ 10.0	59.4 △ 0.3
小売	58.0	55.9	▼ 2.1	57.1 △ 1.2
情報通信	51.9	50.0	▼ 1.9	47.4 ▼ 2.6
飲食・宿泊	77.4	63.2	▼ 14.2	67.2 △ 4.0
サービス	51.3	51.9	△ 0.6	47.9 ▼ 4.0
建設	56.8	55.3	▼ 1.5	58.1 △ 2.8
観光関連	68.8	68.4	▼ 0.4	72.9 △ 4.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

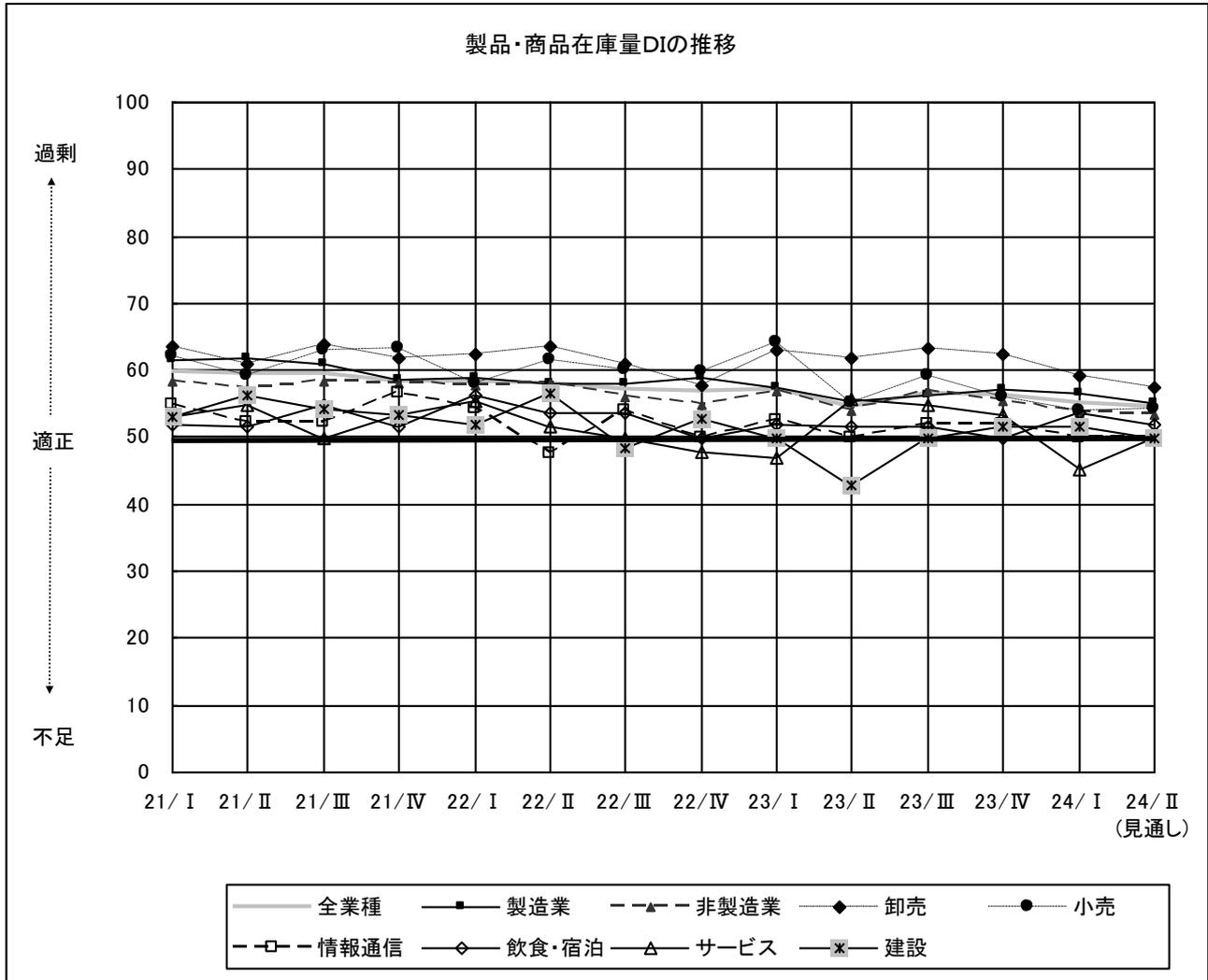


図 12. 製品・商品在庫量DIの推移 (製造業)

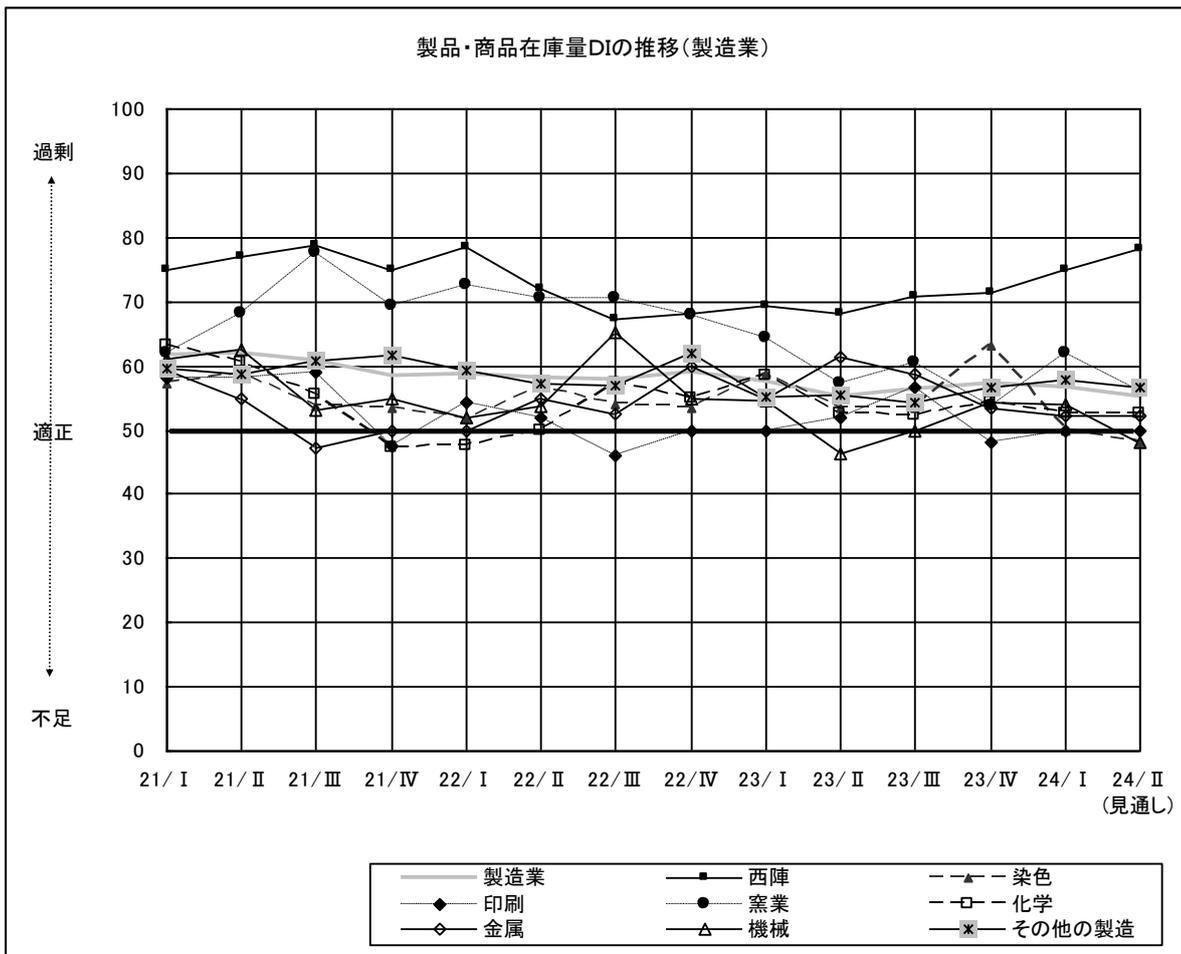


表 6. 製品・商品在庫量DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	56.3	55.2	▼ 1.1	54.4	▼ 0.8
製造業	57.1	56.6	▼ 0.5	55.2	▼ 1.4
西陣	71.4	75.0	△ 3.6	78.3	△ 3.3
染色	63.0	50.0	▼ 13.0	48.2	▼ 1.8
印刷	48.0	50.0	△ 2.0	50.0	△ 0.0
窯業	53.6	61.8	△ 8.2	55.9	▼ 5.9
化学	54.3	52.5	▼ 1.8	52.6	△ 0.1
金属	53.3	52.1	▼ 1.2	52.2	△ 0.1
機械	54.2	54.0	▼ 0.2	48.0	▼ 6.0
その他の製造	56.7	57.8	△ 1.1	56.6	▼ 1.2
非製造業	55.4	53.6	▼ 1.8	53.3	▼ 0.3
卸売	62.3	59.1	▼ 3.2	57.4	▼ 1.7
小売	56.0	53.9	▼ 2.1	54.2	△ 0.3
情報通信	52.0	50.0	▼ 2.0	50.0	△ 0.0
飲食・宿泊	50.0	53.7	△ 3.7	51.9	▼ 1.8
サービス	53.4	45.2	▼ 8.2	50.0	△ 4.8
建設	51.5	51.6	△ 0.1	50.0	▼ 1.6
観光関連	55.6	51.2	▼ 4.4	54.8	△ 3.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図 13. 雇用人員DIの推移 (全体)

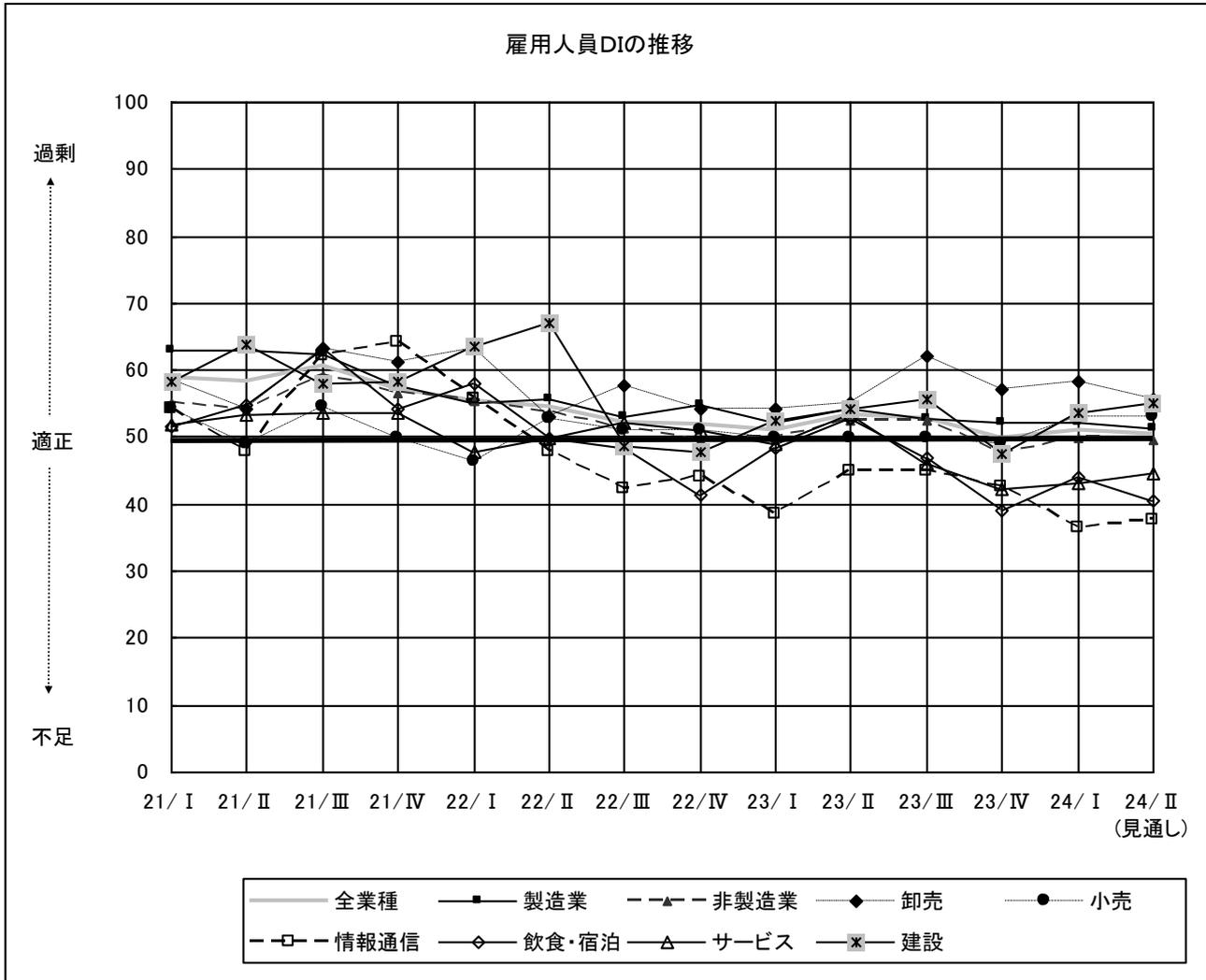


図14. 雇用人員DIの推移（製造業）

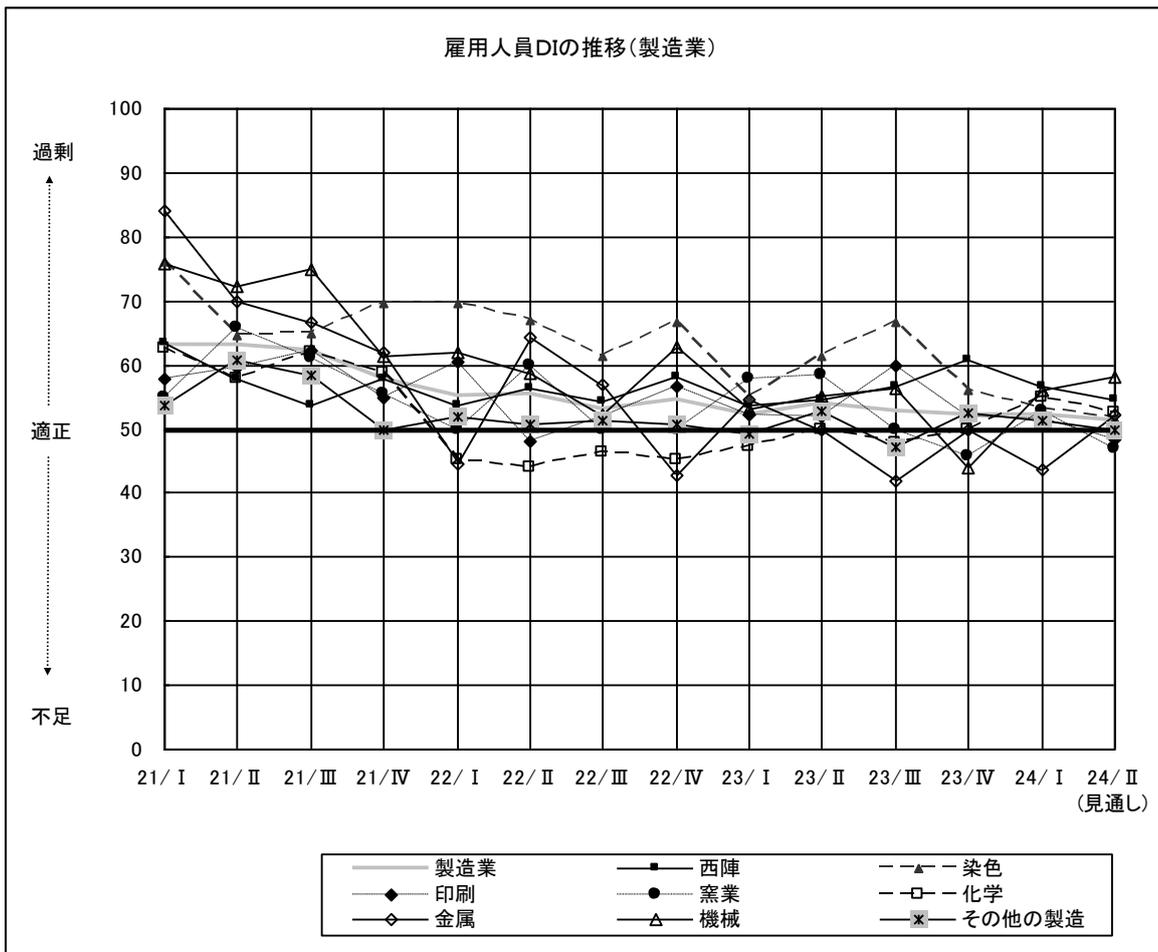


表7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	49.8	51.1	△ 1.3	50.5	▼ 0.6
製造業	52.1	52.2	△ 0.1	51.4	▼ 0.8
西陣	60.7	56.5	▼ 4.2	54.5	▼ 2.0
染色	56.1	53.1	▼ 3.0	51.6	▼ 1.5
印刷	51.9	51.7	▼ 0.2	48.3	▼ 3.4
窯業	45.8	52.9	△ 7.1	46.9	▼ 6.0
化学	50.0	55.0	△ 5.0	52.5	▼ 2.5
金属	50.0	43.8	▼ 6.2	52.1	△ 8.3
機械	44.0	56.0	△ 12.0	58.0	△ 2.0
その他の製造	52.4	51.3	▼ 1.1	50.0	▼ 1.3
非製造業	47.5	50.0	△ 2.5	49.6	▼ 0.4
卸売	57.0	58.2	△ 1.2	55.6	▼ 2.6
小売	49.1	53.0	△ 3.9	53.2	△ 0.2
情報通信	42.6	36.4	▼ 6.2	37.5	△ 1.1
飲食・宿泊	39.1	43.9	△ 4.8	40.6	▼ 3.3
サービス	42.4	43.2	△ 0.8	44.7	△ 1.5
建設	47.4	53.6	△ 6.2	55.0	△ 1.4
観光関連	47.6	52.1	△ 4.5	46.9	▼ 5.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図 15. 資金繰り DI の推移 (全体)

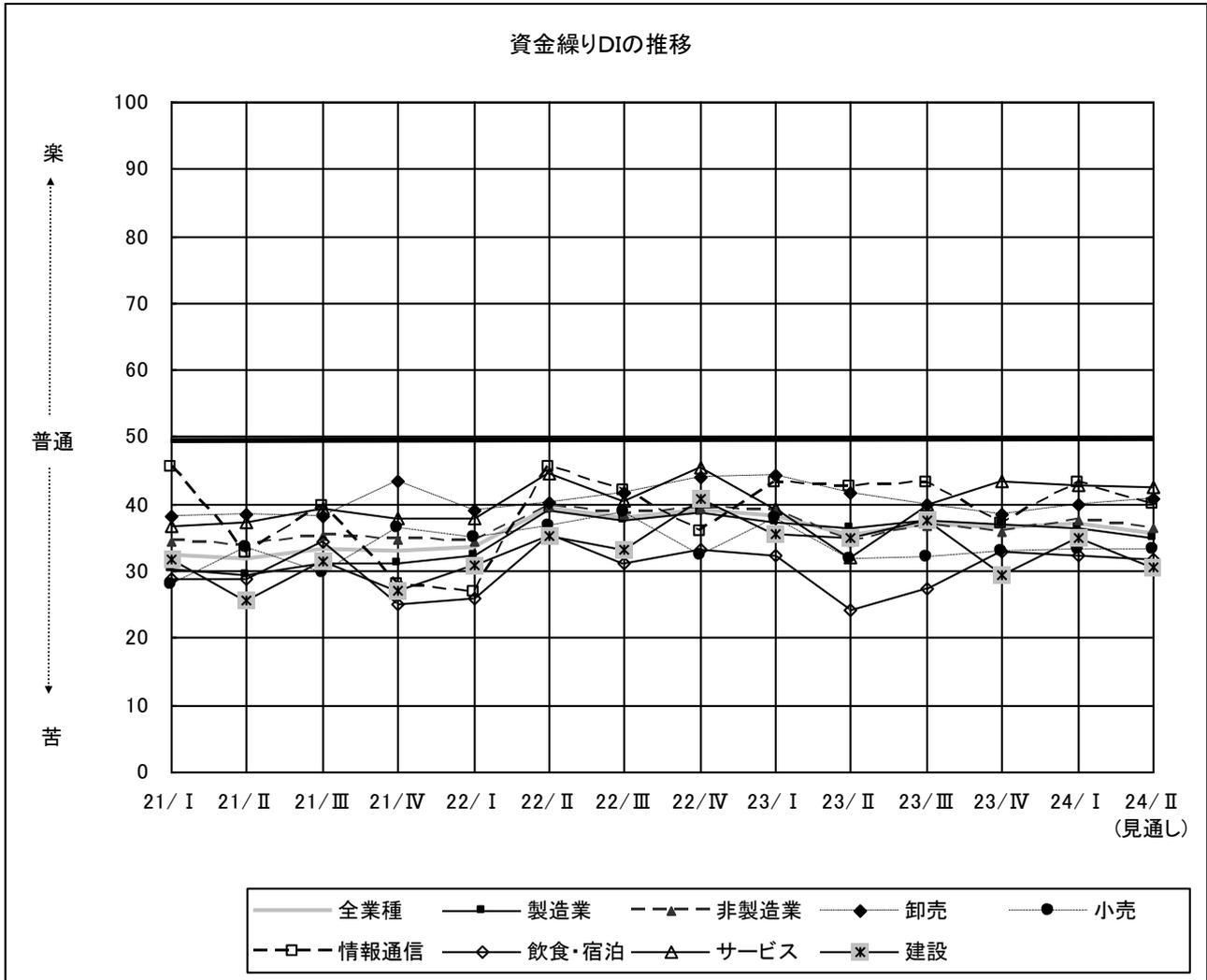


図 16. 資金繰りDIの推移（製造業）

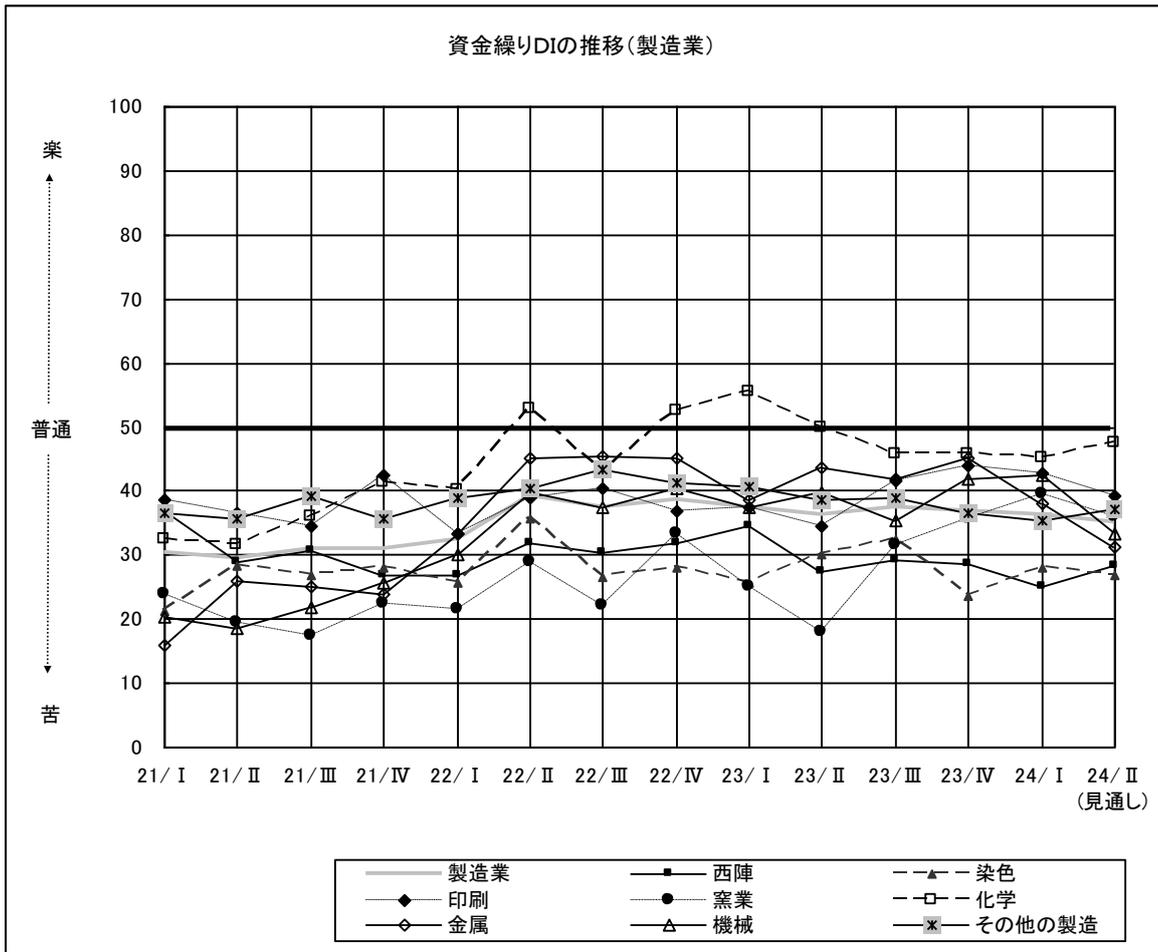
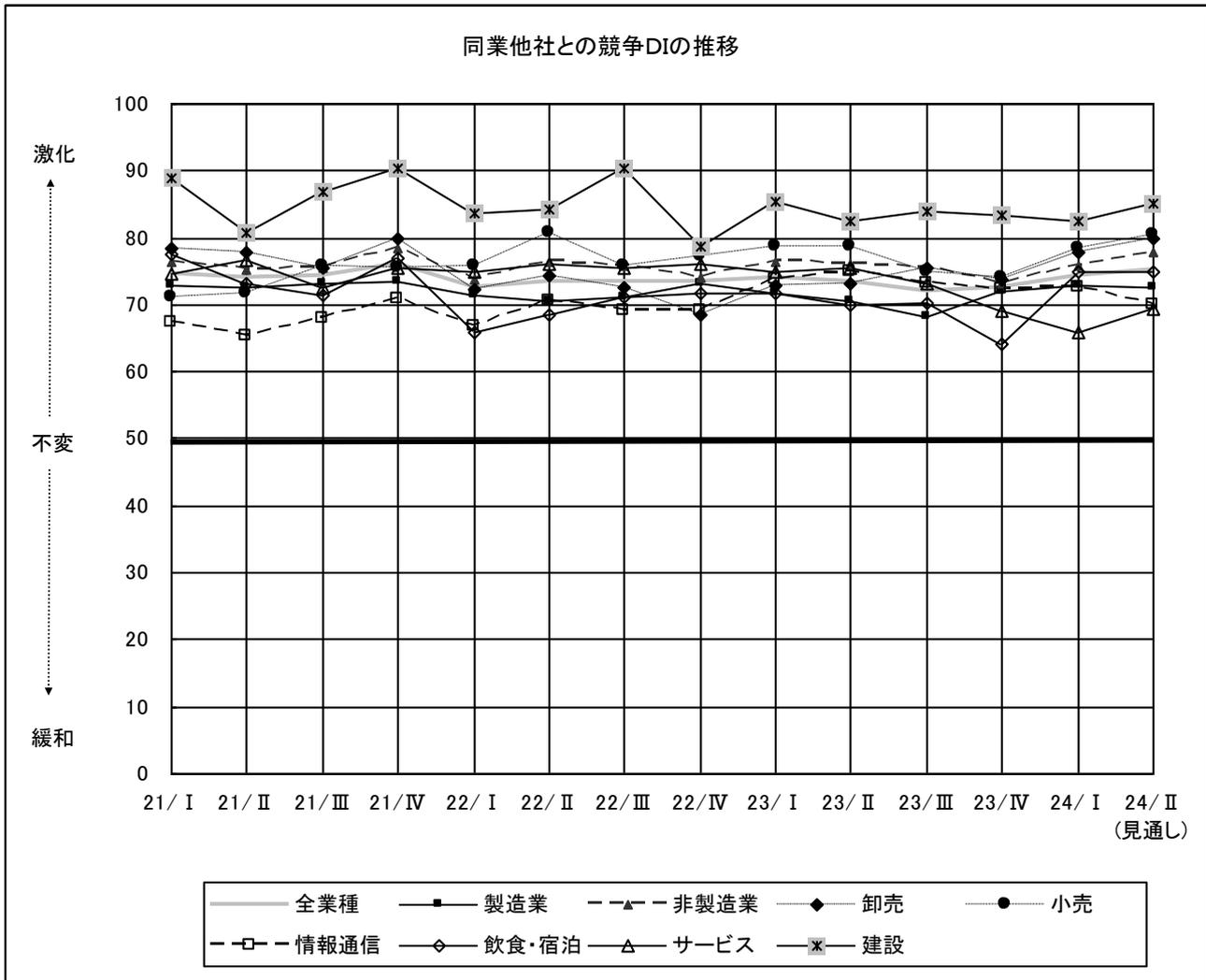


表 8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	36.4	37.0	△ 0.6	▼ 1.3
製造業	36.9	36.4	▼ 0.5	▼ 1.3
西陣	28.6	25.0	▼ 3.6	△ 3.3
染色	23.5	28.1	△ 4.6	▼ 1.4
印刷	44.0	42.9	▼ 1.1	▼ 3.6
窯業	35.7	39.5	△ 3.8	▼ 3.4
化学	45.7	45.0	▼ 0.7	△ 2.5
金属	45.0	38.0	▼ 7.0	▼ 6.7
機械	42.0	42.6	△ 0.6	▼ 9.3
その他の製造	36.5	35.4	▼ 1.1	△ 1.8
非製造業	35.9	37.5	△ 1.6	▼ 1.1
卸売	38.6	40.0	△ 1.4	△ 0.7
小売	32.8	33.3	△ 0.5	△ 0.0
情報通信	37.0	43.2	△ 6.2	▼ 3.2
飲食・宿泊	32.8	32.4	▼ 0.4	▼ 0.6
サービス	43.5	43.0	▼ 0.5	▼ 0.5
建設	29.5	34.9	△ 5.4	▼ 4.4
観光関連	31.7	37.8	△ 6.1	△ 1.8

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移 (全体)



10. 受注残

図 19. 受注残DIの推移

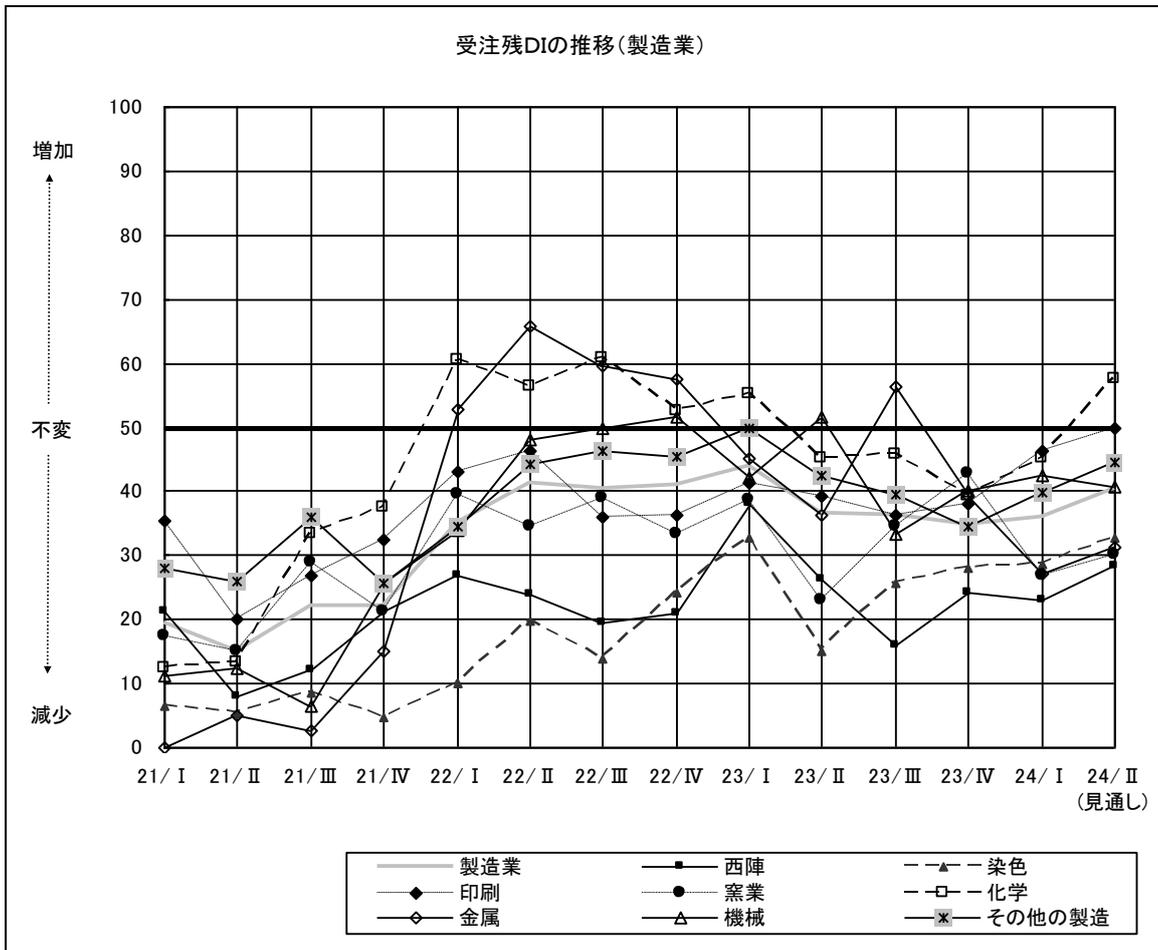


表 10. 受注残DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	34.9	36.1	△ 1.2	40.5
西陣	24.1	22.9	▼ 1.2	28.3
染色	28.1	28.6	△ 0.5	32.8
印刷	38.0	46.3	△ 8.3	50.0
窯業	42.9	26.7	▼ 16.2	30.0
化学	39.1	45.0	△ 5.9	57.5
金属	39.3	27.1	▼ 12.2	31.3
機械	40.0	42.6	△ 2.6	40.7
その他の製造	34.4	39.7	△ 5.3	44.5
観光関連	35.3	40.0	△ 4.7	46.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

11. 生産設備

図 20. 生産設備DIの推移

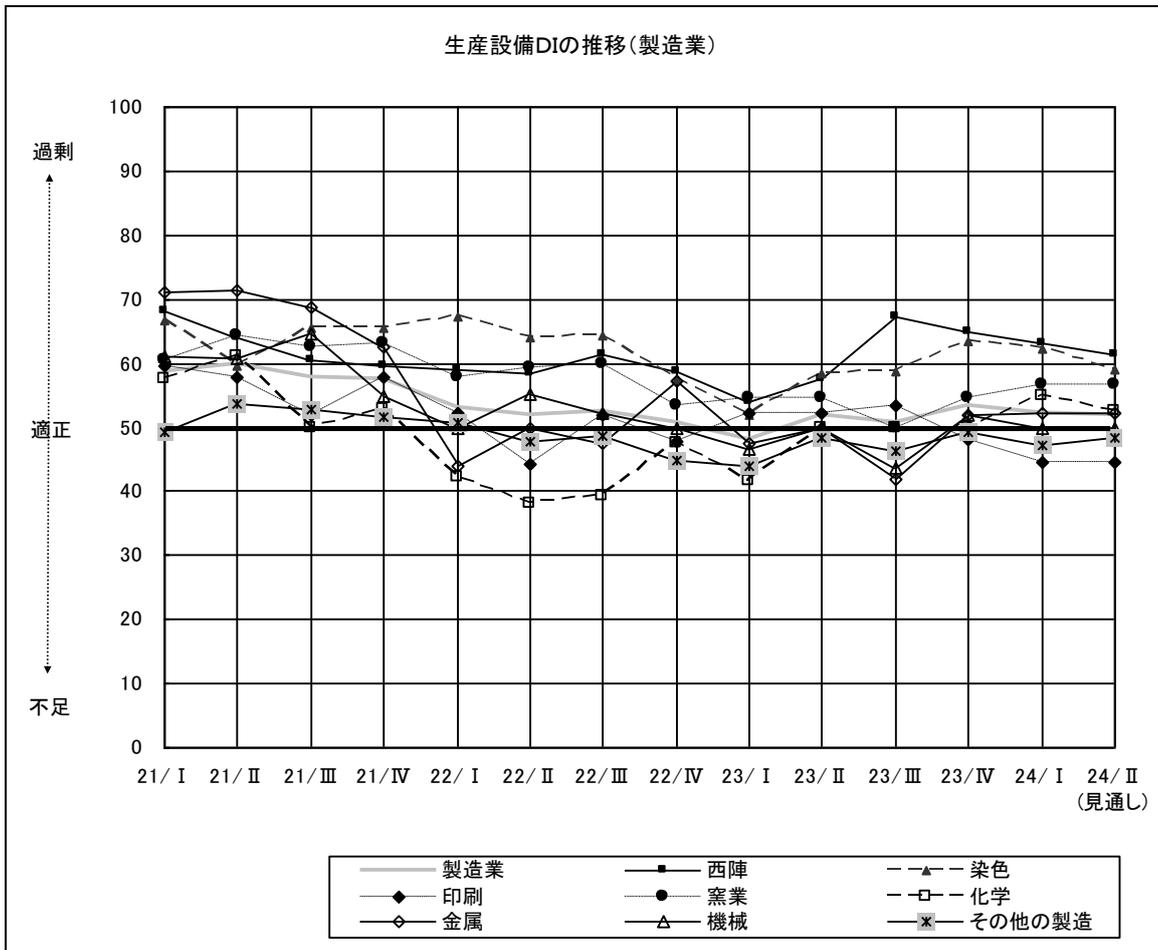


表 11. 生産設備DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	53.5	52.3	▼ 1.2	52.0 ▼ 0.3
西陣	64.8	63.0	▼ 1.8	61.4 ▼ 1.6
染色	63.3	62.1	▼ 1.2	58.9 ▼ 3.2
印刷	48.0	44.6	▼ 3.4	44.6 △ 0.0
窯業	54.5	56.7	△ 2.2	56.7 △ 0.0
化学	50.0	55.0	△ 5.0	52.6 ▼ 2.4
金属	51.8	52.1	△ 0.3	52.1 △ 0.0
機械	52.0	50.0	▼ 2.0	50.0 △ 0.0
その他の製造	49.4	47.1	▼ 2.3	48.5 △ 1.4
観光関連	50.0	53.6	△ 3.6	50.0 ▼ 3.6

12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

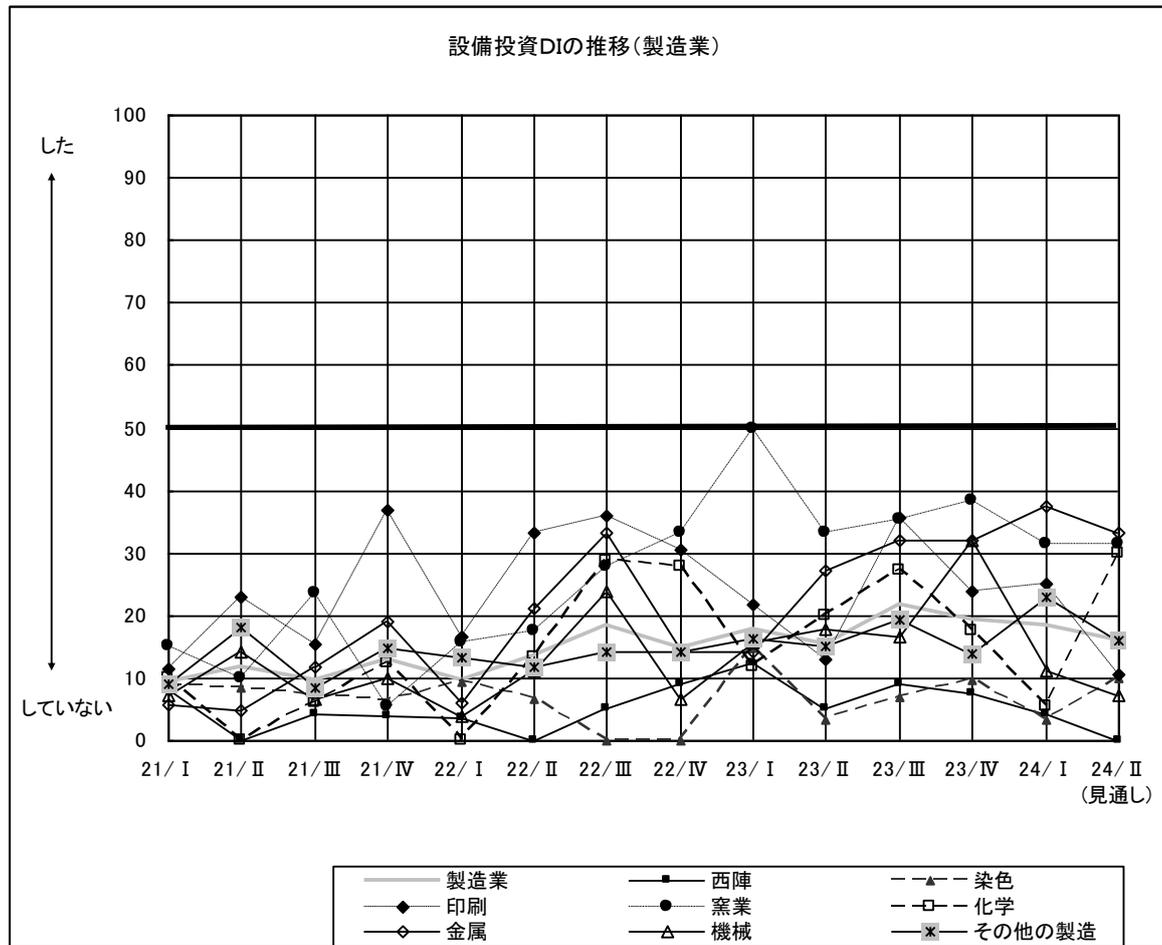


表12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	19.2	18.3	▼ 0.9	16.1 ▼ 2.2
西陣	7.7	4.3	▼ 3.4	0.0 ▼ 4.3
染色	9.7	3.3	▼ 6.4	10.0 △ 6.7
印刷	24.0	25.0	△ 1.0	10.7 ▼ 14.3
窯業	38.5	31.3	▼ 7.2	31.3 △ 0.0
化学	17.4	5.3	▼ 12.1	30.0 △ 24.7
金属	32.1	37.5	△ 5.4	33.3 ▼ 4.2
機械	32.0	11.1	▼ 20.9	7.4 ▼ 3.7
その他の製造	13.9	23.0	△ 9.1	16.0 ▼ 7.0
観光関連	17.6	13.3	▼ 4.3	0.0 ▼ 13.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

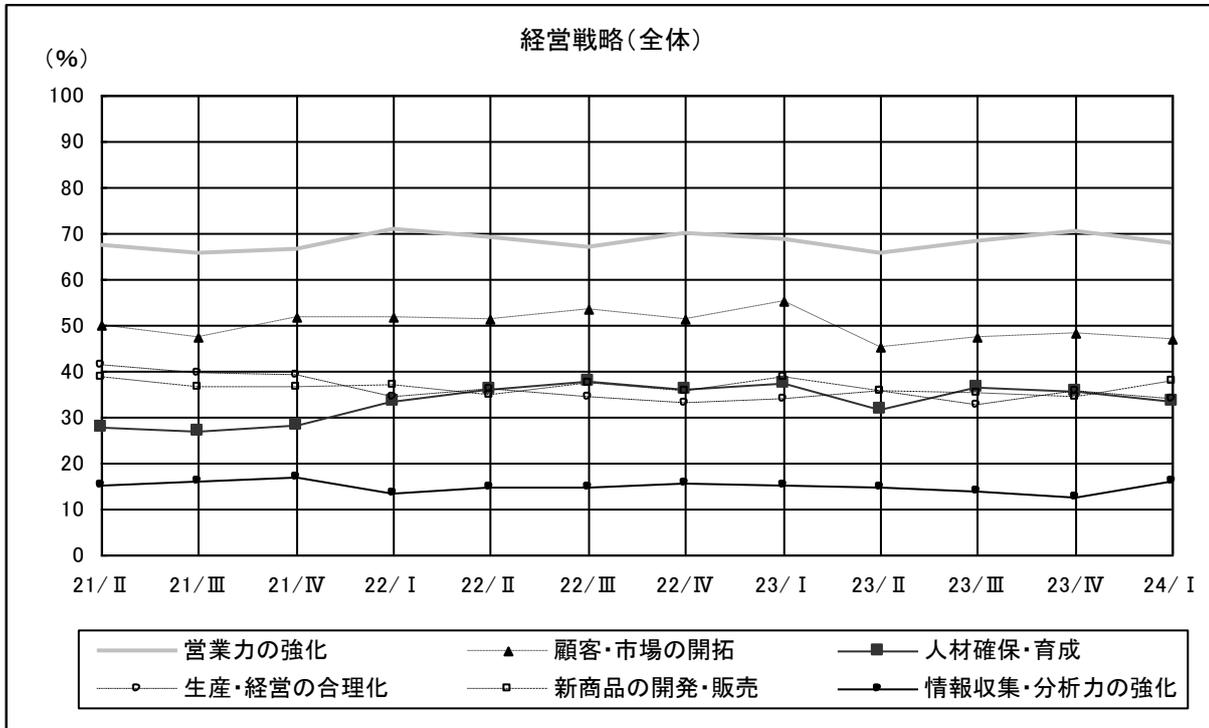


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

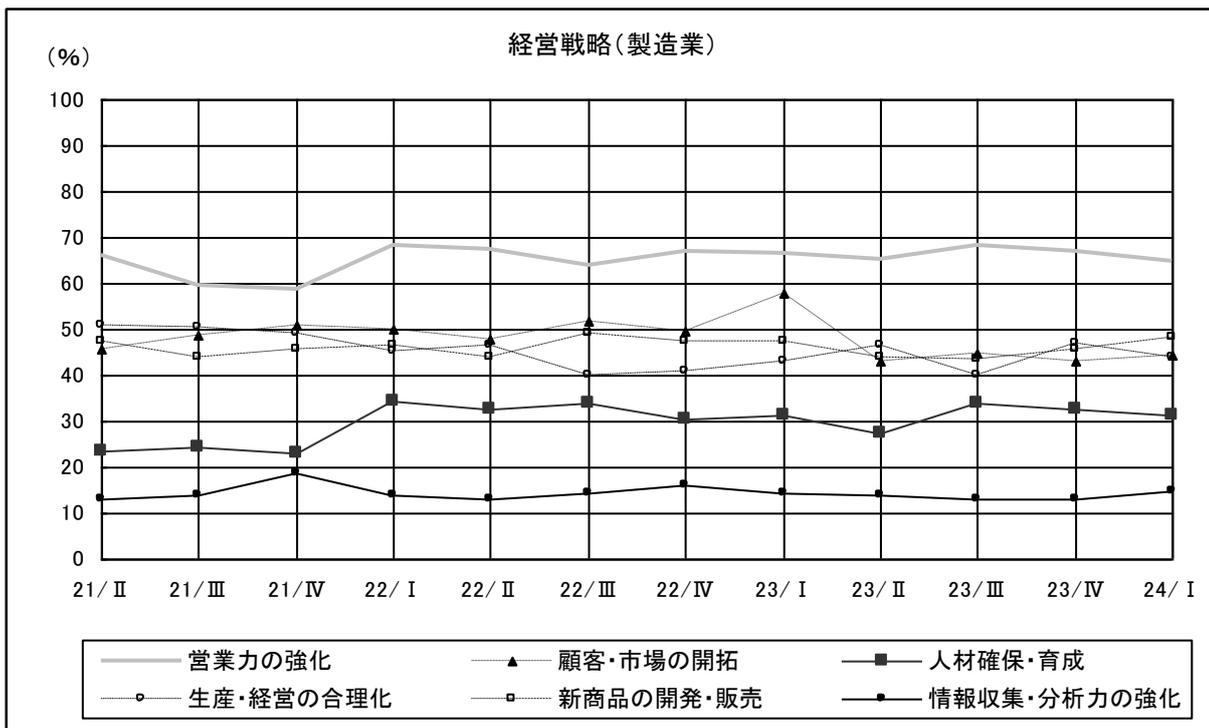


図 24. 当面の経営戦略・西陣

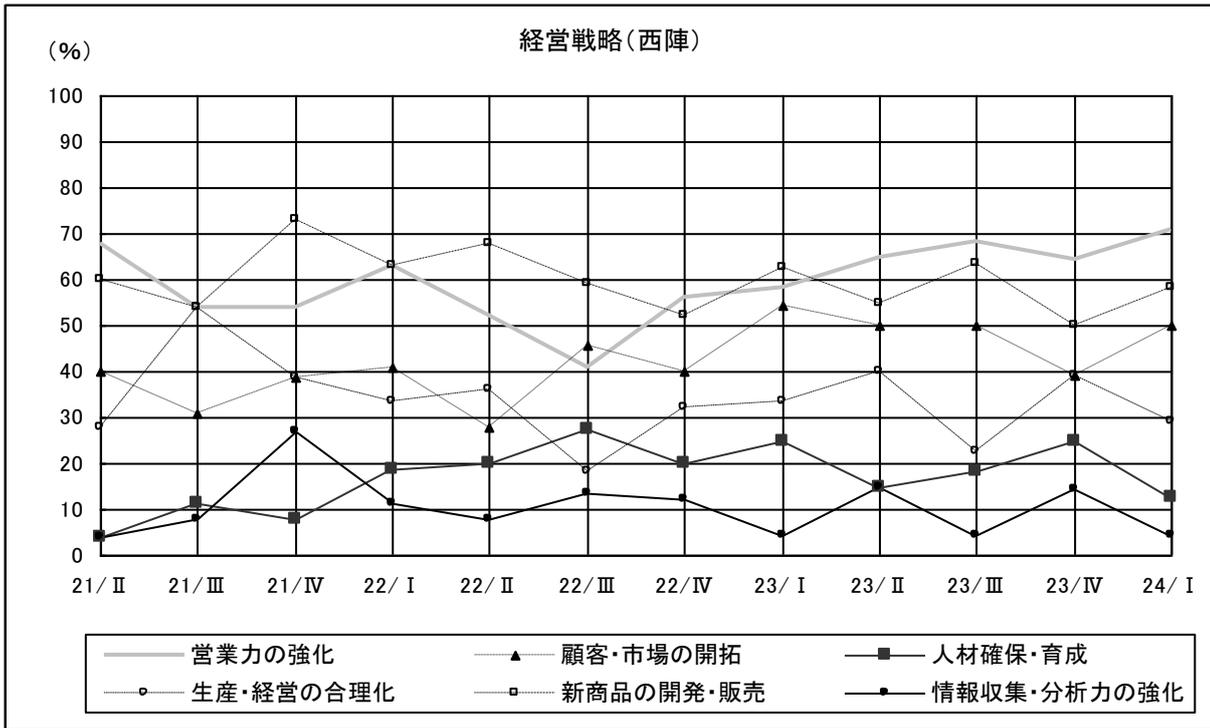


図 25. 当面の経営戦略・染色

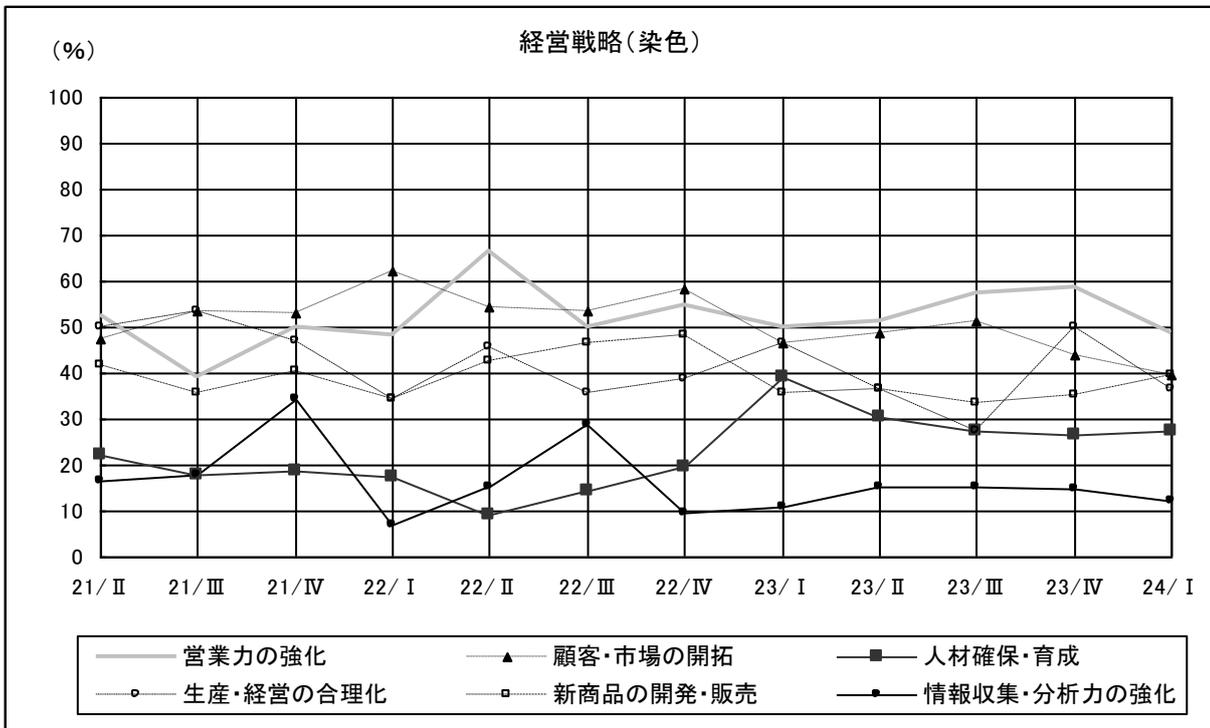


図 26. 当面の経営戦略・印刷

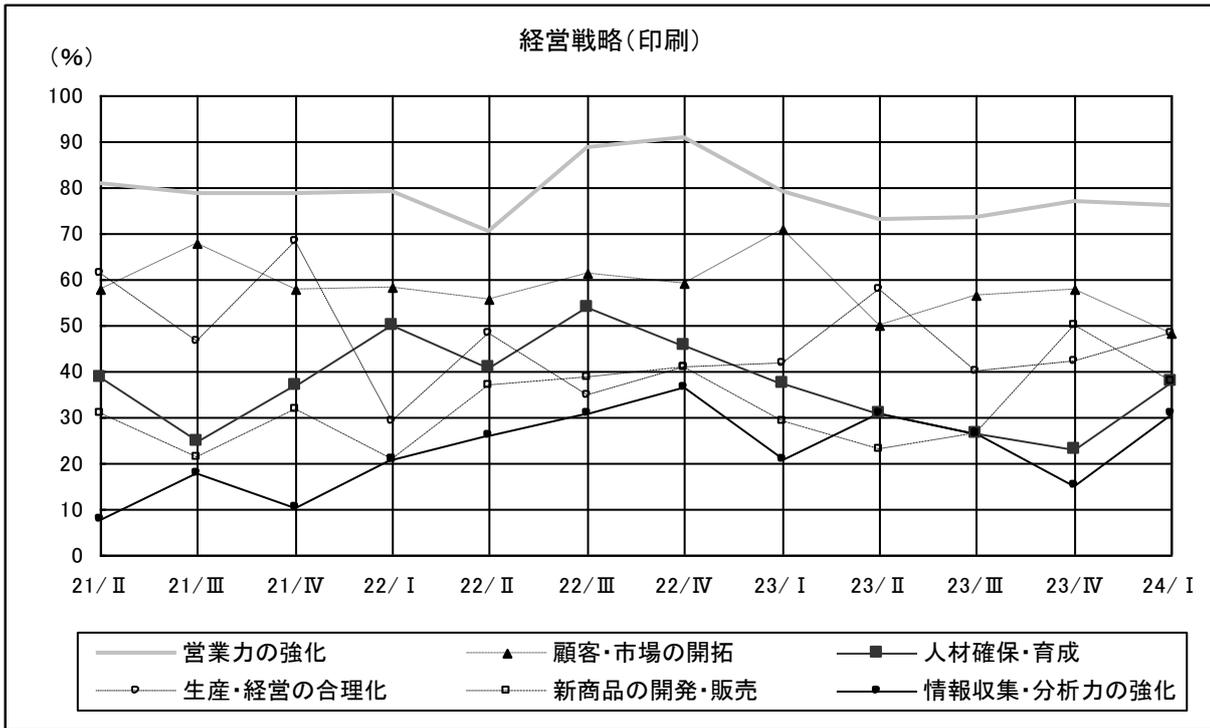


図 27. 当面の経営戦略・窯業

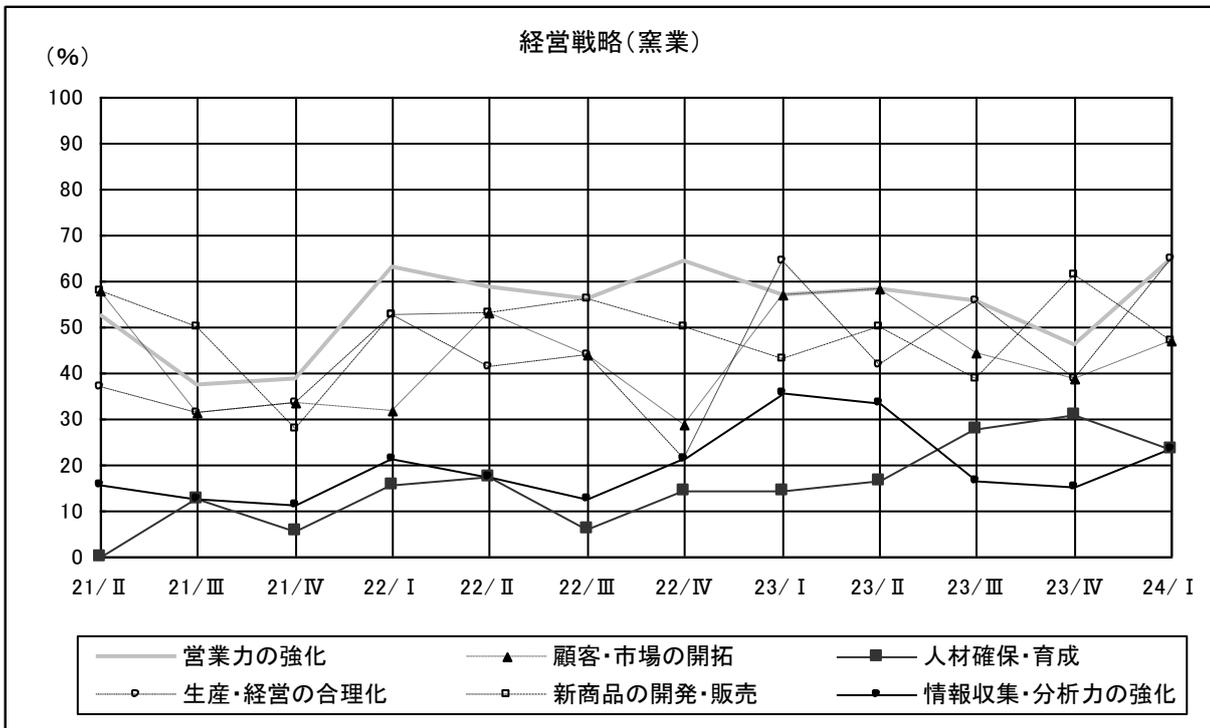


図 28. 当面の経営戦略・化学

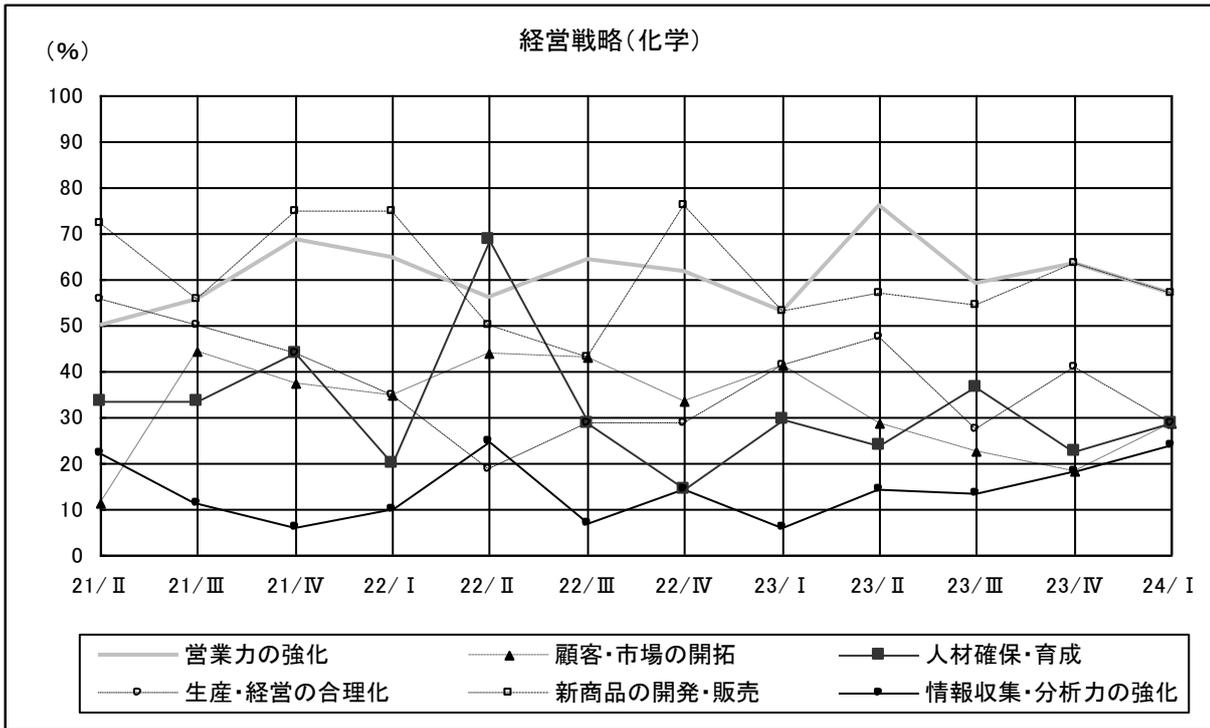


図 29. 当面の経営戦略・金属

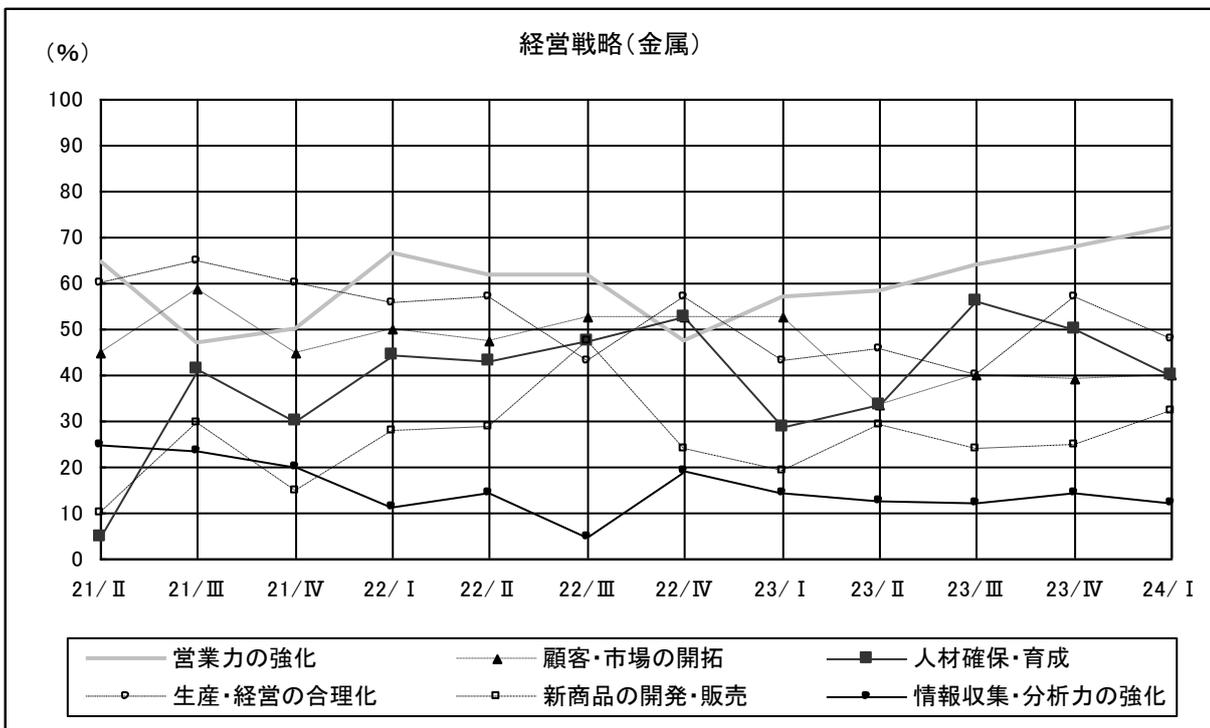


図 30. 当面の経営戦略・機械

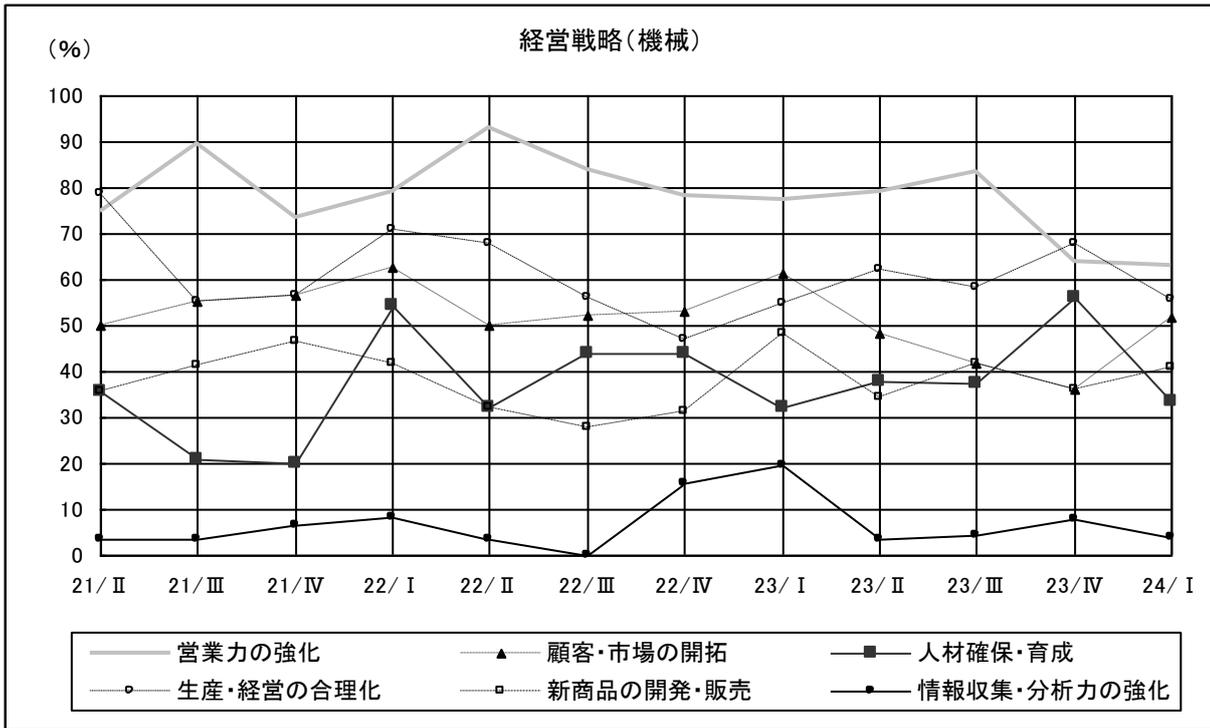


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

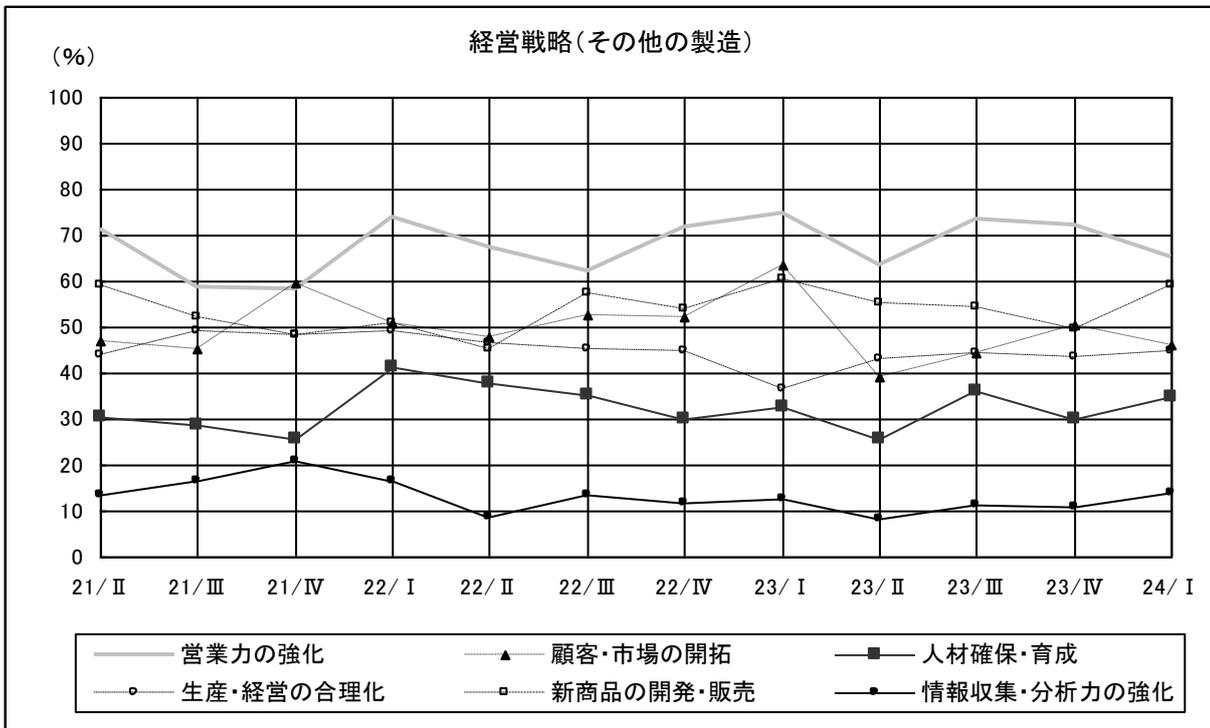


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

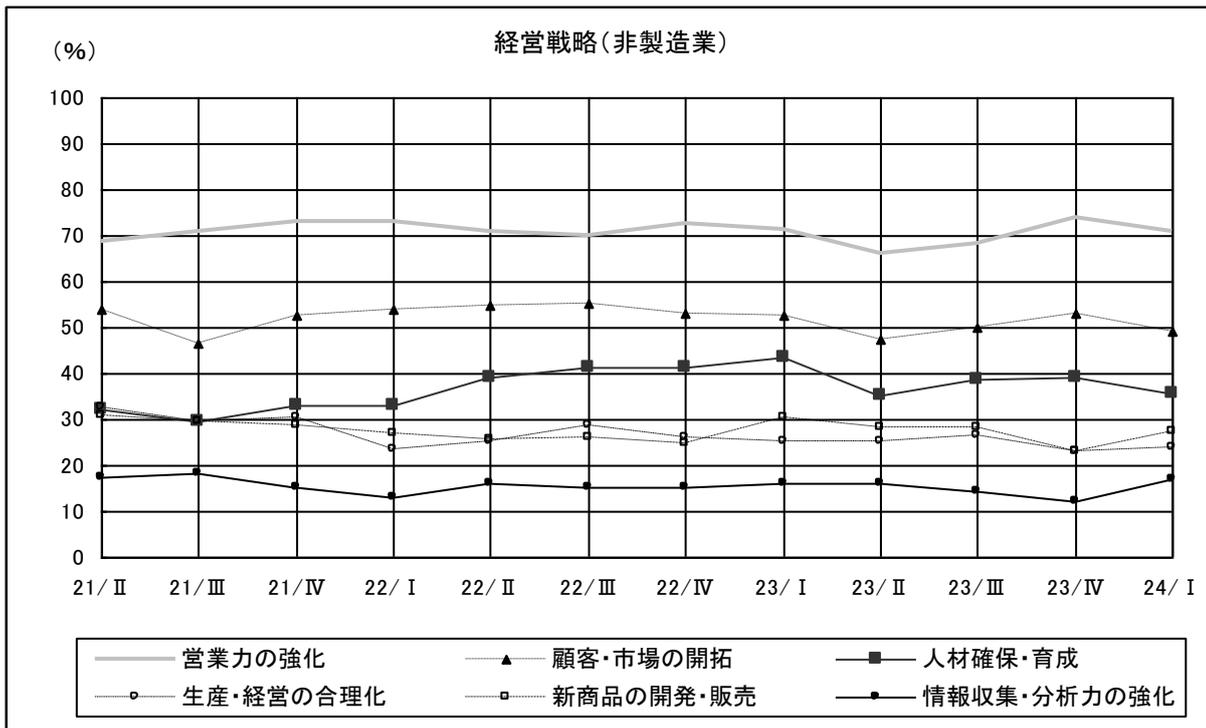


図 33. 当面の経営戦略・卸売

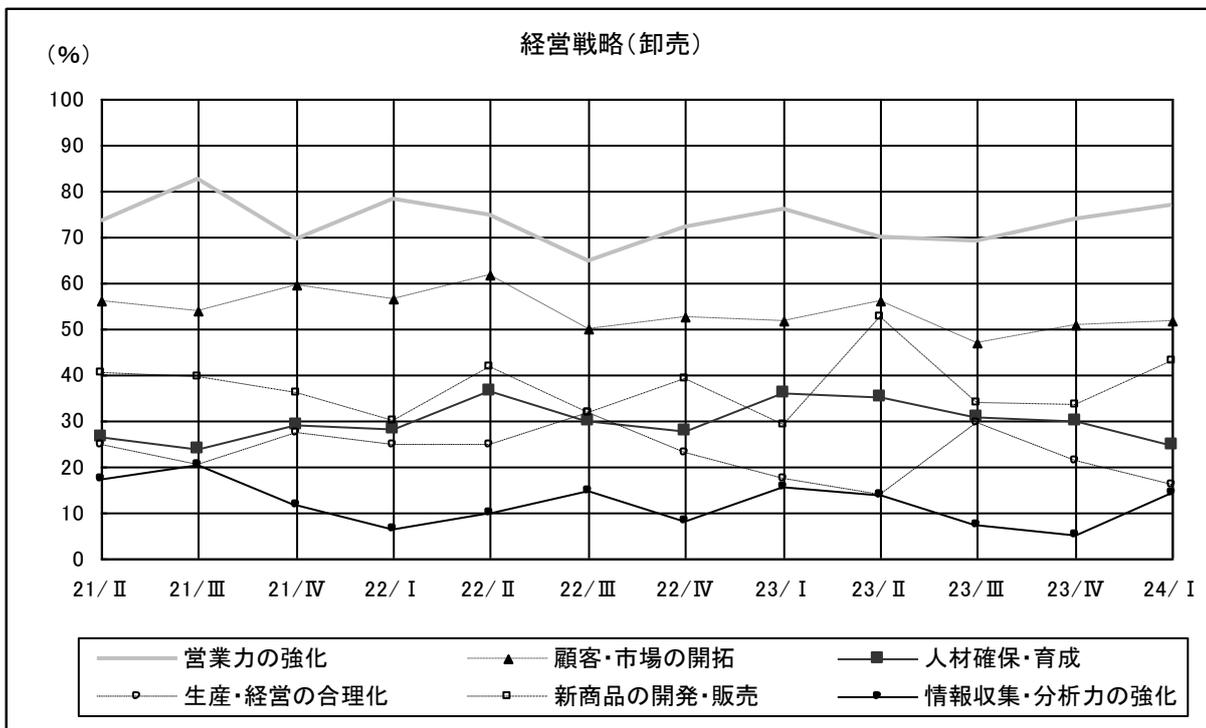


図 34. 当面の経営戦略・小売

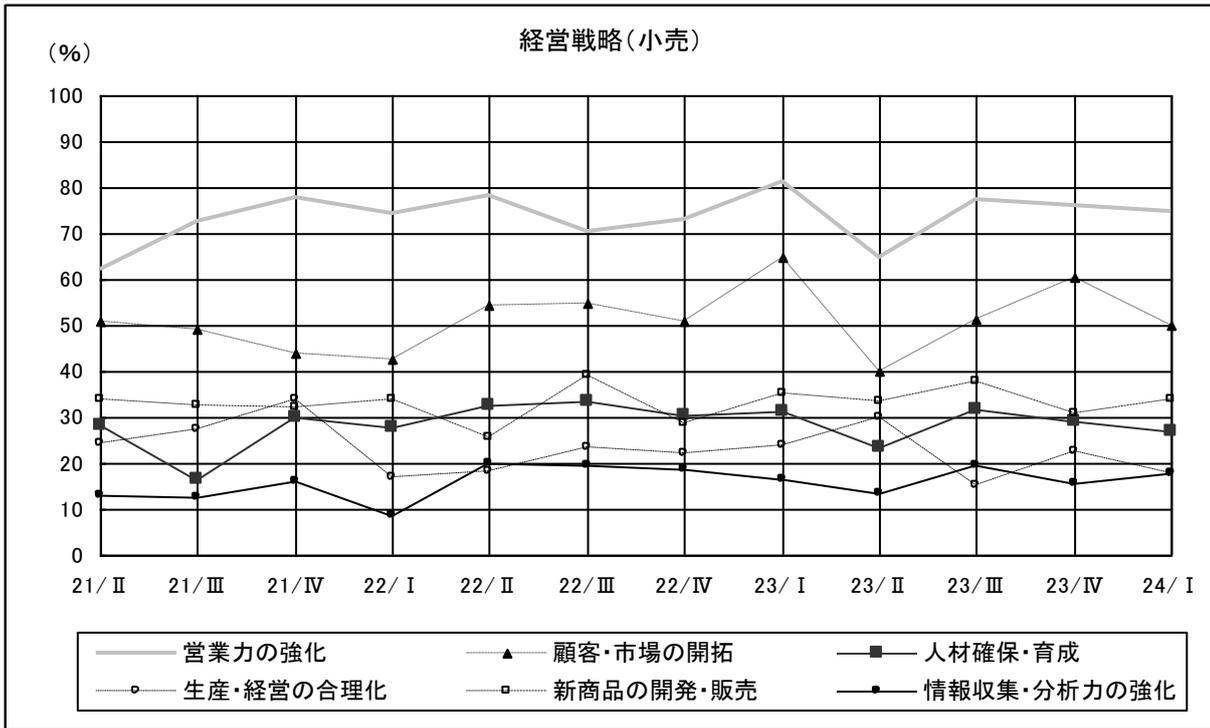


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

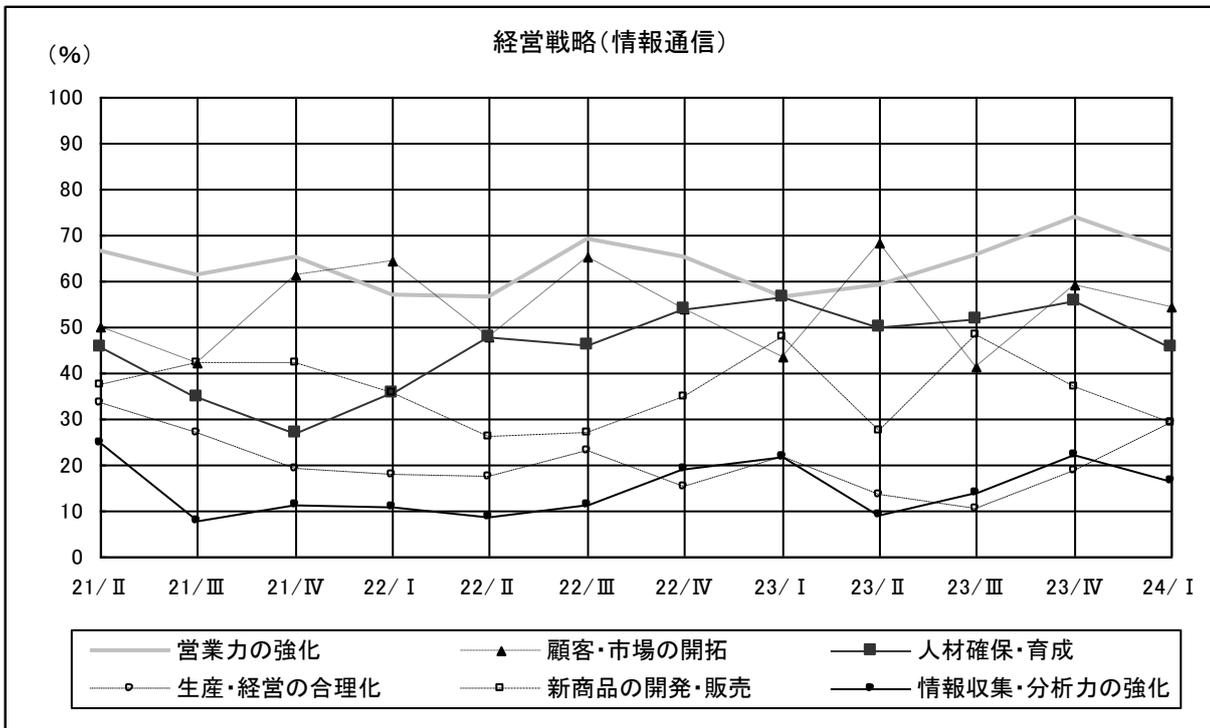


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

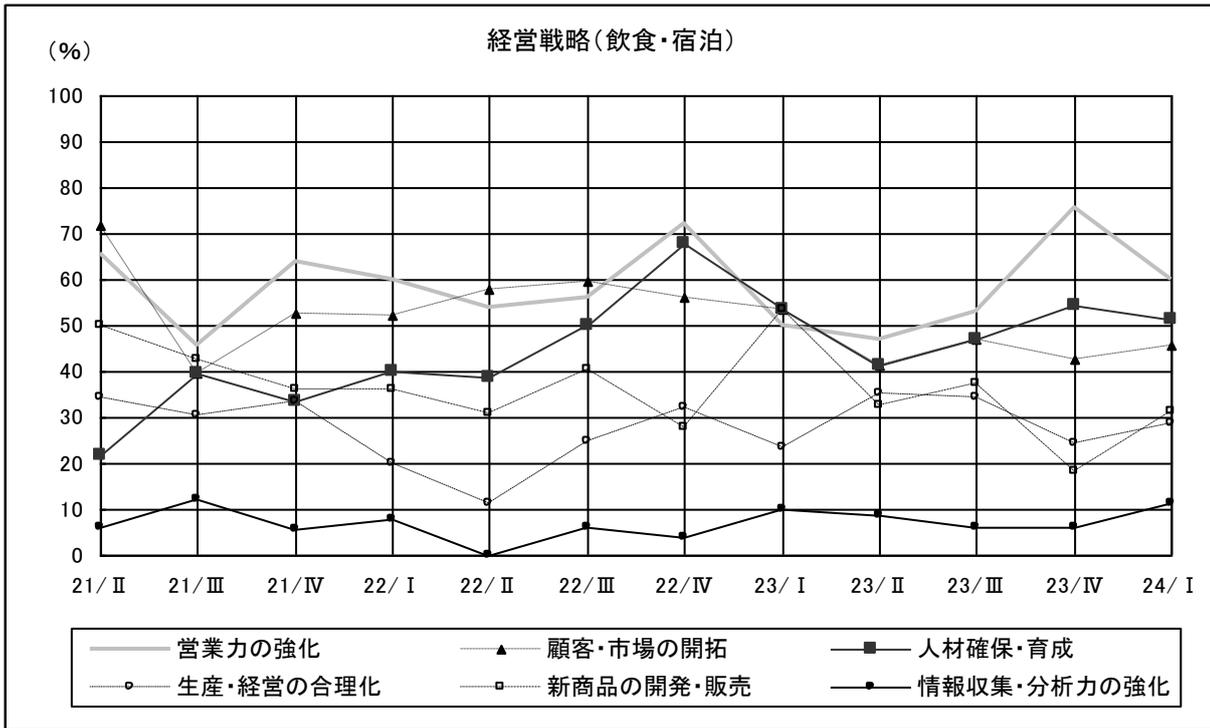


図 37. 当面の経営戦略・サービス

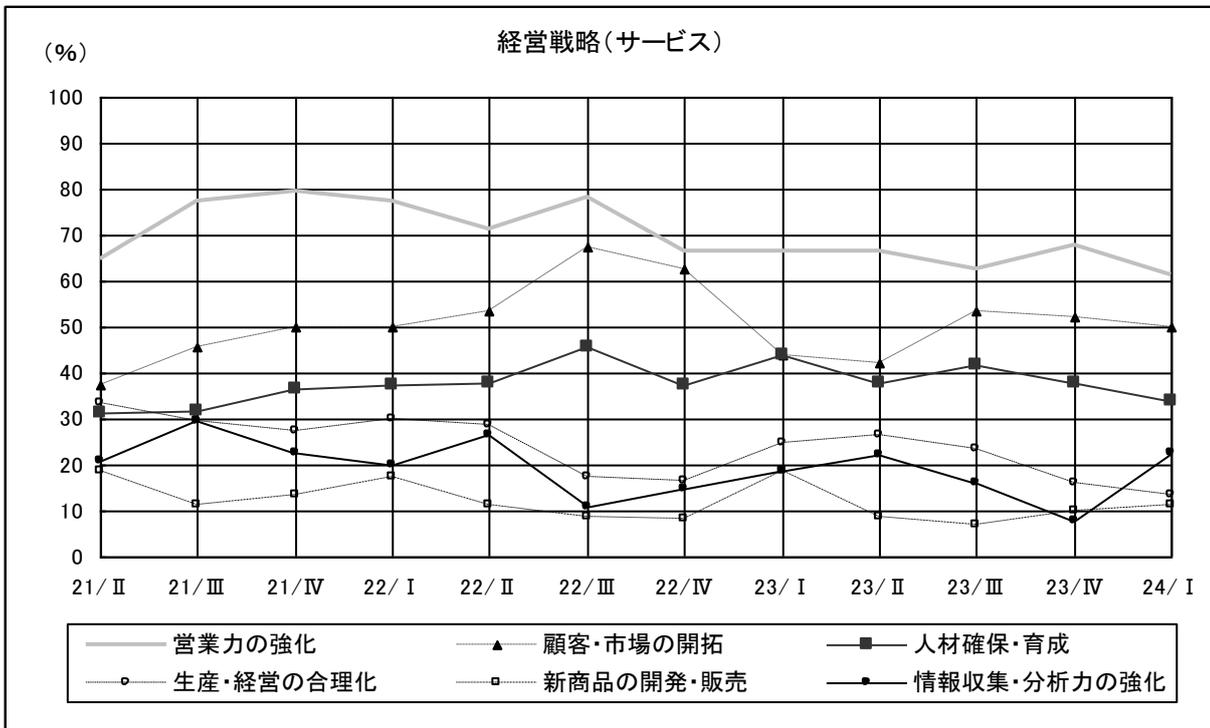


図 38. 当面の経営戦略・建設

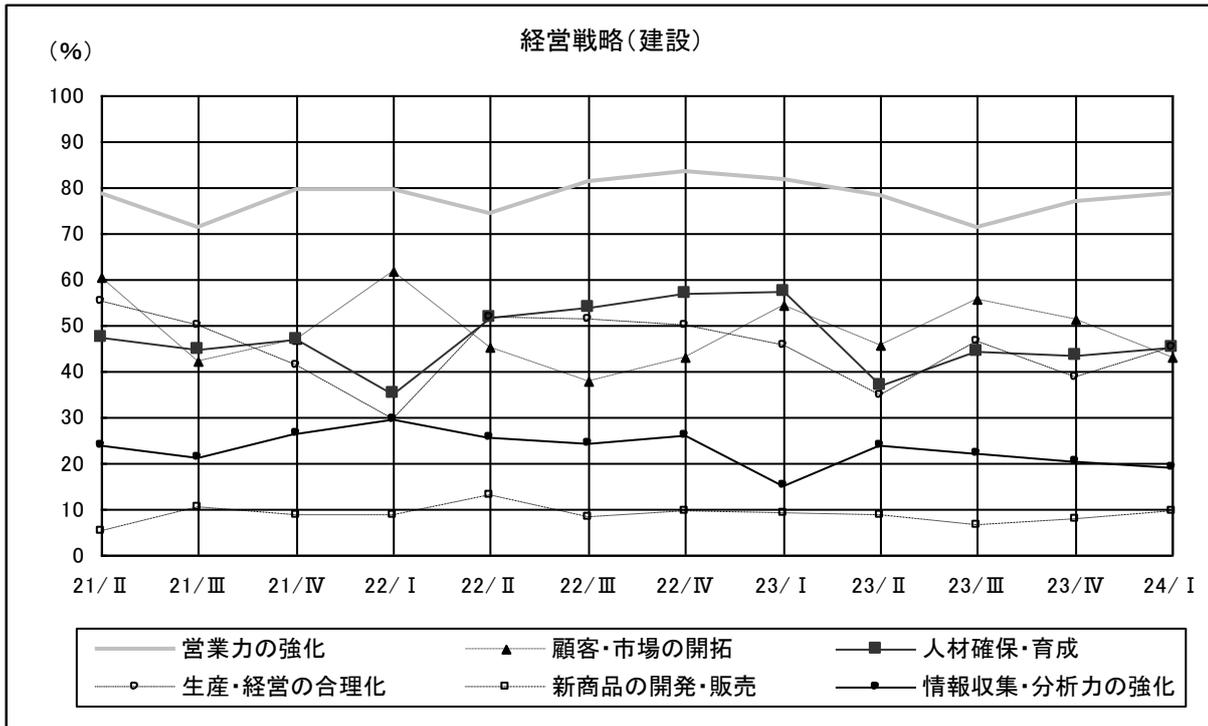


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	346 67.7%	173 33.9%	171 33.5%	76 14.9%	239 46.8%	193 37.8%	38 7.4%	82 16.0%	12 2.3%	511 100.0%	8
製造業	164 64.6%	112 44.1%	79 31.1%	50 19.7%	113 44.5%	123 48.4%	29 11.4%	38 15.0%	3 1.2%	254 100.0%	3
西陣	17 70.8%	7 29.2%	3 12.5%	9 37.5%	12 50.0%	14 58.3%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	24 100.0%	0
染色	16 48.5%	12 36.4%	9 27.3%	9 27.3%	13 39.4%	13 39.4%	5 15.2%	4 12.1%	1 3.0%	33 100.0%	0
印刷	22 75.9%	14 48.3%	11 37.9%	7 24.1%	14 48.3%	11 37.9%	1 3.4%	9 31.0%	0 0.0%	29 100.0%	0
窯業	11 64.7%	11 64.7%	4 23.5%	2 11.8%	8 47.1%	8 47.1%	5 29.4%	4 23.5%	0 0.0%	17 100.0%	2
化学	12 57.1%	6 28.6%	6 28.6%	6 28.6%	6 28.6%	12 57.1%	4 19.0%	5 23.8%	0 0.0%	21 100.0%	0
金属	18 72.0%	12 48.0%	10 40.0%	4 16.0%	10 40.0%	8 32.0%	3 12.0%	3 12.0%	1 4.0%	25 100.0%	0
機械	17 63.0%	15 55.6%	9 33.3%	5 18.5%	14 51.9%	11 40.7%	6 22.2%	1 3.7%	0 0.0%	27 100.0%	0
その他の製造	51 65.4%	35 44.9%	27 34.6%	8 10.3%	36 46.2%	46 59.0%	5 6.4%	11 14.1%	1 1.3%	78 100.0%	1
非製造業	182 70.8%	61 23.7%	92 35.8%	26 10.1%	126 49.0%	70 27.2%	9 3.5%	44 17.1%	9 3.5%	257 100.0%	5
卸売	43 76.8%	9 16.1%	14 25.0%	10 17.9%	29 51.8%	24 42.9%	2 3.6%	8 14.3%	1 1.8%	56 100.0%	1
小売	42 75.0%	10 17.9%	15 26.8%	5 8.9%	28 50.0%	19 33.9%	1 1.8%	10 17.9%	3 5.4%	56 100.0%	1
情報通信	16 66.7%	7 29.2%	11 45.8%	4 16.7%	13 54.2%	7 29.2%	1 4.2%	4 16.7%	0 0.0%	24 100.0%	0
飲食・宿泊	21 60.0%	10 28.6%	18 51.4%	0 0.0%	16 45.7%	11 31.4%	1 2.9%	4 11.4%	0 0.0%	35 100.0%	1
サービス	27 61.4%	6 13.6%	15 34.1%	2 4.5%	22 50.0%	5 11.4%	1 2.3%	10 22.7%	5 11.4%	44 100.0%	0
建設	33 78.6%	19 45.2%	19 45.2%	5 11.9%	18 42.9%	4 9.5%	3 7.1%	8 19.0%	0 0.0%	42 100.0%	2
観光関連	32 66.7%	14 29.2%	19 39.6%	4 8.3%	20 41.7%	24 50.0%	1 2.1%	9 18.8%	2 4.2%	48 100.0%	2

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

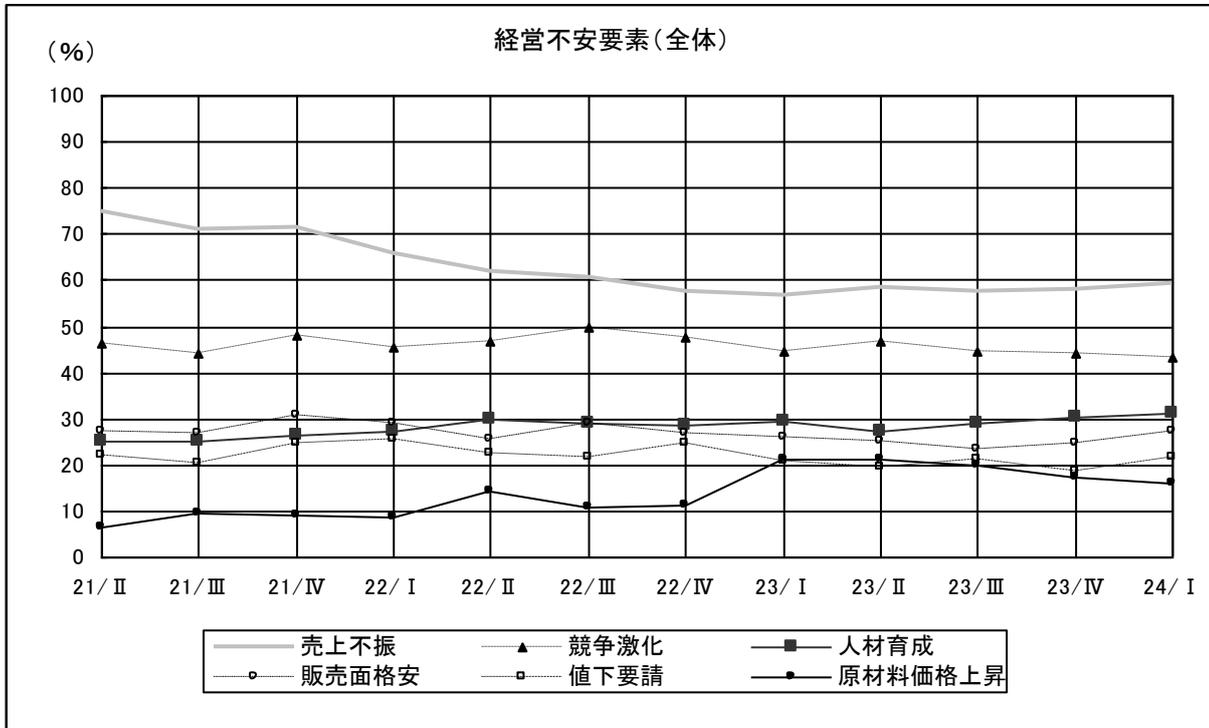


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

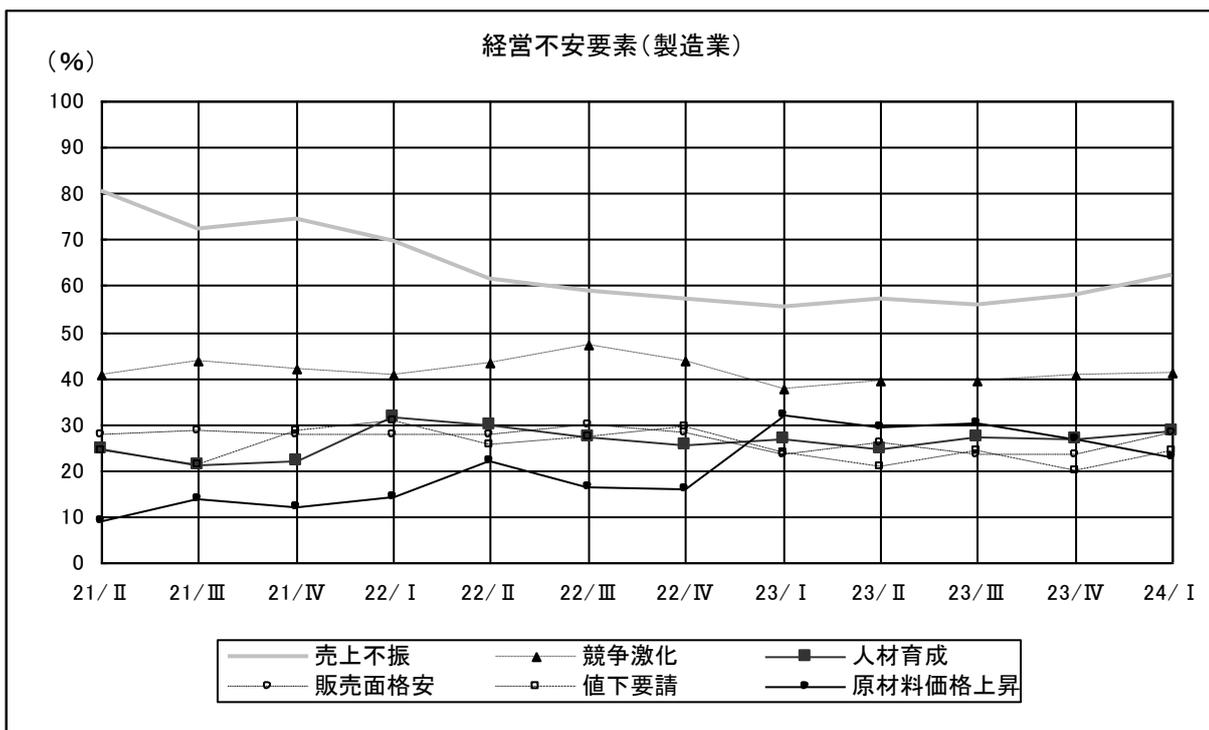


図 41. 経営上の不安要素・西陣

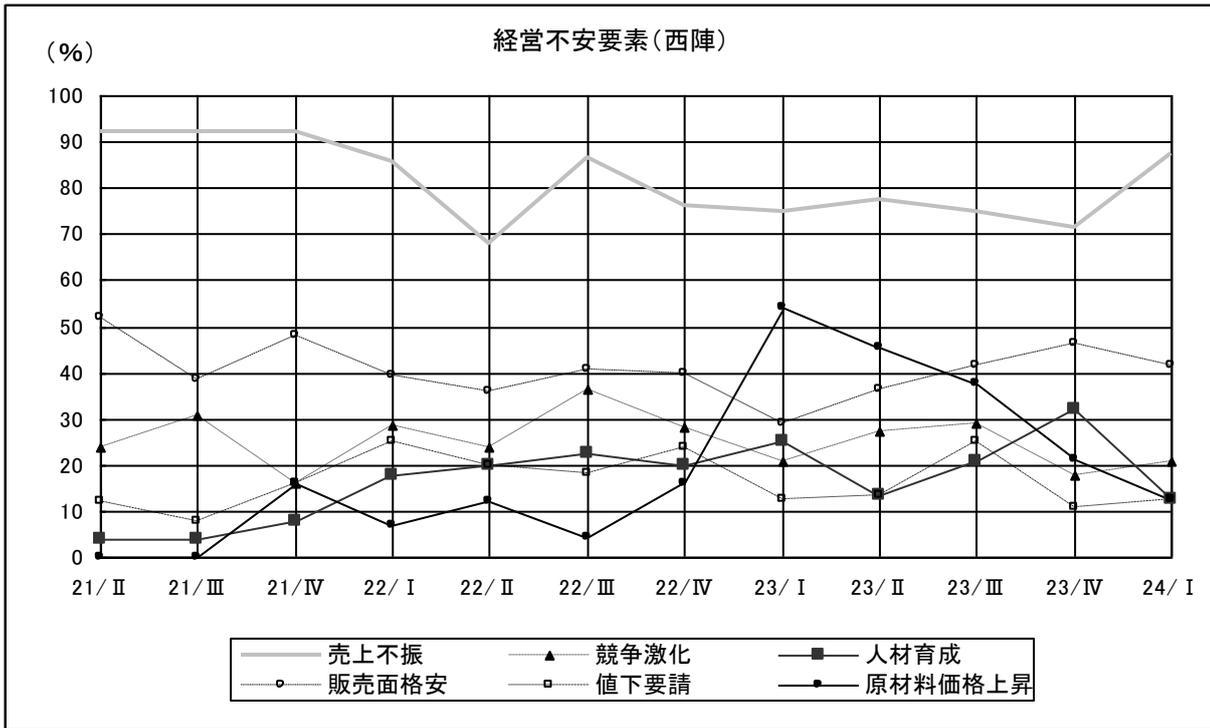


図 42. 経営上の不安要素・染色

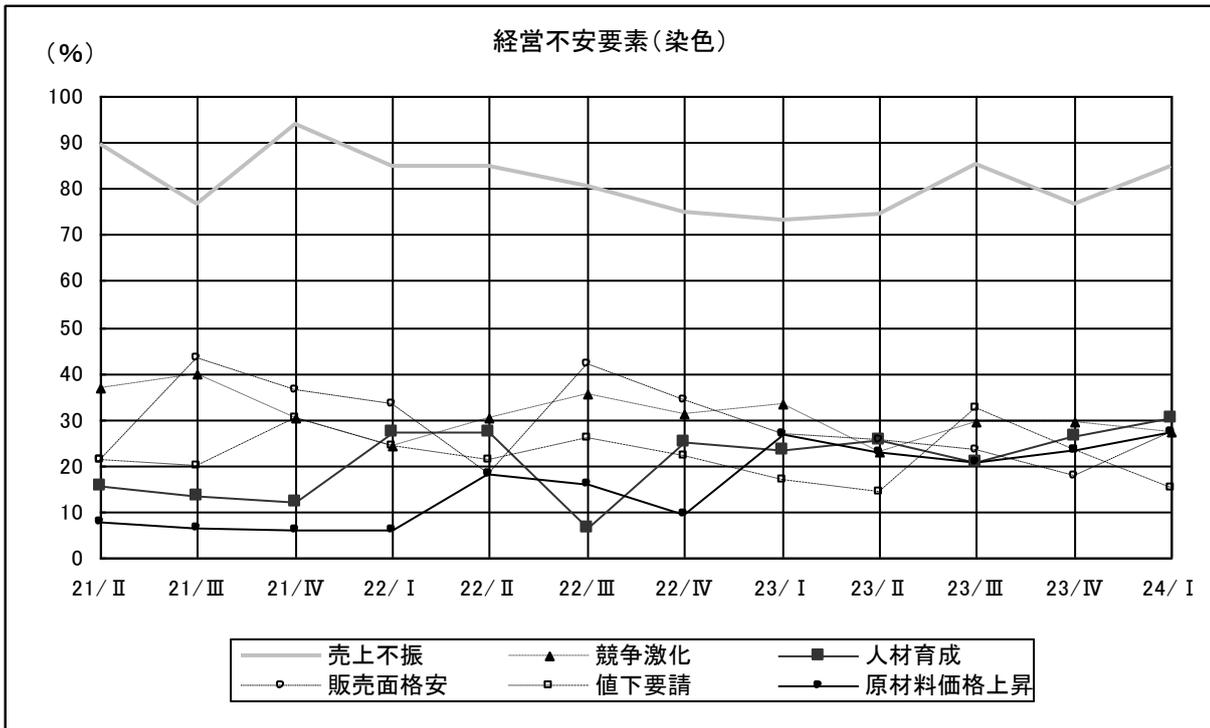


図 43. 経営上の不安要素・印刷

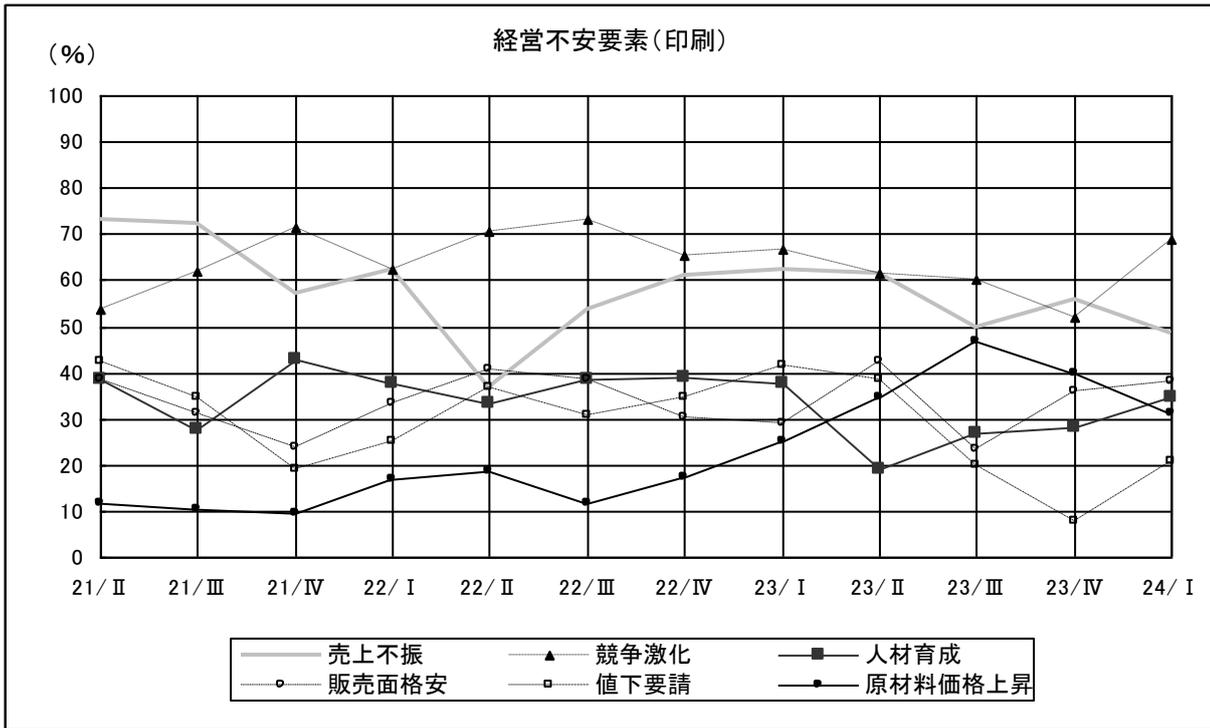


図 44. 経営上の不安要素・窯業

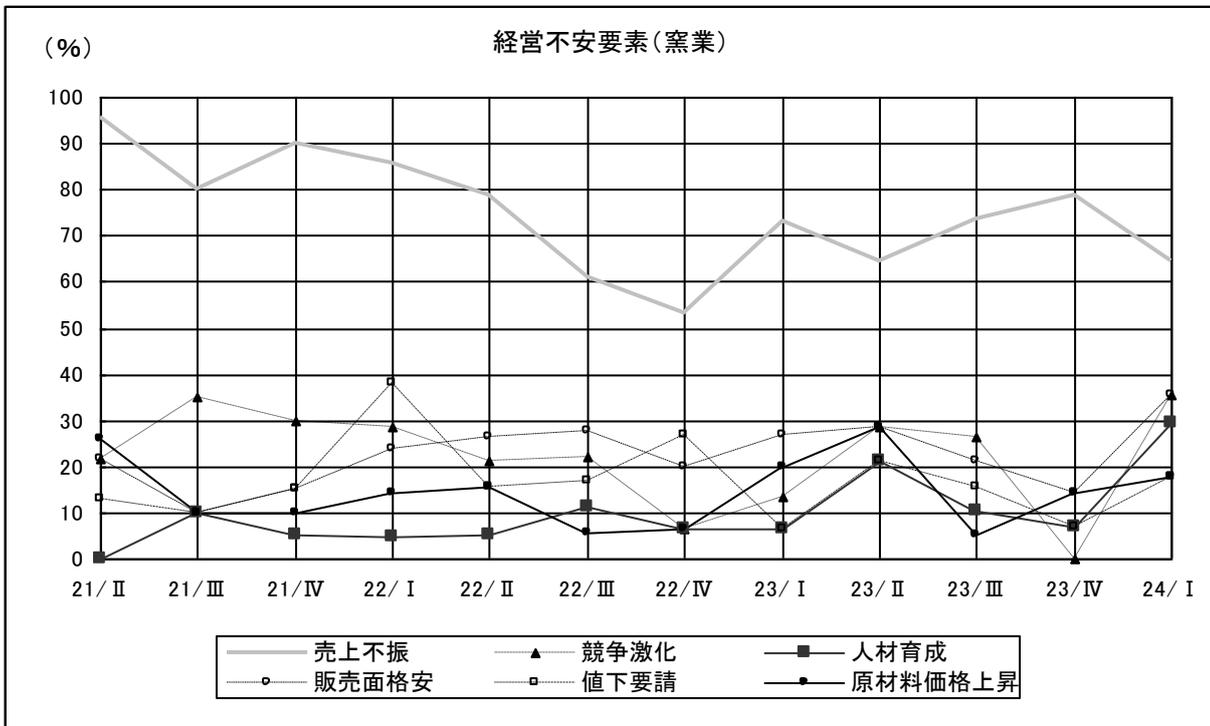


図 45. 経営上の不安要素・化学

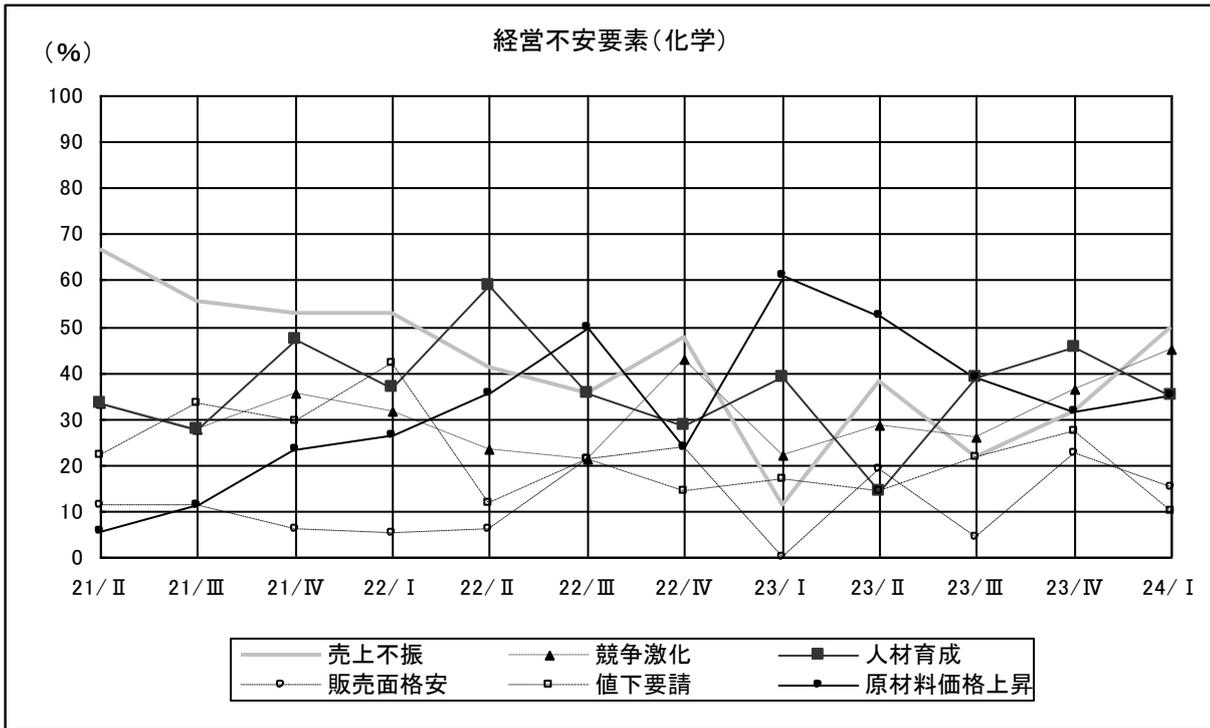


図 46. 経営上の不安要素・金属

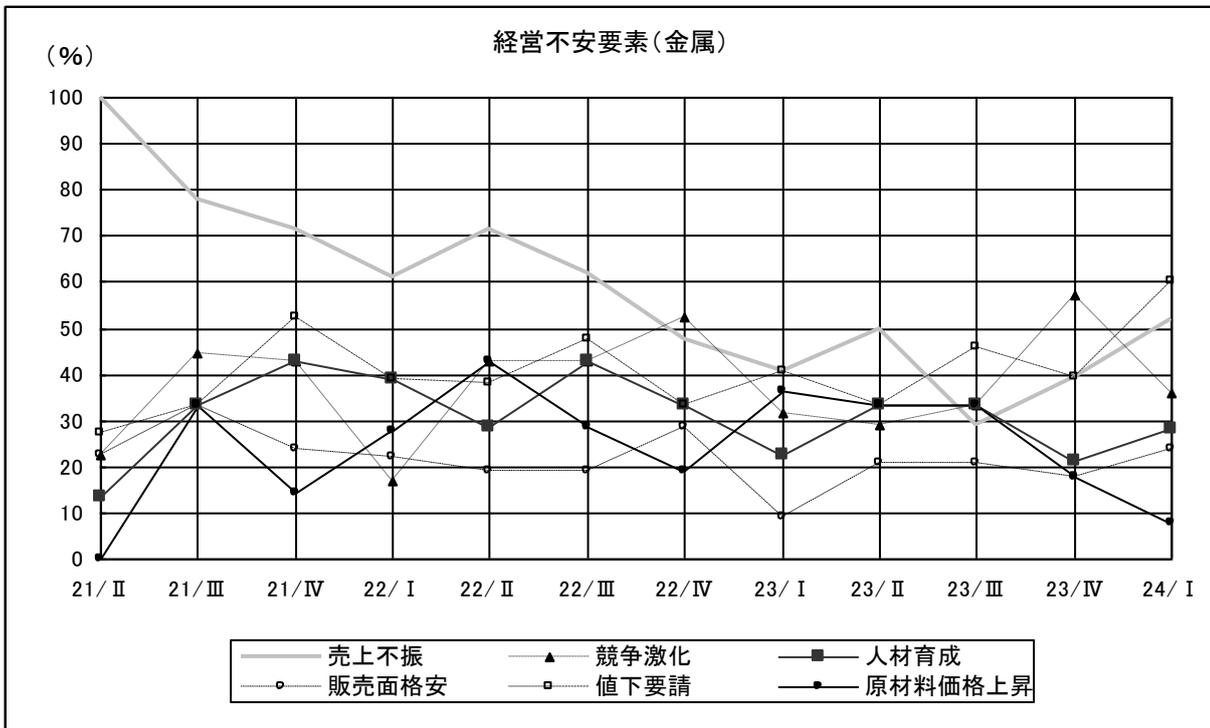


図 47. 経営上の不安要素・機械

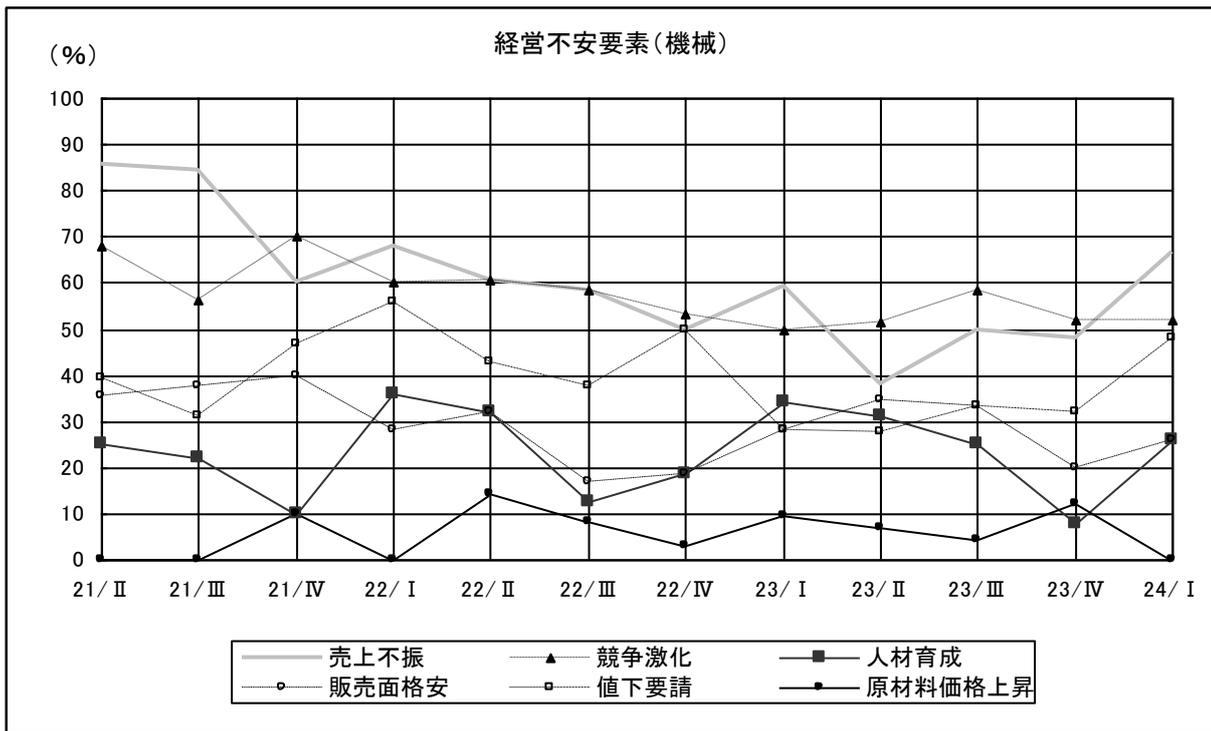


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

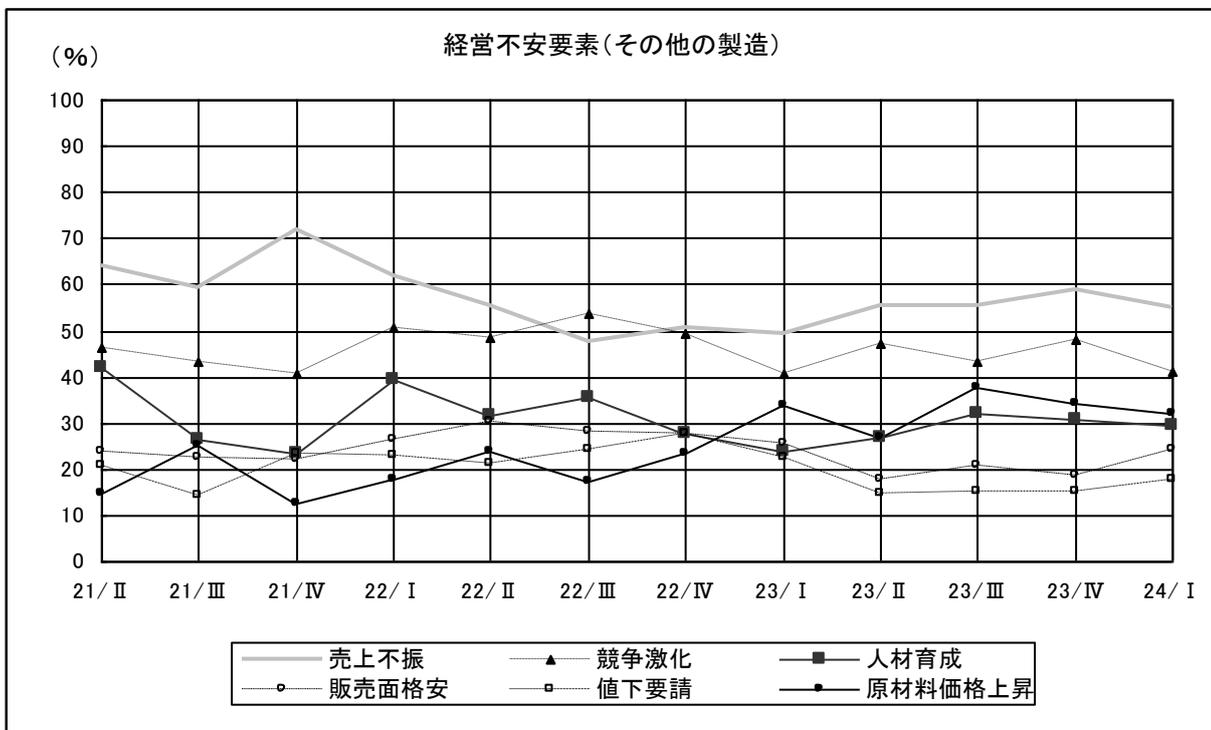


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

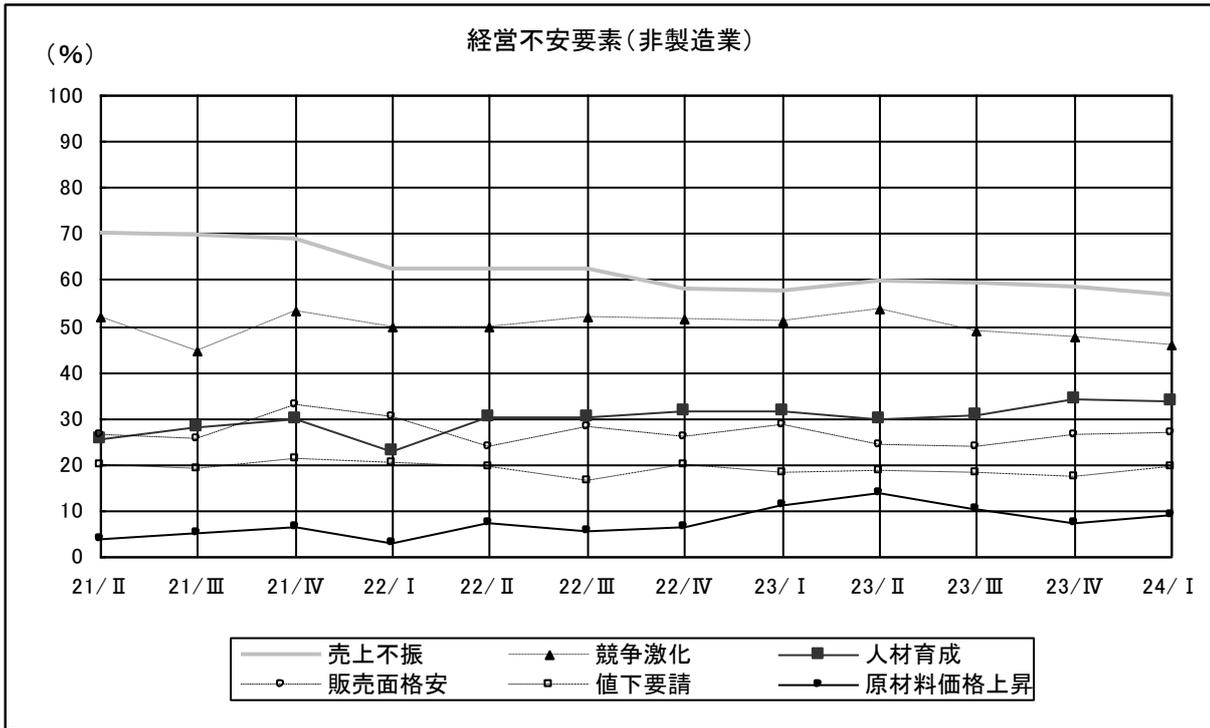


図 50. 経営上の不安要素・卸売

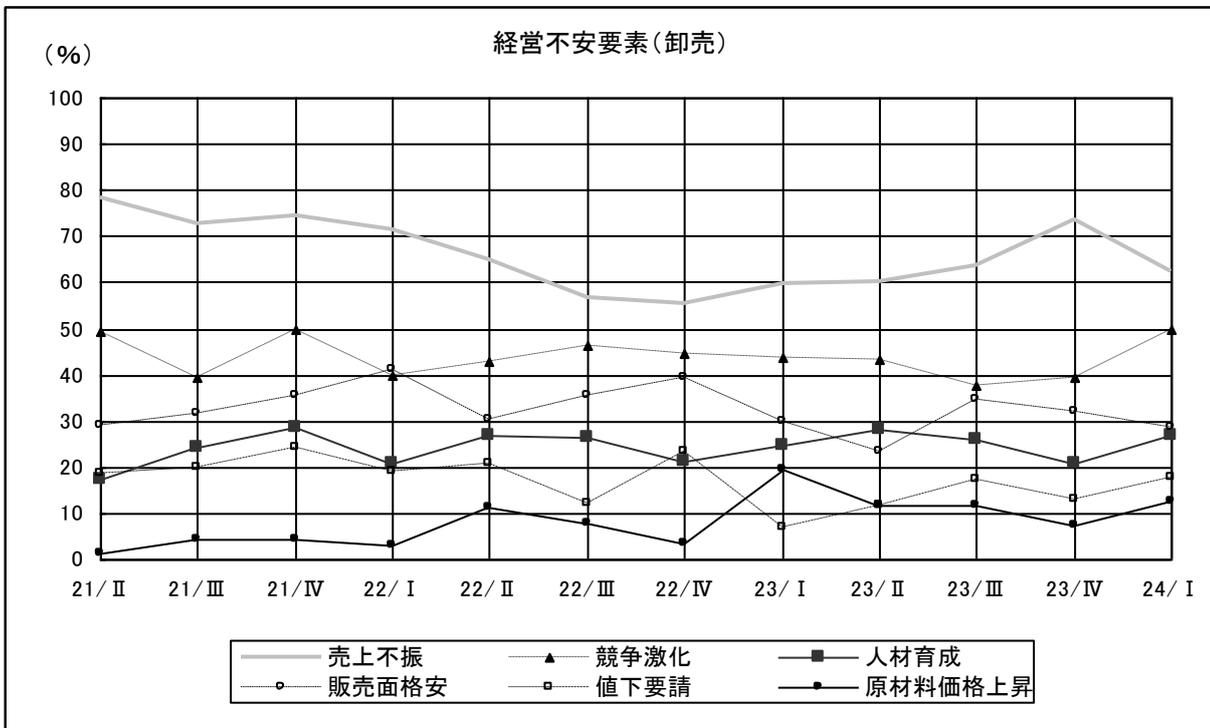


図 51. 経営上の不安要素・小売

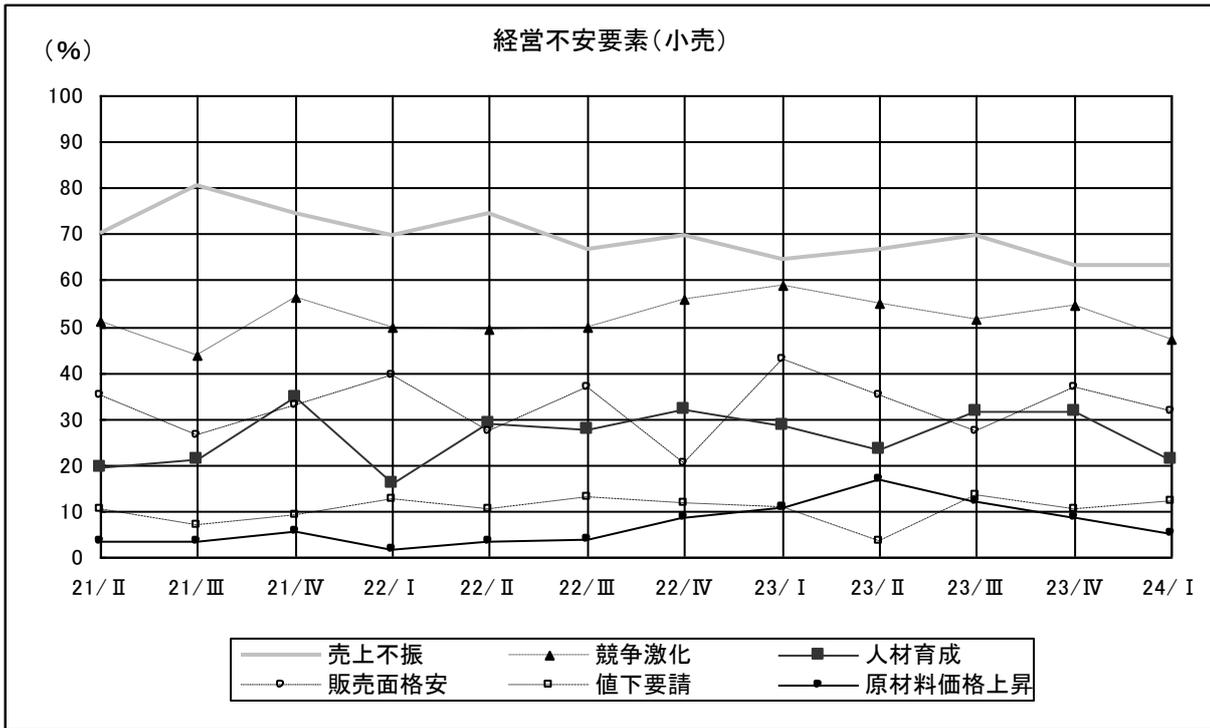


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

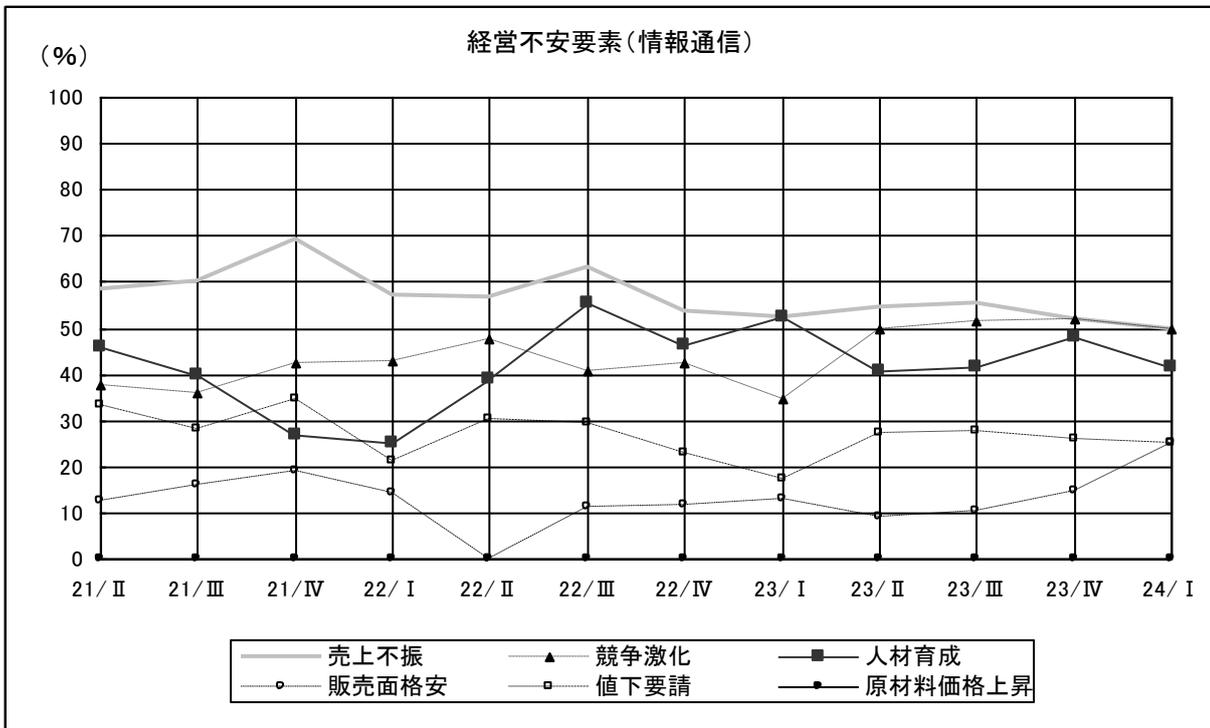


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

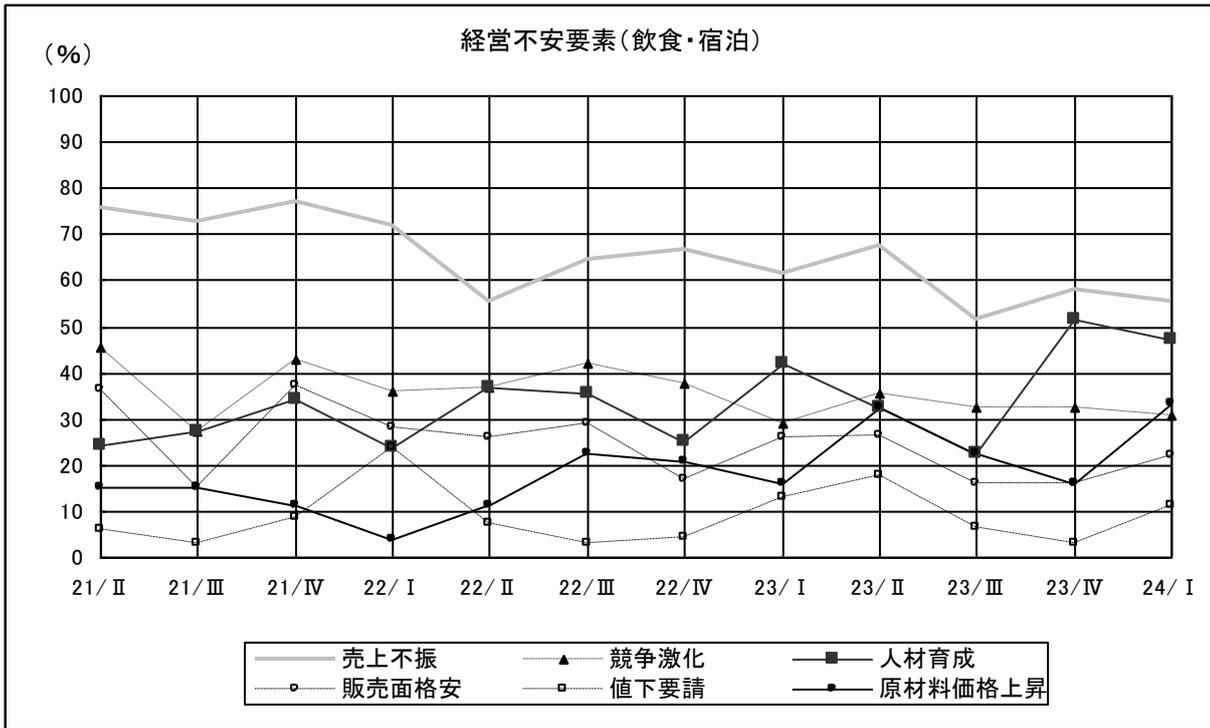


図 54. 経営上の不安要素・サービス

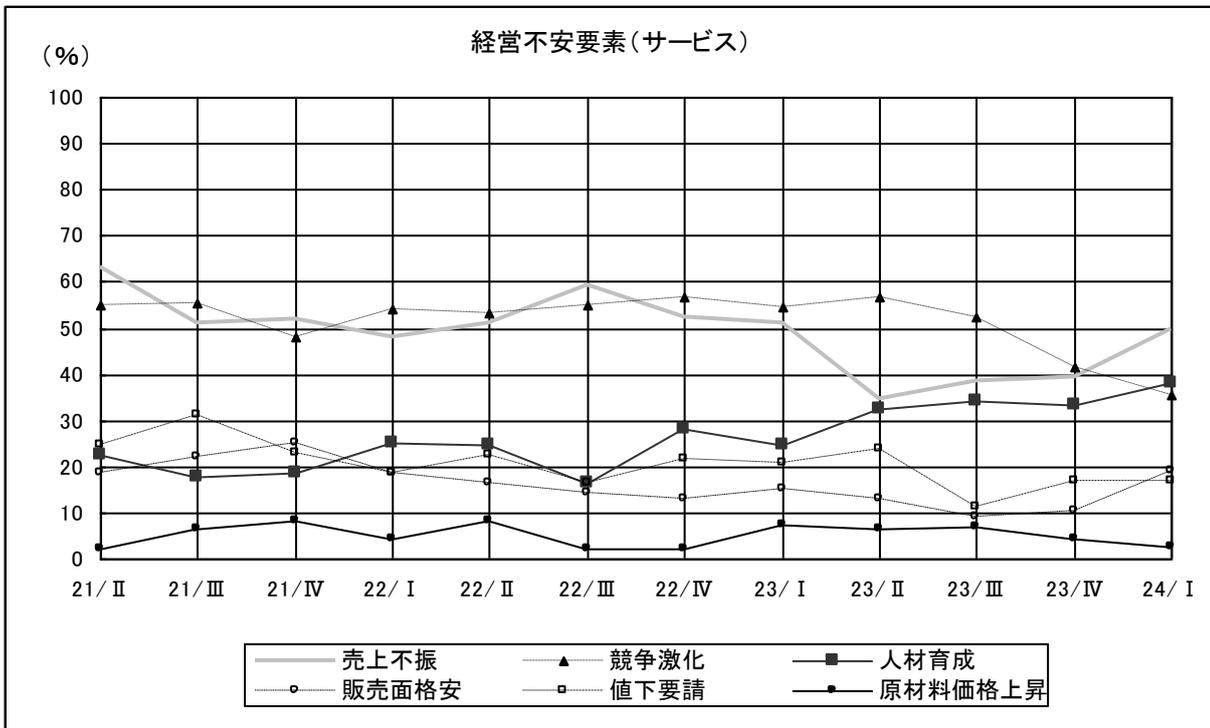


図 55. 経営上の不安要素・建設

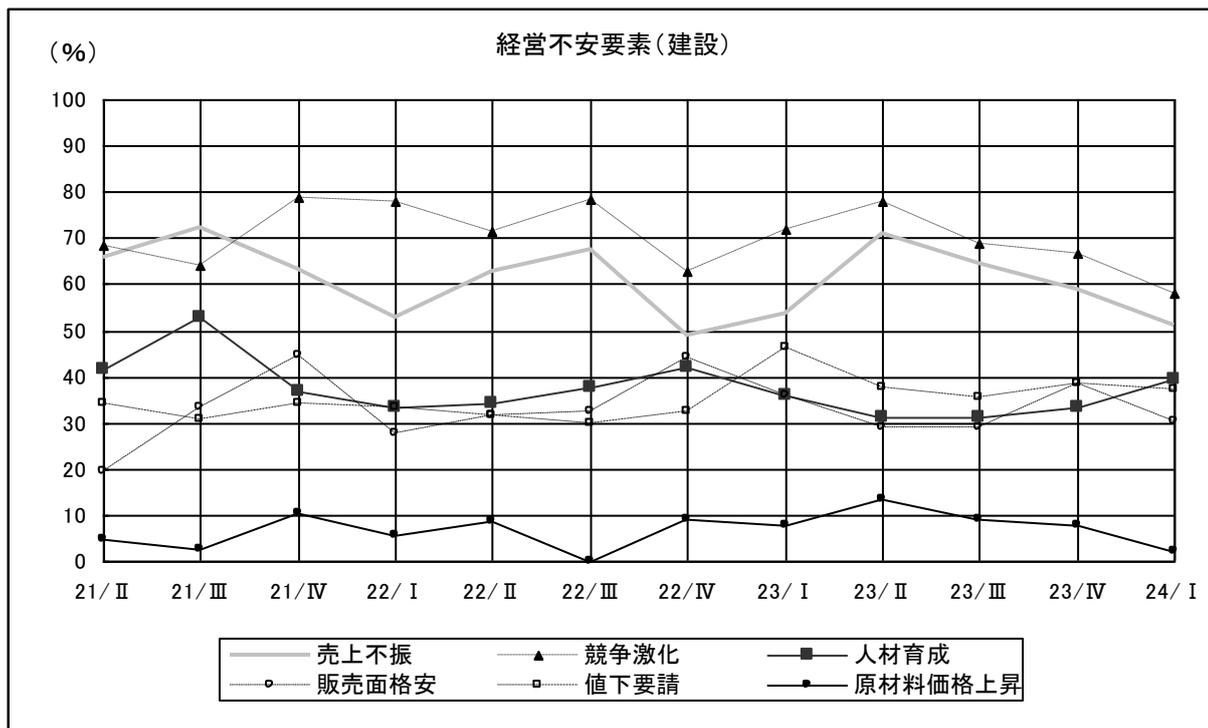


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	222 43.4%	304 59.5%	159 31.1%	111 21.7%	72 14.1%	82 16.0%	19 3.7%	140 27.4%
製造業	104 41.1%	158 62.5%	72 28.5%	61 24.1%	47 18.6%	58 22.9%	11 4.3%	71 28.1%
西陣	5 20.8%	21 87.5%	3 12.5%	3 12.5%	2 8.3%	3 12.5%	0 0.0%	10 41.7%
染色	9 27.3%	28 84.8%	10 30.3%	5 15.2%	4 12.1%	9 27.3%	1 3.0%	9 27.3%
印刷	20 69.0%	14 48.3%	10 34.5%	6 20.7%	8 27.6%	9 31.0%	3 10.3%	11 37.9%
窯業	6 35.3%	11 64.7%	5 29.4%	3 17.6%	4 23.5%	3 17.6%	1 5.9%	6 35.3%
化学	9 45.0%	10 50.0%	7 35.0%	2 10.0%	4 20.0%	7 35.0%	1 5.0%	3 15.0%
金属	9 36.0%	13 52.0%	7 28.0%	15 60.0%	1 4.0%	2 8.0%	1 4.0%	6 24.0%
機械	14 51.9%	18 66.7%	7 25.9%	13 48.1%	3 11.1%	0 0.0%	1 3.7%	7 25.9%
その他の製造	32 41.0%	43 55.1%	23 29.5%	14 17.9%	21 26.9%	25 32.1%	3 3.8%	19 24.4%
非製造業	118 45.7%	146 56.6%	87 33.7%	50 19.4%	25 9.7%	24 9.3%	8 3.1%	69 26.7%
卸売	28 50.0%	35 62.5%	15 26.8%	10 17.9%	8 14.3%	7 12.5%	1 1.8%	16 28.6%
小売	27 47.4%	36 63.2%	12 21.1%	7 12.3%	8 14.0%	3 5.3%	2 3.5%	18 31.6%
情報通信	12 50.0%	12 50.0%	10 41.7%	6 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 25.0%
飲食・宿泊	11 30.6%	20 55.6%	17 47.2%	4 11.1%	6 16.7%	12 33.3%	1 2.8%	8 22.2%
サービス	15 35.7%	21 50.0%	16 38.1%	7 16.7%	2 4.8%	1 2.4%	2 4.8%	8 19.0%
建設	25 58.1%	22 51.2%	17 39.5%	16 37.2%	1 2.3%	1 2.3%	2 4.7%	13 30.2%
観光関連	18 37.5%	28 58.3%	14 29.2%	4 8.3%	12 25.0%	14 29.2%	2 4.2%	9 18.8%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	その他	有効回答	無回答
全業種	36 7.0%	62 12.1%	35 6.8%	64 12.5%	13 2.5%	511 100.0%	8
製造業	24 9.5%	30 11.9%	13 5.1%	24 9.5%	7 2.8%	253 100.0%	4
西陣	2 8.3%	5 20.8%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	24 100.0%	0
染色	2 6.1%	7 21.2%	1 3.0%	4 12.1%	0 0.0%	33 100.0%	0
印刷	0 0.0%	3 10.3%	3 10.3%	0 0.0%	1 3.4%	29 100.0%	0
窯業	3 17.6%	4 23.5%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	17 100.0%	2
化学	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%	20 100.0%	1
金属	4 16.0%	2 8.0%	1 4.0%	5 20.0%	0 0.0%	25 100.0%	0
機械	5 18.5%	2 7.4%	1 3.7%	3 11.1%	2 7.4%	27 100.0%	0
その他の製造	6 7.7%	6 7.7%	6 7.7%	8 10.3%	2 2.6%	78 100.0%	1
非製造業	12 4.7%	32 12.4%	22 8.5%	40 15.5%	6 2.3%	258 100.0%	4
卸売	4 7.1%	5 8.9%	1 1.8%	5 8.9%	2 3.6%	56 100.0%	1
小売	2 3.5%	6 10.5%	0 0.0%	9 15.8%	2 3.5%	57 100.0%	0
情報通信	3 12.5%	4 16.7%	3 12.5%	3 12.5%	1 4.2%	24 100.0%	0
飲食・宿泊	1 2.8%	7 19.4%	8 22.2%	9 25.0%	0 0.0%	36 100.0%	0
サービス	0 0.0%	7 16.7%	6 14.3%	7 16.7%	0 0.0%	42 100.0%	2
建設	2 4.7%	3 7.0%	4 9.3%	7 16.3%	1 2.3%	43 100.0%	1
観光関連	0 0.0%	10 20.8%	8 16.7%	13 27.1%	0 0.0%	48 100.0%	2

参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	12	(2.3)
明治	22	(4.2)
大正	9	(1.7)
昭和19年以前	24	(4.6)
20～39年	187	(36.0)
40～49年	94	(18.1)
昭和50年以降	99	(19.1)
平成	72	(13.9)
無回答	0	(0.0)
不明	0	(0.0)
合計	519	(100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	514	(99.0)
個人	5	(1.0)
無回答	0	(0.0)
合計	519	(100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	257	(49.5)	非製造業	262	(50.5)
西陣	24	(4.6)	卸売	57	(11.0)
染色	33	(6.4)	小売	57	(11.0)
印刷	29	(5.6)	情報通信	24	(4.6)
窯業	19	(3.7)	飲食・宿泊	36	(6.9)
化学	21	(4.0)	サービス	44	(8.5)
金属	25	(4.8)	建設	44	(8.5)
機械	27	(5.2)	不明	0	(0.0)
その他の製造	79	(15.2)	合計	519	(100.0)

※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)

50 (9.6)

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～100万円	0	(0.0)	3001～5000	84	(16.3)
101～200	1	(0.2)	5001～1億円	45	(8.8)
201～500	41	(8.0)	1億円超	7	(1.4)
501～1000	186	(36.2)	無回答	0	(0.0)
1001～3000	150	(29.2)	合計	514	(100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0～4人	73	(14.1)	50～99人	63	(12.1)
5～9人	87	(16.8)	100人以上	43	(8.3)
10人～19人	102	(19.7)	無回答	0	(0.0)
20人～29人	74	(14.3)	合計	519	(100.0)
30～49人	77	(14.8)			

第102回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成24年3月2日（金）】

貴社の概要を御記入ください。

（該当する箇所には、○印をお付けください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。）

会社名											
経営形態	法人・個人	資本金					万円	電話			—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成) 年						従業員数				人
※業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造										
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設										
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。										
主な製品、商品、サービス											
御記入者	部課：			役職：			氏名：				

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。

項目	期間	平成24年1月～3月の実績 (前年の同期と比較して)			平成24年4月～6月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		増加	不変	減少	増加	不変	減少
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益（税引前）		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない		する	しない	

(2) 該当するものに○印をお付けされた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。（複数回答可）

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化 | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。（複数回答可）

- | | | |
|-----------|---------------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 その他() | (裏面も御記入ください。) | |

(5)平成24年度の貴社の設備投資計画についてお尋ねします。(非製造業の方も御回答ください。)

- A. 平成24年度に貴社は設備投資を計画していますか。該当するものに○印をお付けください。
「計画がある」又は「実施を検討中」と回答された方は、その内容を御記入ください。
「計画はない」と回答された方はその理由を御記入ください。

1 計画がある	2 実施を検討中	3 計画はない
---------	----------	---------

内容(理由)等:

- B. 「計画がある」又は「実施を検討中」と回答された方にお尋ねします。
設備投資の目的はどのようなものですか。
該当するものを下記から選び、○印をお付けください。(複数回答可)

1 能力増強	2 維持・補修・更新	3 省力化・合理化	4 新規事業・新製品
5 新店舗開設	6 研究開発	7 その他()	

内容等:

- C. 「計画がある」又は「検討中」と回答された方にお尋ねします。
投資額の対前年度伸び率はどの程度を予定していますか。
該当するものを下記から選び、○印をお付けください。

1 前年度と同じ	2 1~9%の増	3 10~19%の増	4 20%以上の増
5 1~9%の減	6 10~19%の減	7 20%以上の減	8 不明

内容等:

- D. 「計画がある」又は「検討中」と回答された方にお尋ねします。
計画はいつ頃を予定していますか。該当するものを下記から選び、○印をお付けください。

1 4月~6月期	2 7月~9月期	3 10月~12月期	4 25年1月~3月期
----------	----------	------------	-------------

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。)

京都市 産業観光局 (TEL:222-3325 FAX:222-3331)